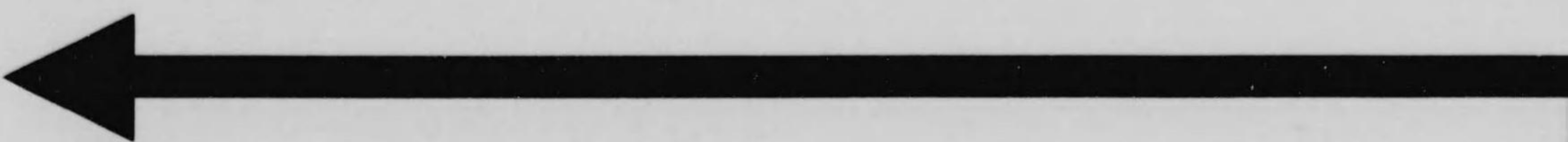


373

231

9 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10<sup>19</sup>m 1 2 3 4 5

始





373

23/

浪

大阪化学工業

會

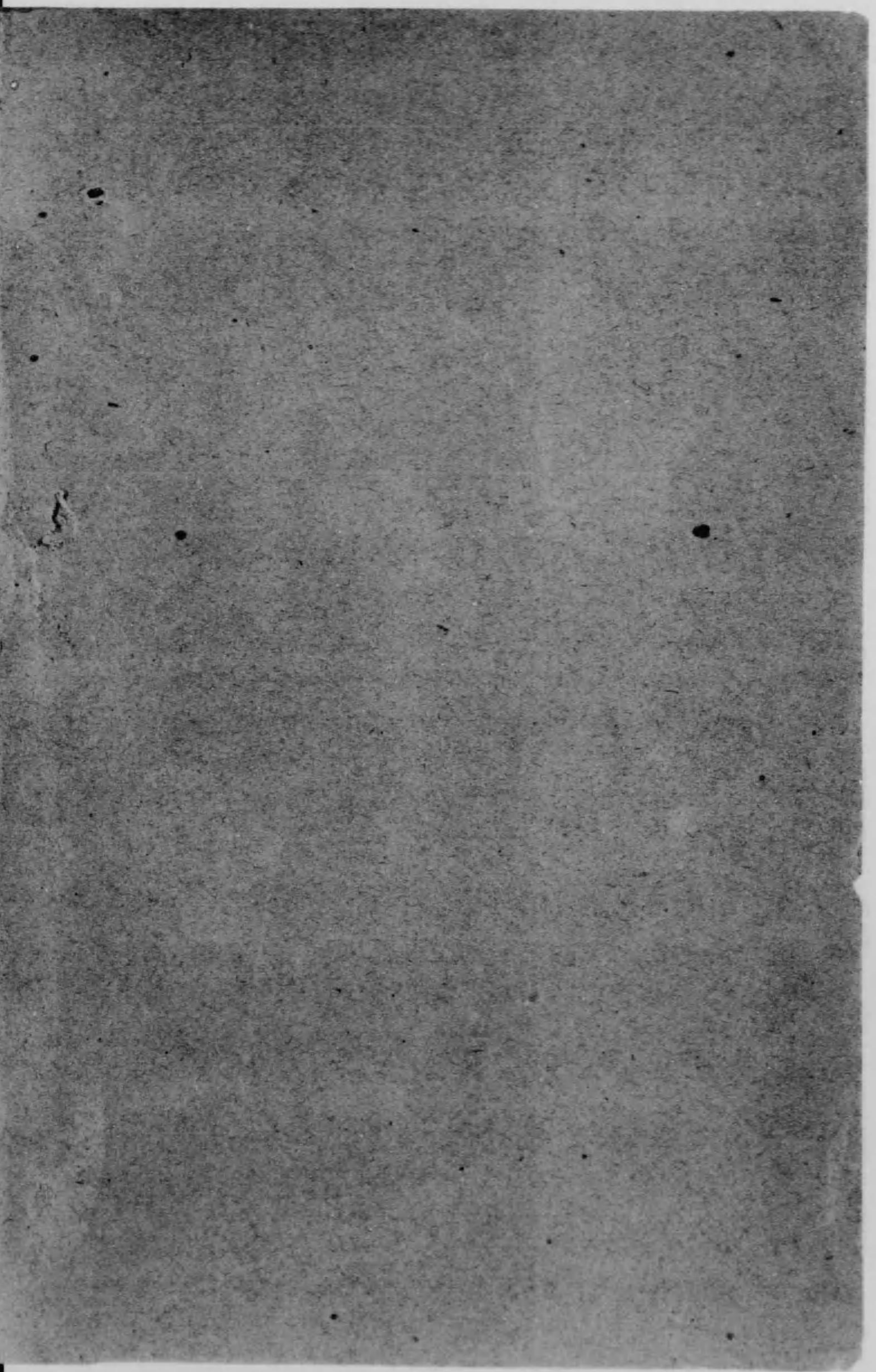
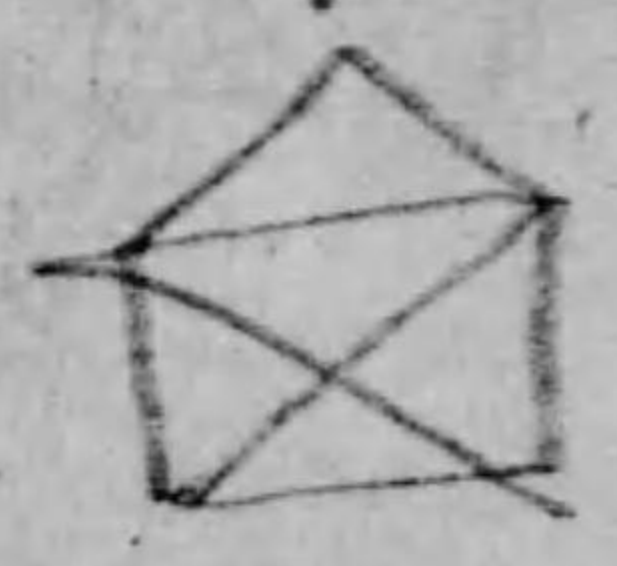
編

録

大阪化学工業博覽會の

寫真と説明

参考室より





373-231



五月二十日より夜間開場

初夏の夜を彩る

化学工業博覧會

新しき光りの装ひを

こらして現はる、美術館

六月三十日まで開期延長

大正  
7. 10. 9  
内 記

國 産

アサヒ  
ビール

風味最  
も良し

エビス  
ビール

サッポロ  
ビール

リボン  
シトロン

清涼  
飲料

リボン  
ラズベリー





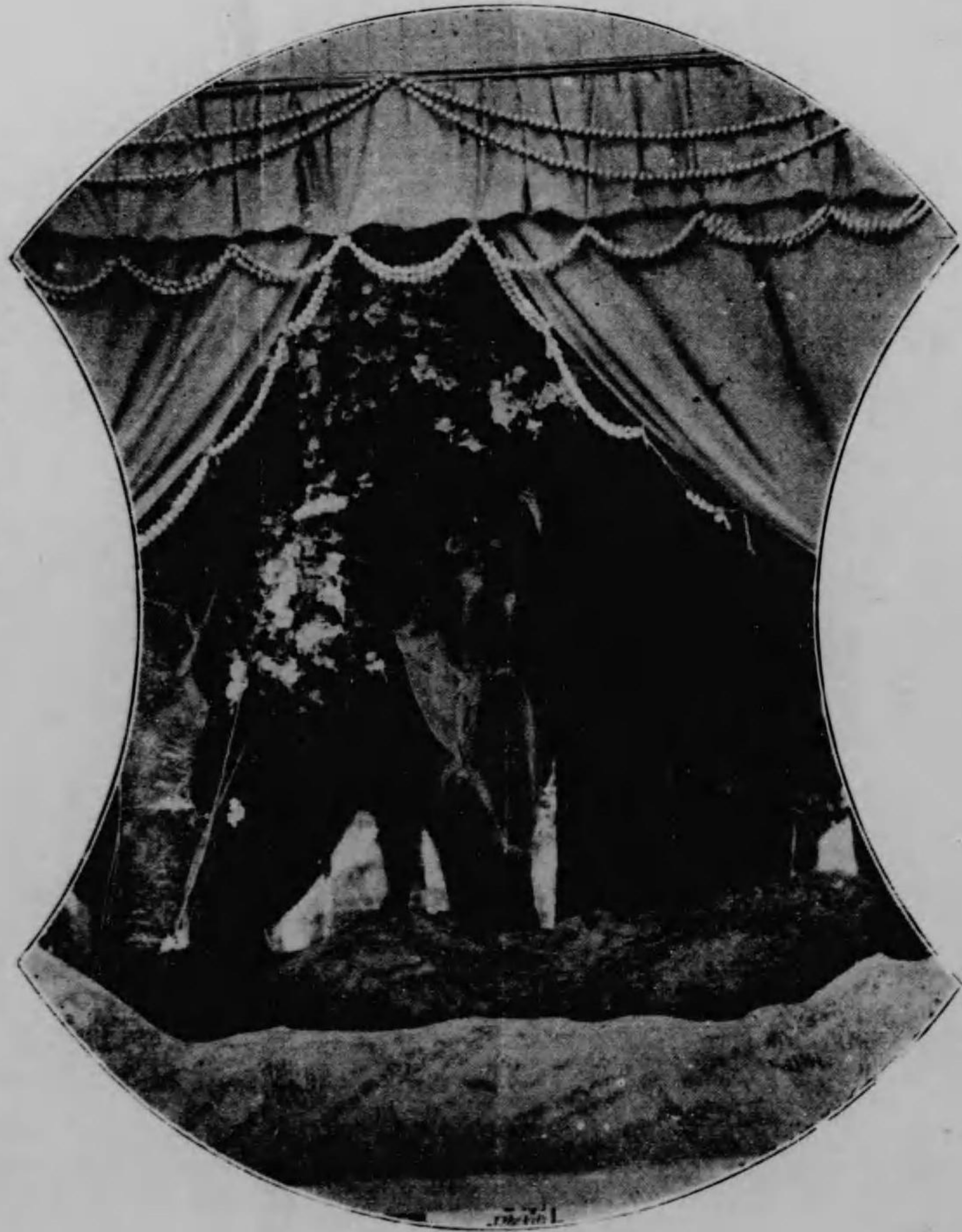
◀◀ 明説と眞寫 ▶▶

◆博覽會を眞に觀んとする方は是非本冊子を求められよ  
◆初版五千部出品人浪華化學工業會員  
其の他へ無料配布

再版發行 (六月)

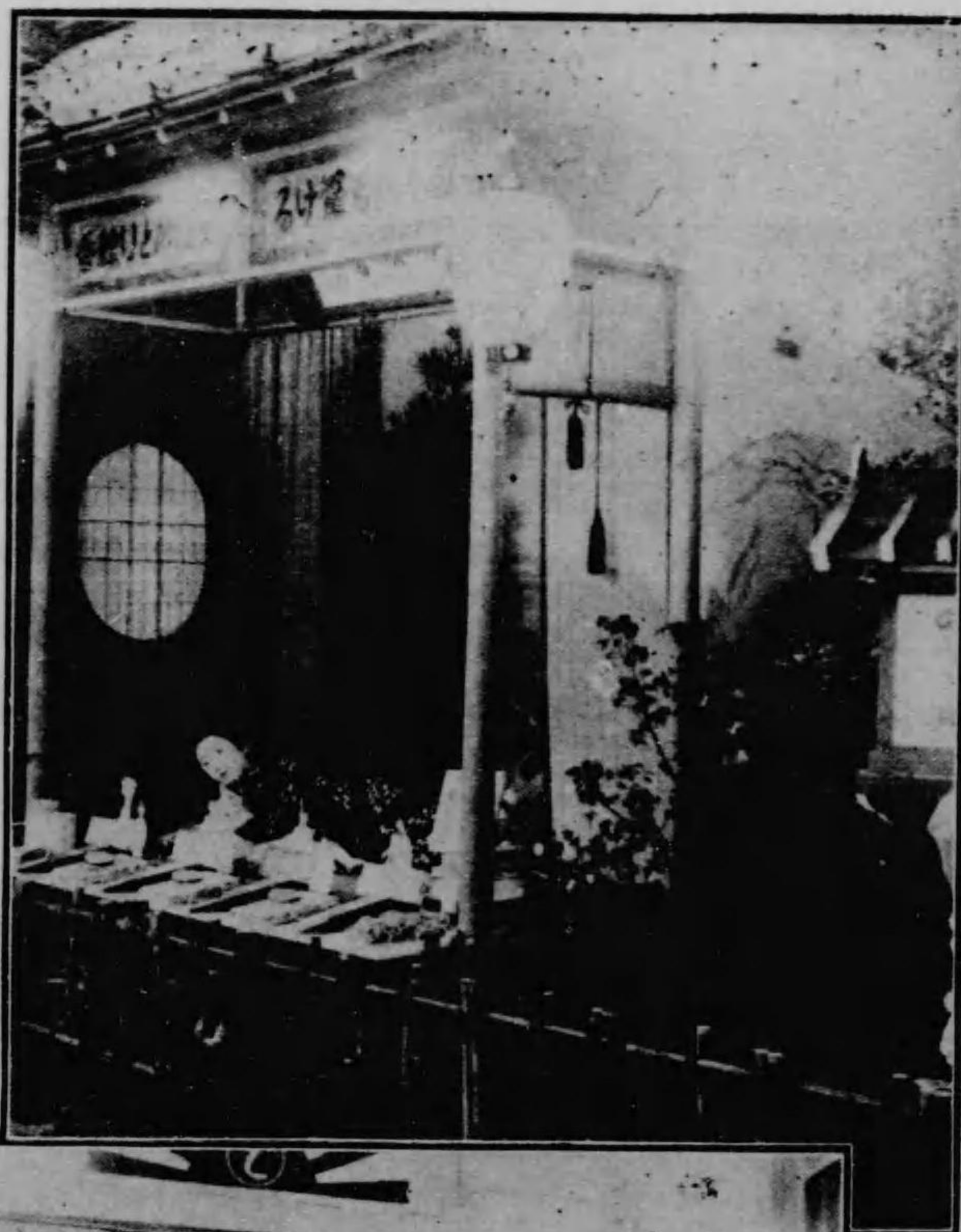
◆多數の申込あり、直ちに第二版及び  
第三版發行着手

◆此の際、寫眞廣告御利用を  
希望す

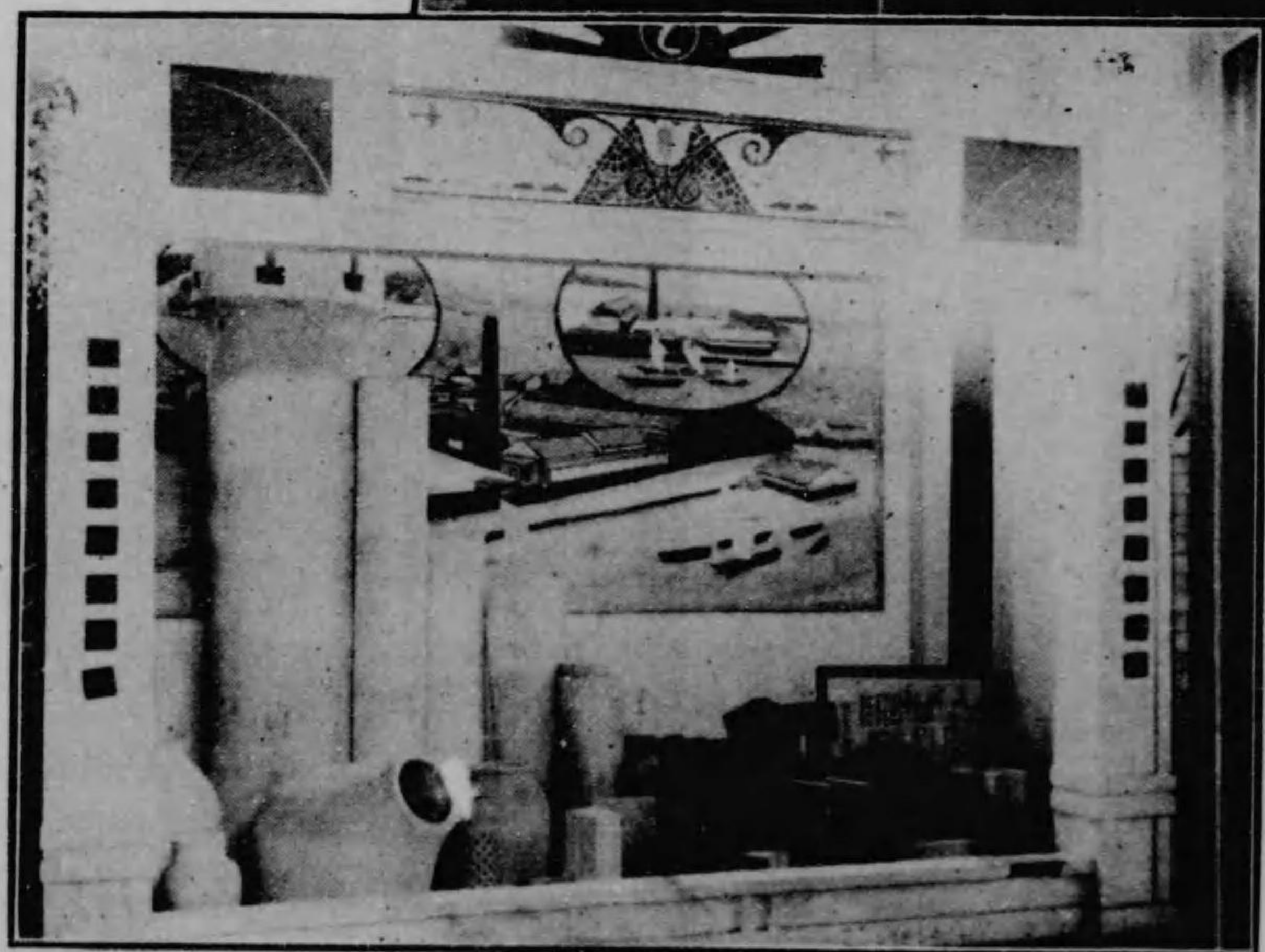


本會を表象せる水晶宮内の化學姫





安住商會出品ののんびり線香



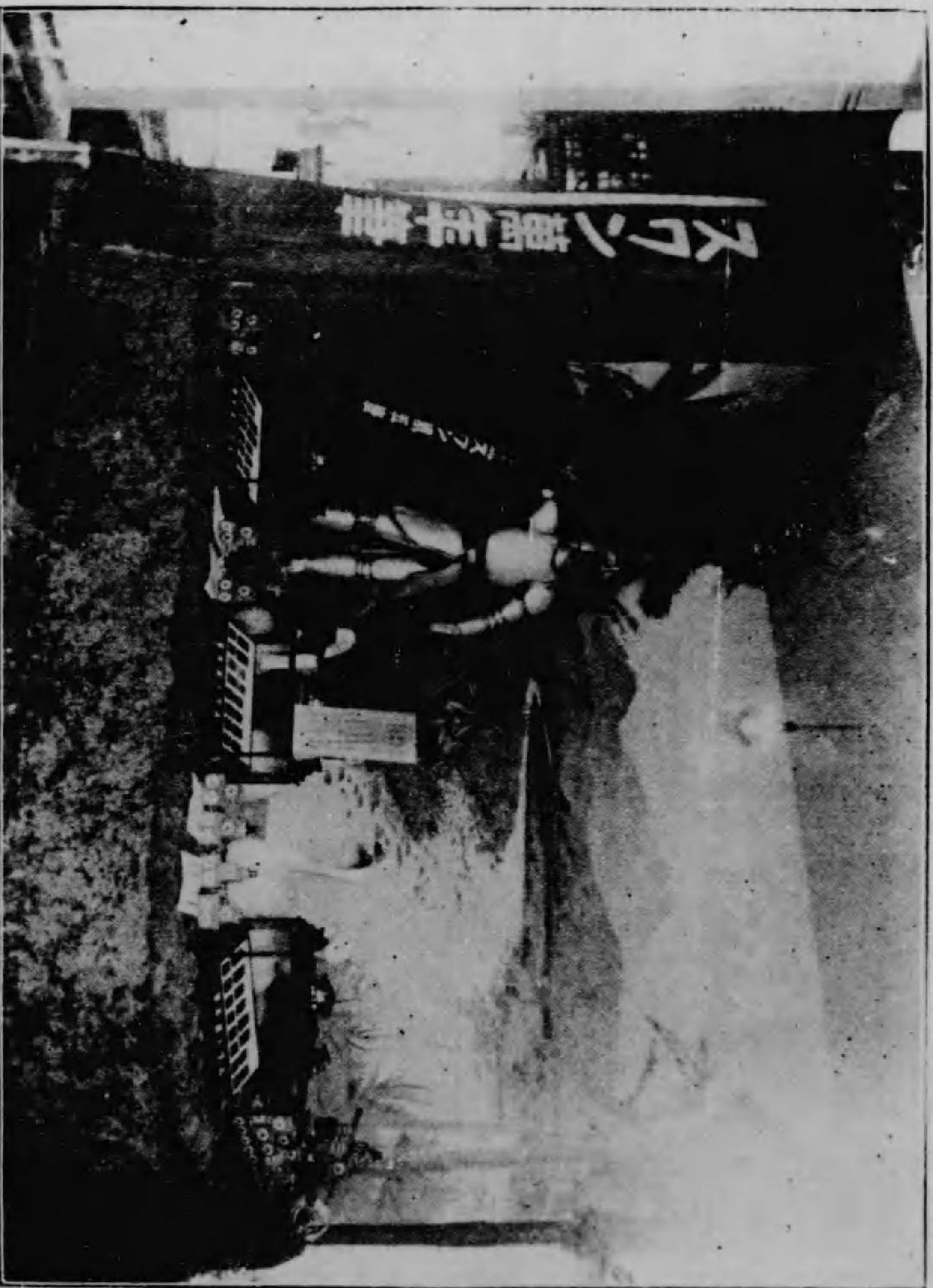
朝日鯨業會社の出品

(第一會場—本館階下)



第一會場—本館前





スワン萬年筆の出品

(口入下階館本一博會一第)

# スワン萬年筆

## 受賞明細

- 第一 大正貳年關西教育品博覽會ニ於テ銀牌受領
- 第二 大正三年東京大正博覽會ニ於テ金牌受領
- 第三 大正三年大阪納涼博覽會ニ於テ金牌受領
- 第四 大正四年大禮紀念大阪博覽會ニ於テ金牌受領
- 第五 大正四年大禮紀念京都博覽會ニ於テ金牌受領
- 第六 大正五年貿易品大阪共進會ニ於テ金牌受領
- 第七 大正五年大阪納涼博覽會ニ於テ金牌受領
- 第八 大正六年東京化學工業博覽會ニ於テ金牌受領

各地到ル所ノ有名ナル文具店ニ販賣セリ最寄ニテ御求メテ希フ  
目録御希望ノ方ハ郵券貳錢御送付次第送呈申上候

### 營業場所

- 大阪市東區平野町貳丁目
- スワン萬年筆大阪出張所
- 東京市日本橋區馬喰町一丁目
- スワン萬年筆東京支店
- 東京市淺草區今戶町
- スワン萬年筆本店

- 一 工場所在地 東京市淺草區今戶町
- 一 工場敷地 坪數七百五十坪
- 一 原動力種類 電働機六臺 馬力貳十壹馬力
- 一 馬力 男參百拾五人女拾五人
- 一 職工數 技師貳人技手貳人實地家參人
- 一 從業者 外
- 一 原料種類及產地 『エボナイト』内地及米國 『金ペン』金、銀、銅、イリテアム、白金内地及米國
- 一 製品ノ種類及單價 種類『インキ止式』『ポンプ式』『グリダシ式』單價 自壹圓至拾二圓 各種
- 一 製産數量 壹ヶ年參萬六千打
- 一 製産價格 同 七拾貳萬圓
- 一 主要ナル販路 内地支那露國南洋印度シヤム等





藤澤商會出品の香品



(北東館本—場會一第)

桃谷順天堂の出品場



ペイント、ポイル油  
假漆塗料製造

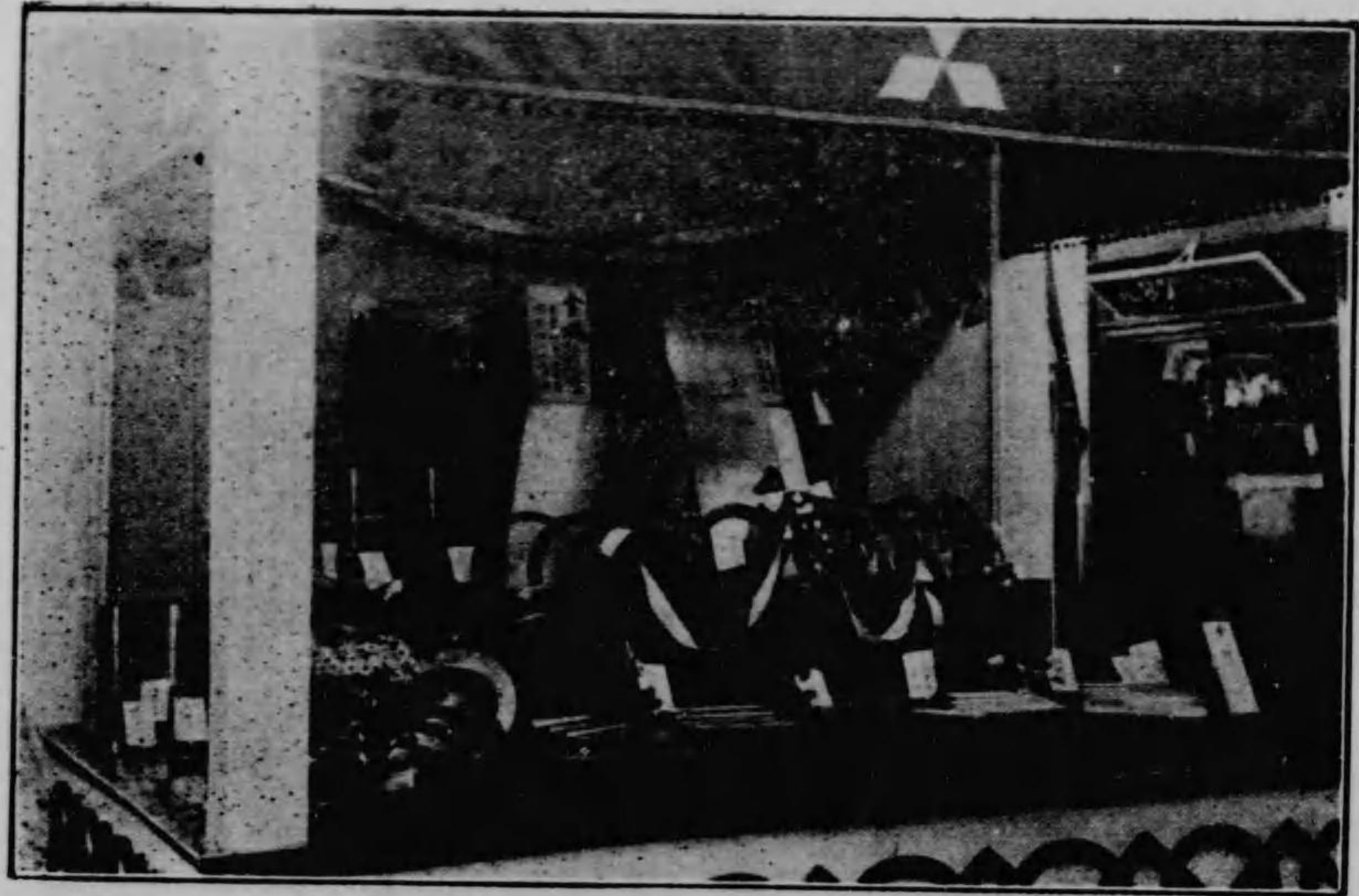
大阪市北區西野田中江町  
市營電車玉川町四丁目  
交叉点東停留場前

會社 三木笑軒舍

理化學工藝部  
塗料問屋營業部  
電話土佐堀(長)五五〇番  
五三五番

第一工場 北區西野田中江町二〇七番地  
第二工場 全 二五二番地  
第三工場 全 一二四番地





三菱製煉所の出品場

(方南館本—場會—第)



金鶴香水のほひの庭

(方東館本—場會—第)



大阪アルカリ株式会社  
の出品

(面正下階館本—場會—第)



高野川工場染機と化学工業所のマークA類

(第一會場—本館階下東北隅)



ク  
ロ  
ー  
△  
磁  
石  
マ  
グ  
ネ  
シ  
ヤ  
耐  
熱  
煉  
瓦

福喜洋行出品

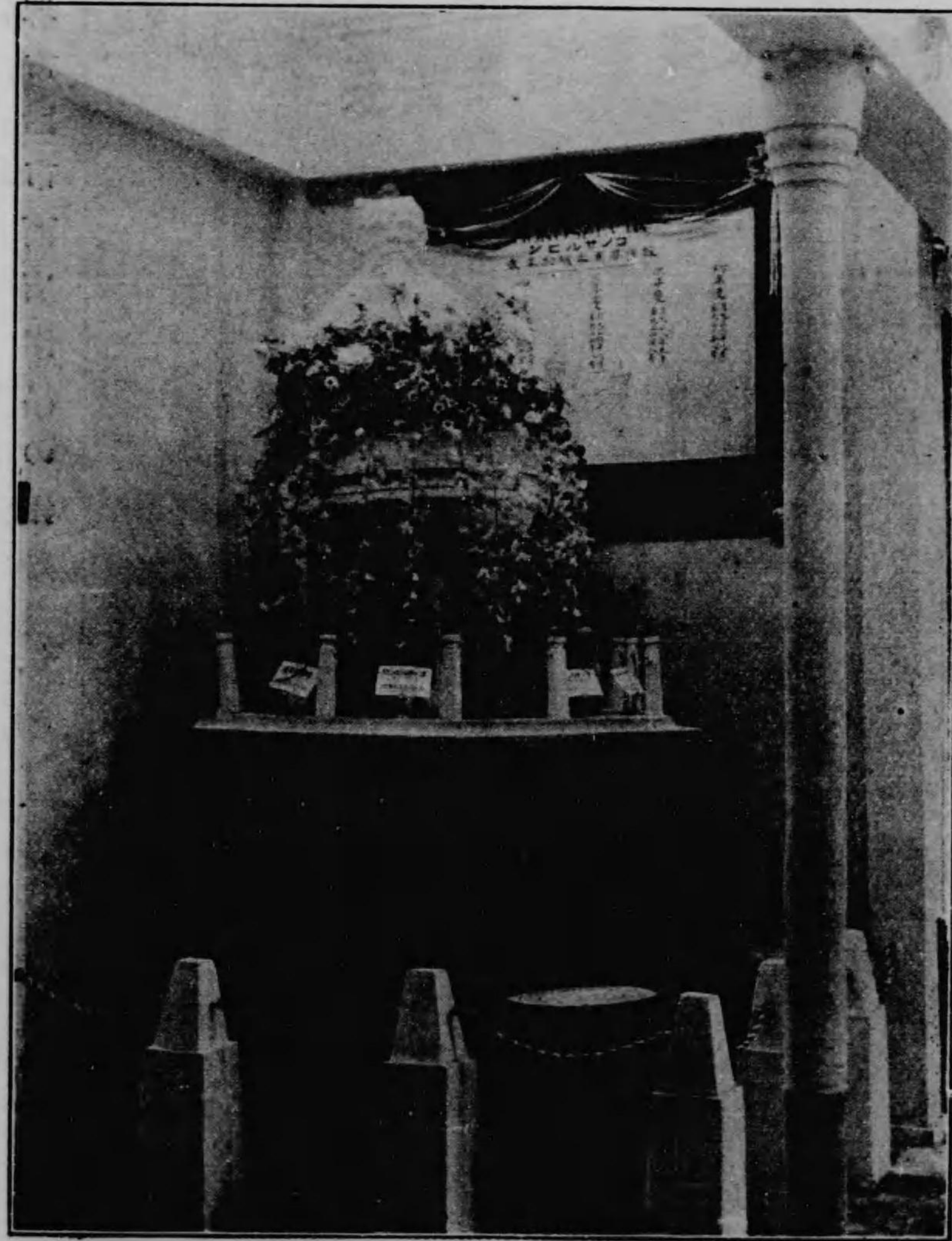
大阪市東區瓦町壹丁目  
 會社 福喜洋行本店  
 小西喜代松  
 京都市上京區高野大開町  
 同 高野川染機工場  
 大阪市外豐崎町  
 同 第二化學工業所  
 尾道市西御所町  
 同 第二化學工業所



大日本實業株式會社製品

北區根崎新地一丁目  
 大日本實業出品  
 (本館西側)

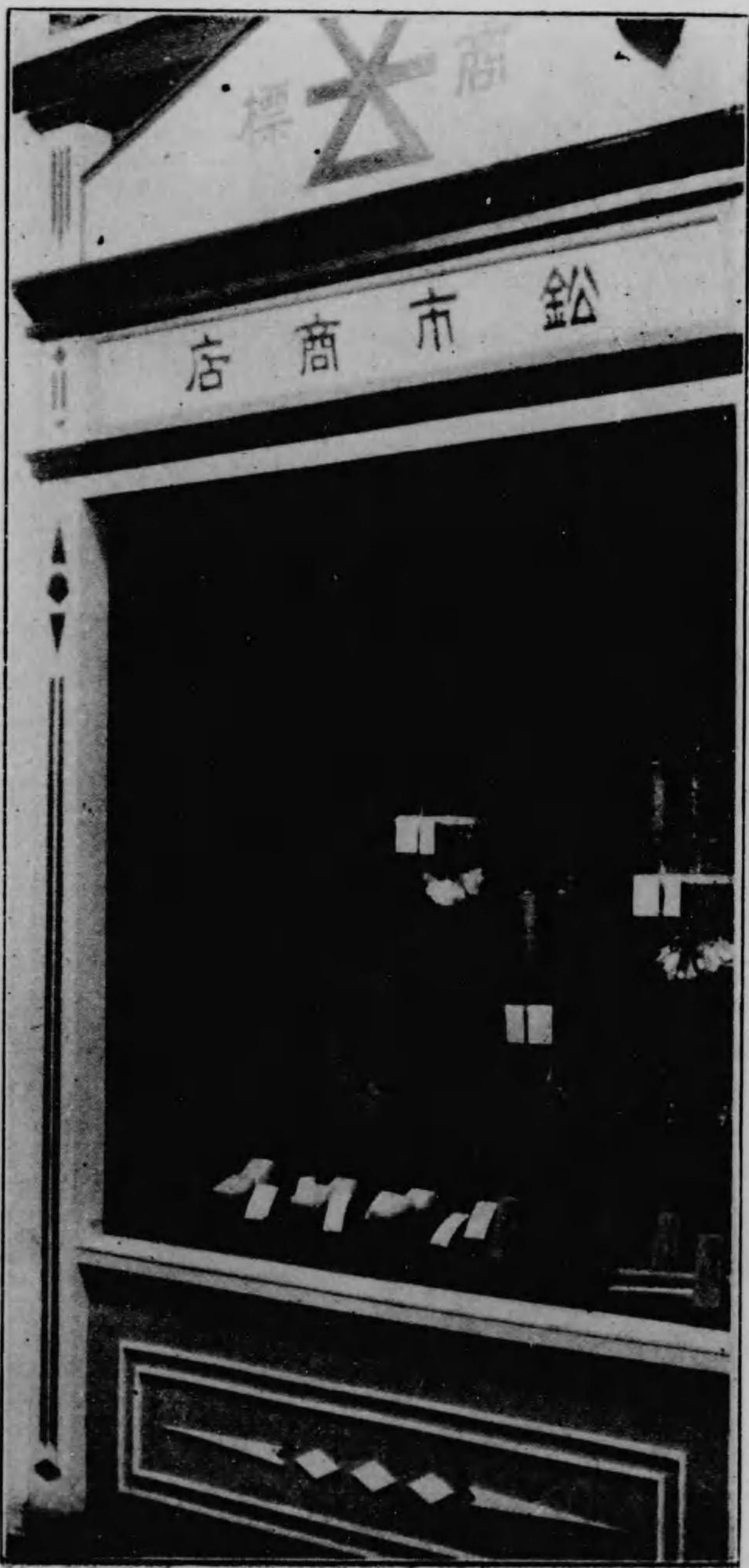
三友製藥合名會社の出品



(第一會場—本館東部)



堺市鉛市商店出品の鉛丹



(第一會場—本館東方)

# 鉛市商店

## 本會出品

- 鉛丹(壹號、貳號) 最上鉛丹
- 蓄電用鉛丹リサージ 藥用鉛丹
- 酸化鉛リサージ 鉛白(唐の土)

本店の鉛丹市業を創めたるは應永の昔にして今日に到るまで實に五百餘年を経たり  
今や各種鉛丹は勿論、リサージ鉛白をも製出し品質の優良なる價格の廉なること既に  
斯界の定評となれり

本店及工場所在地	大阪府堺市市之町東六丁
第一分工場所在地	同 熊野町東四丁
第二分工場所在地	大阪府下泉北郡向井町字北庄
大阪出張所	大阪市南區上本町九丁目萩田商店



# 業 創

## 年 二 十 三 治 明

ボテীবワニス  
 コーバルワニス  
 コールドサイズ  
 タマーワニス  
 ヘルドワニス  
 印刷用ニス

創業以來二十年間ノ經驗ト最新化學ノ粹ヲ應用  
 シテ製造セラレタル當社ワニス類ハ光澤ニ、乾  
 燥、ニ耐久力ニ其品質ノ優秀ニシテ鐵道院、三  
 菱、川崎造船所、各電車會社、石版印刷同業組  
 合等ノ各工場ニ於テ愛用セラル

大阪市北區西野田中江町

### 株式會社 彩 工 舍

電話 土佐堀一五三七番  
 振替口座東京三九一八番

ニス引綜統  
 金 箒  
 鹽化亞鉛(液狀)  
 鹽化マクネ(液狀)  
 シユーム(液狀)  
 ソフトデス  
 (糊原料)

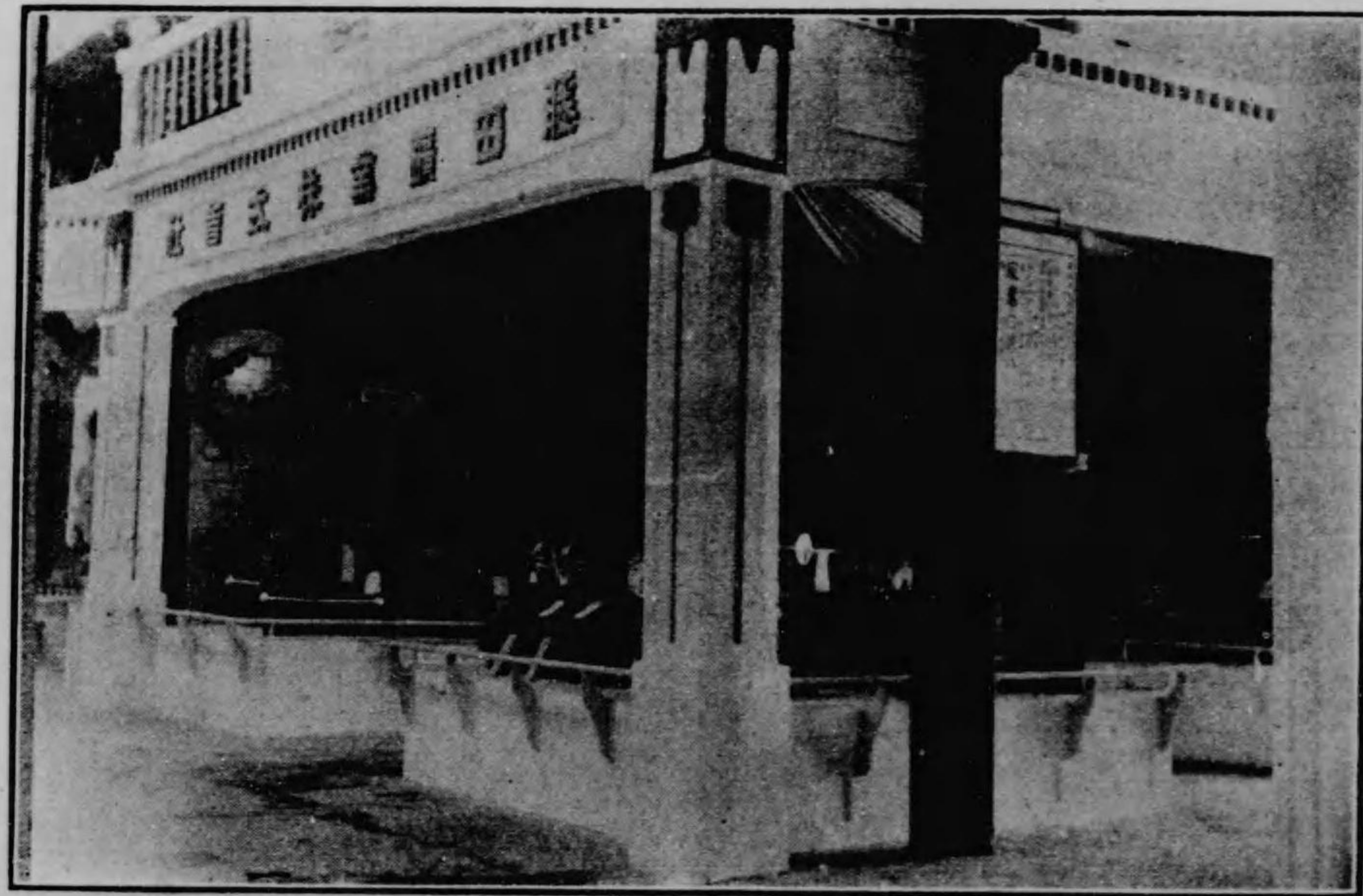
外國品或ハ他種ノ綜統ニ比シ品質卓越シ生産能  
 率ノ優シタルハ織布業者間ニ推稱セラル、處  
 鹽化亞鉛鹽化マクネシユームハ織布用糊ノ防腐  
 吸顯劑トシテソフトデスハ諸種ノ原料ヲ調合精  
 選シタルモノニシテ織布用糊ニ配合スベキ糊原  
 料トシテ共ニ當社獨特ノ製品

彩 光 舍 の 出 品



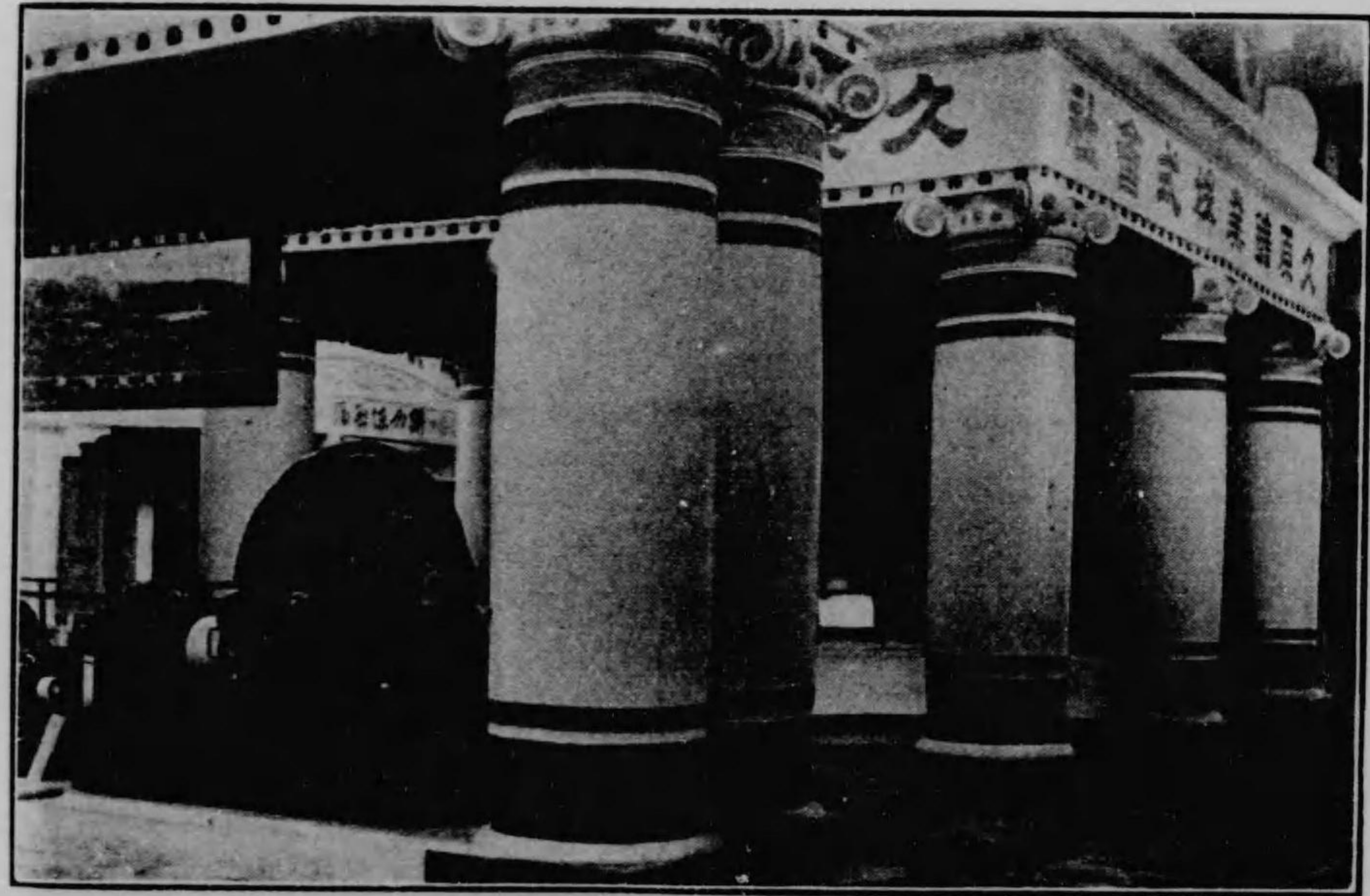
(方 南 館 本 一 場 會 一 第)





藤田鐵業株式會社出品場

(方南館本一場會一第)

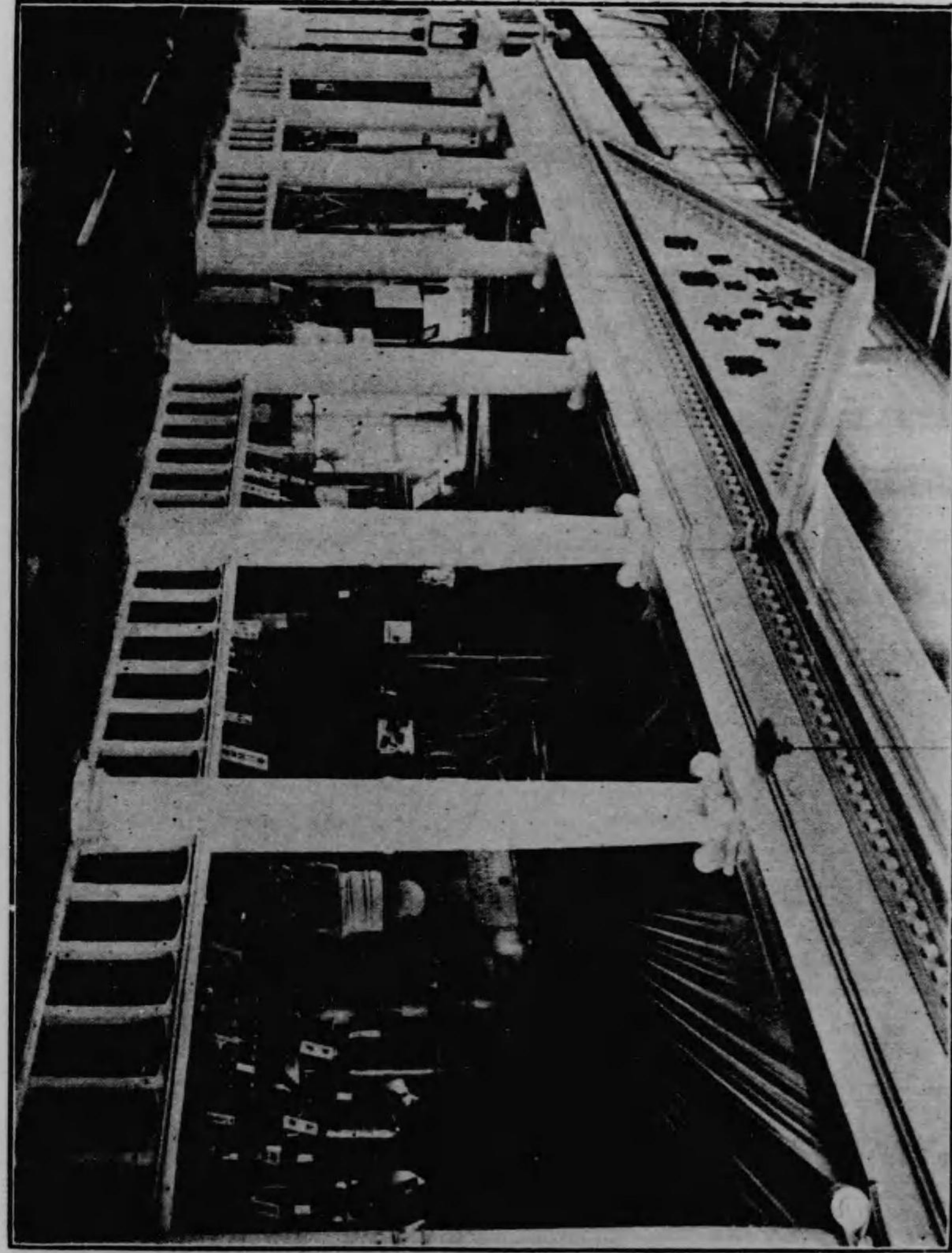


久原鐵業株式會社出品場

(方南館本一場會一第)



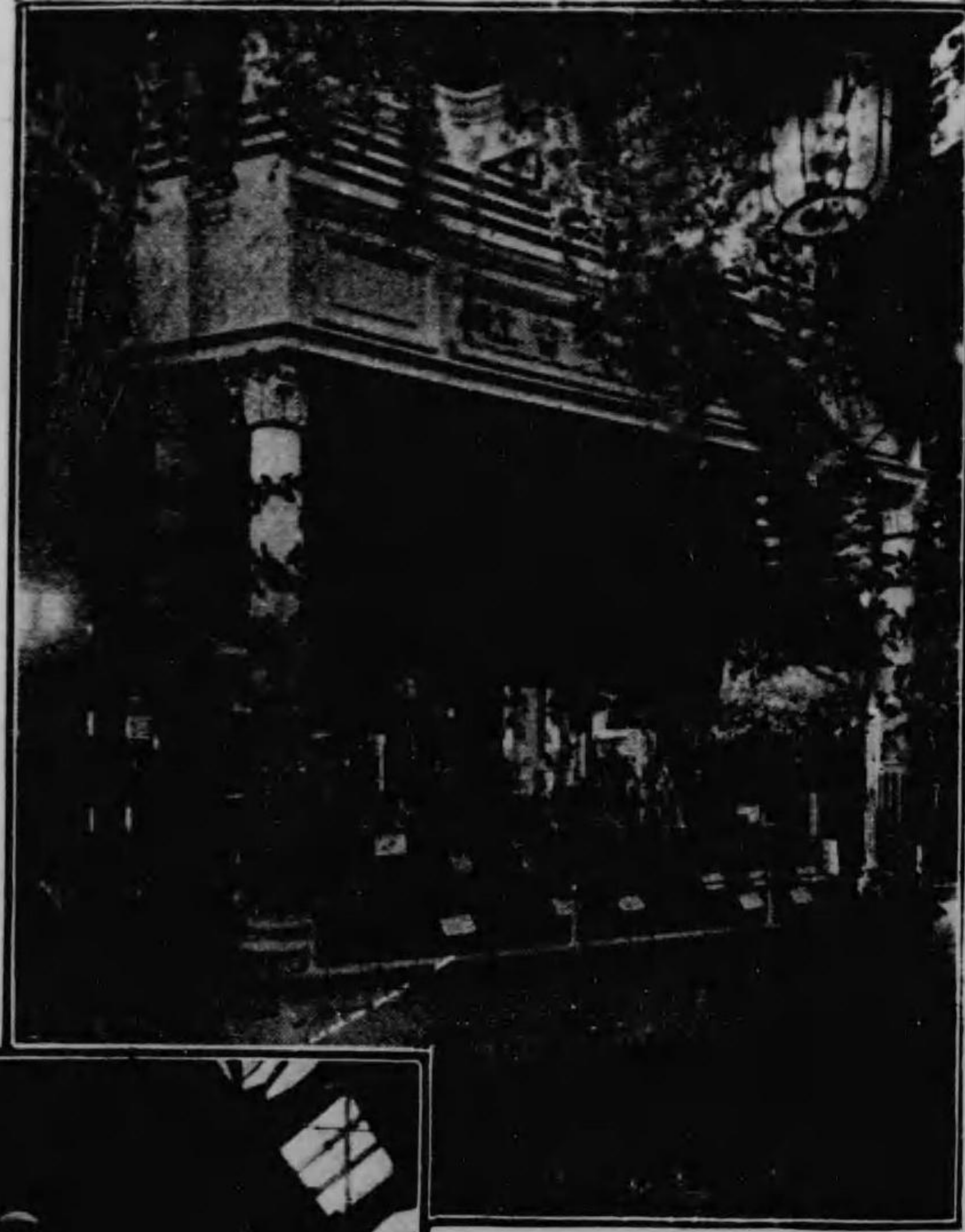
場品出の店商木鈴戸神



(方南下階館本一場會一第)

東側からと

西側からと



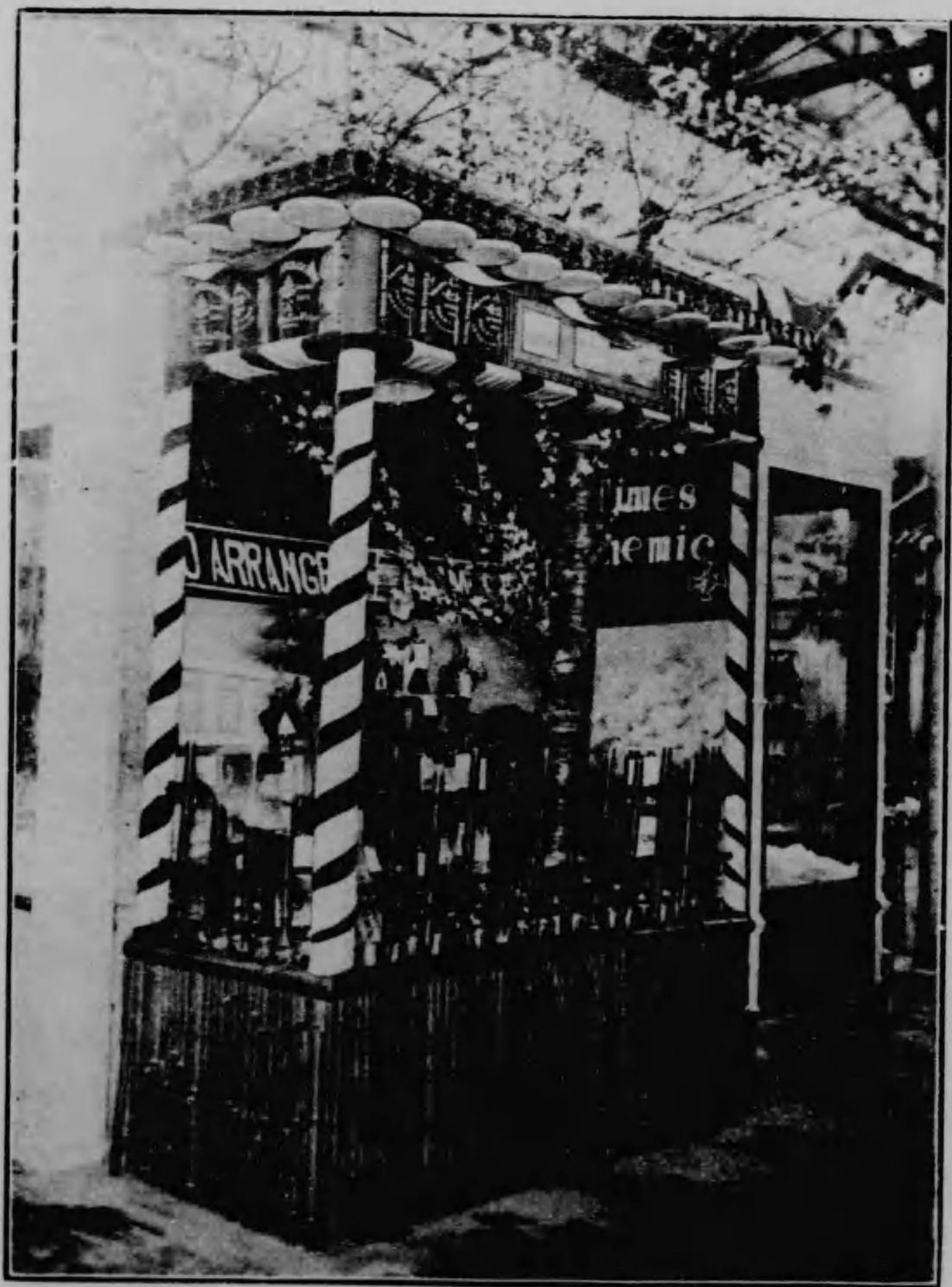
三井礦山株式會社出品



(方南館本一場會一第)



三木笑蚊館の出品



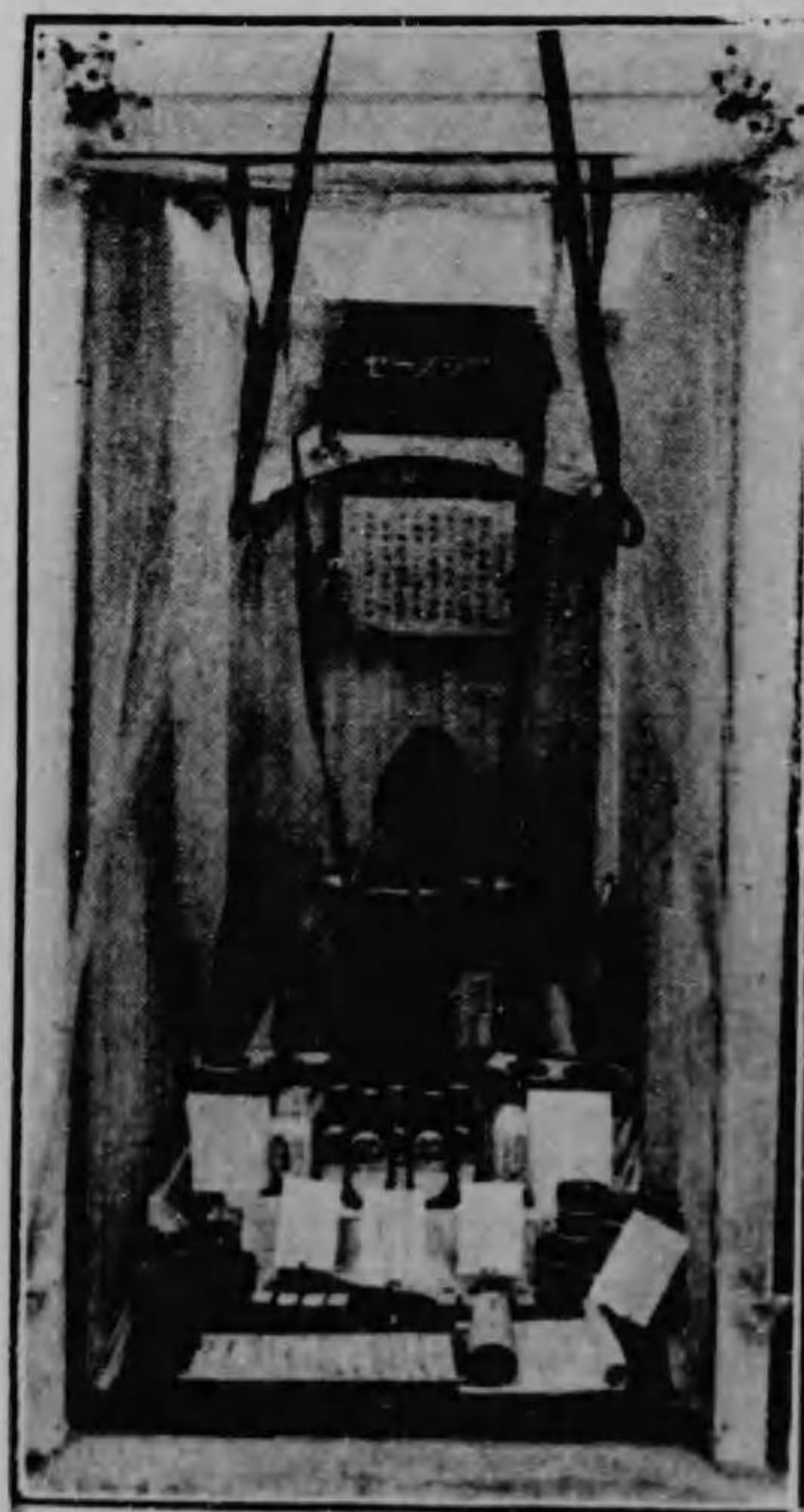
(方南下階館本——場會一第)

かつげ薬ブライノーゼ



大阪市北區河内町三丁目  
發賣元 三方商會

本劑は清水藥劑官が發明せる特種の方法を以て米糠より製出せるマルツ性製劑にして脚氣の豫防及び治療に卓絶の効力を顯はす共ニ神經衰弱を治し精力を旺盛ならしめ而かも安價にして美味なるを特色とし大阪砲兵工廠職工に實驗の成績に據れば輕症は皆な數日以内に全治し重症の平均治療日數も十二日四分に過ぎずして多數の職工を有する大會社等にして本劑を賞用せらるゝの數も年々増加しつゝあり



(本館東側)



東洋化學工業株式會社の出品



(第一會場 — 本館階下東部)

# 營業品目

粗製沃度	硫酸加里	塩化加里	醋酸石灰	塩酸加里	過滿俺酸加里
------	------	------	------	------	--------

大阪市東區高麗橋一丁目

本業場店 **東洋化學工業株式會社**

電話本局 三三三 七四四 五八六 番

工場	長野縣上水内郡柏原村
工場	三重縣度會郡神社町





### 日本ペイント製造株式會社概要

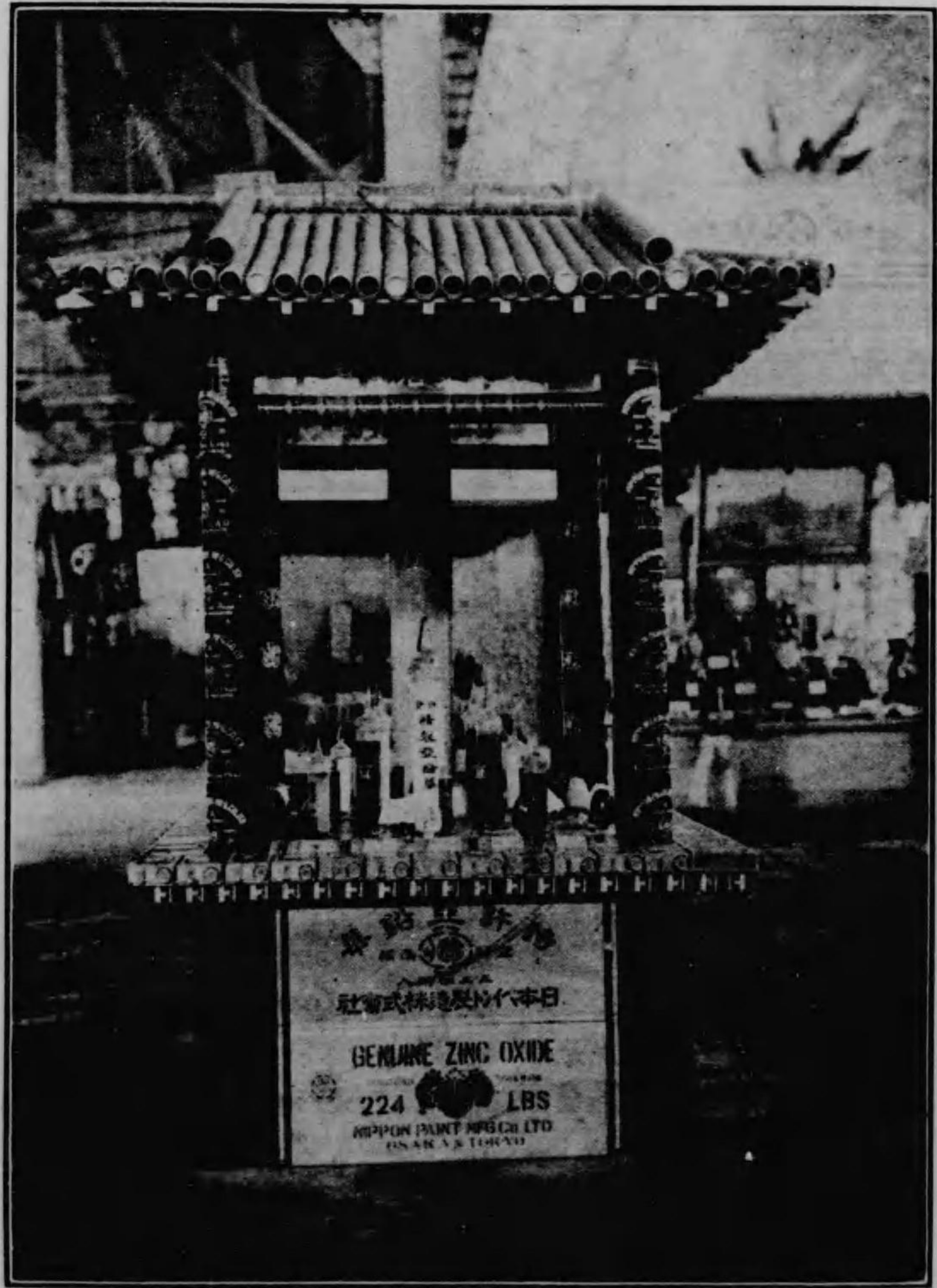
■ 當會社は明治十四年の創立に係り本邦ペイント業の鼻祖たり  
 ■ 當會社は東京及大阪に廣域萬餘坪の塗料顔料工場を有し製造装置の完備せること東洋に其類なし  
 ■ 當會社の副業者にして現取締役技師茂木重次郎氏は斯業の功勞により綠綬褒章を拜受したり  
 ■ 當會社は積年の努力を以て年額百餘萬圓の海外輸入を防護し進んで支那印度露西亞南洋諸島へ其製  
 品を盛に輸出するに至れり

■ 當會社は五百萬圓の資本と壹百二十餘萬圓の積立金を擁し年々百餘萬圓の産額を出しつゝあり  
 ■ 當會社の主要製品は 白亜鉛ペイント、白鉛ペイント、各色ペイント、調合各色ペイント、ボイル  
 ド油、ブラインド光澤塗料、各種光明丹、特許調合鉛丹、リサージ、亞鉛華、白鉛、各種ワニス、エナ  
 メル、船底塗料、パテ、ドライヤ、漆、其他の繪具粉末類なり

# 日本ペイント製造株式會社

代理店	横須賀	東京市外南品川
	舞鶴	大阪市外北浦江
	神戶	支那上海江西路
	佐保世	支那天津
	小倉	京城青島香港
	大連	天津盤谷
	臺北	漢口新嘉坡

日本ペイント製造株式會社の出品



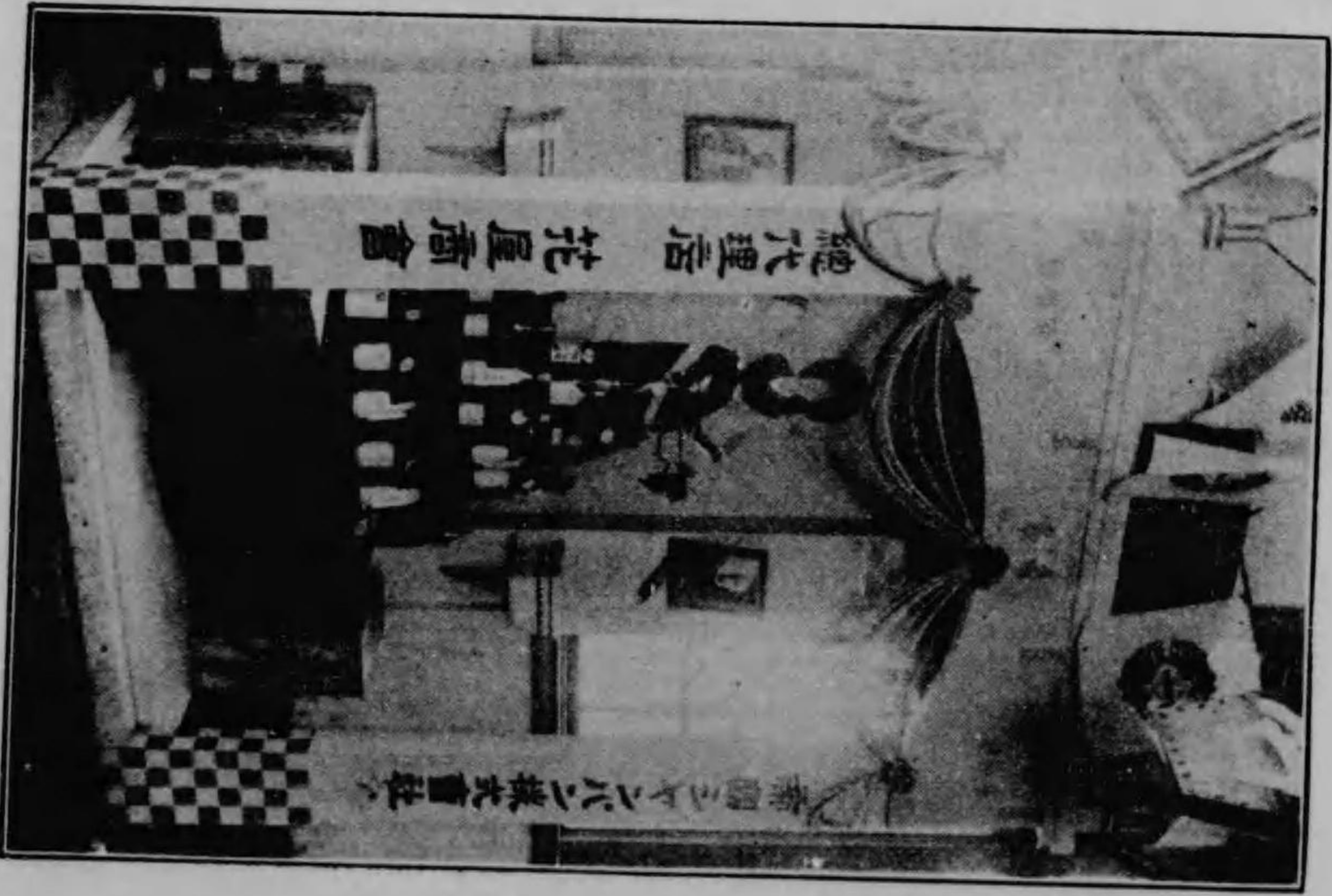
(方南下階館本 — 場會一第)





池田化学工業所の出品

(下階館本——場會一第)



花屋商會出品の帝國シヤンパン

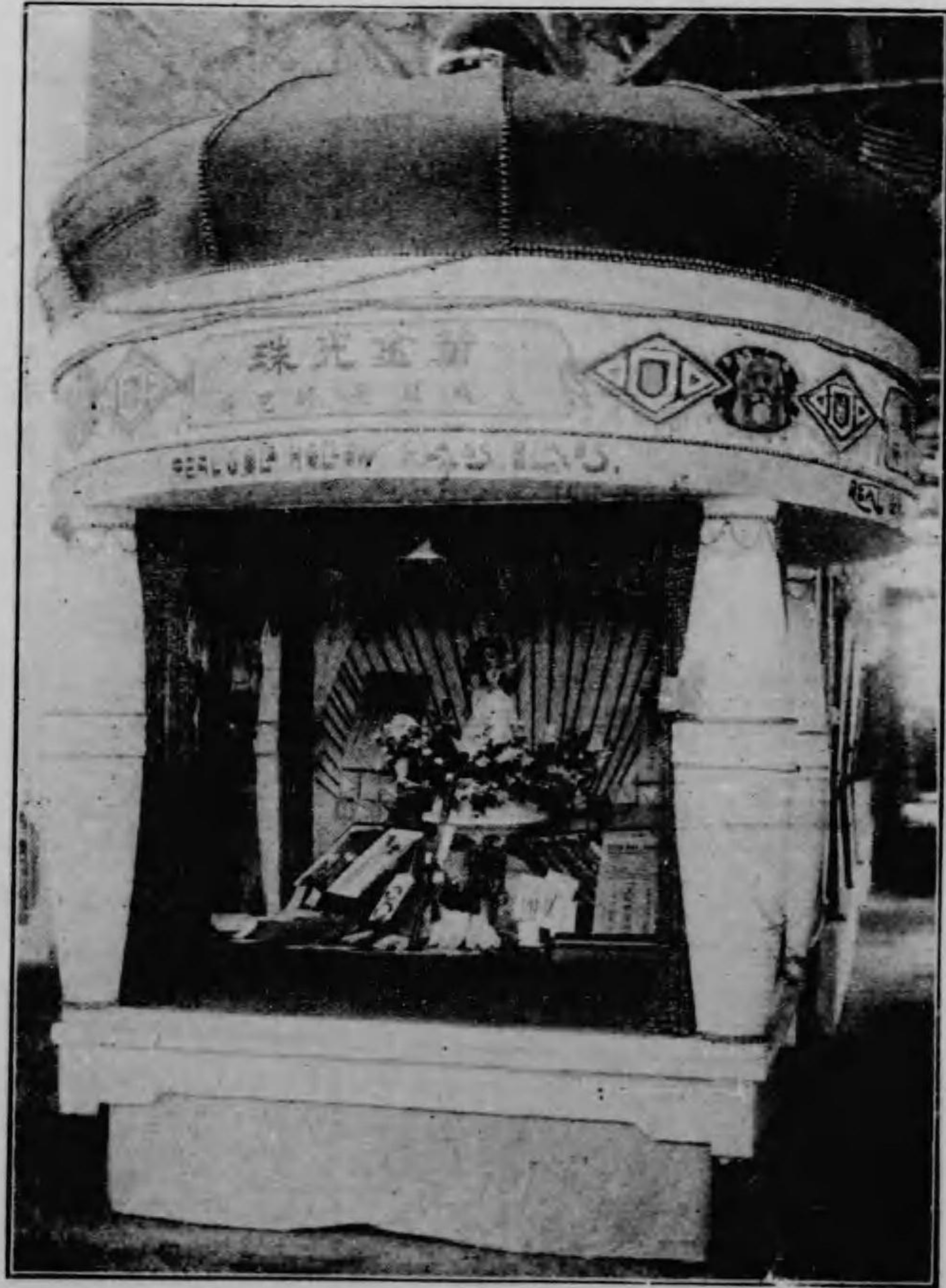
(上階館本——場會一第)



日本製糖株式會社出品  
(第壹館)



大阪銀屋所究所出品の黄金光球



(角南西館本——場會一第)

皇后陛下獻上御嘉納ノ光榮ヲ荷フ  
宮内省御買上

各博覽會ニ於テ金銀賞牌ヲ受領ス

一本工業ハ製作方法及ビ器械ニ付キ數種ノ特許權ヲ得テ大正四年創業以來多クノ改  
繕ヲ加ヘ以テ斯克完全ナル品物ヲ製出シ且ツ品質及ビ價格ニ於テ他ニ比類ナ  
ク左記諸外國ニ製造輸出ノ嚆矢トシテ年々多額ノ生産力ヲ増シツ、アリ殊ニ  
昨年來ヨリ一大進歩ヲナシ其製品ノ優秀ナルハ内外商一般ノ認ムル所ニシテ  
幾多ノ賞讚ヲ博セリ  
一本品ハ硝子製珠及ビ腕環等ノ内部ニ純黄金ヲ溶液トナシ注入シテ最新式化學ノ技  
術ニヨリ還元ナシ純黄金膜ヲ鍍着セシメタルモノニシテ永久不變色ノモノ也  
一販路南洋諸島、埃及濠洲印度及ビ米國  
一用途裝身具其他用途擴シ

大阪市東區東平野町九丁目五

黄金腕環  
黄金光球

製造輸出

大阪銀屋研究所

所主 森 内 久 次

電話南貳千貳百五拾番



最新發明の新菓子

ラクト、キヤラメル

醍醐素

最新衛生的飲料  
微菌を應用したる

醍醐味

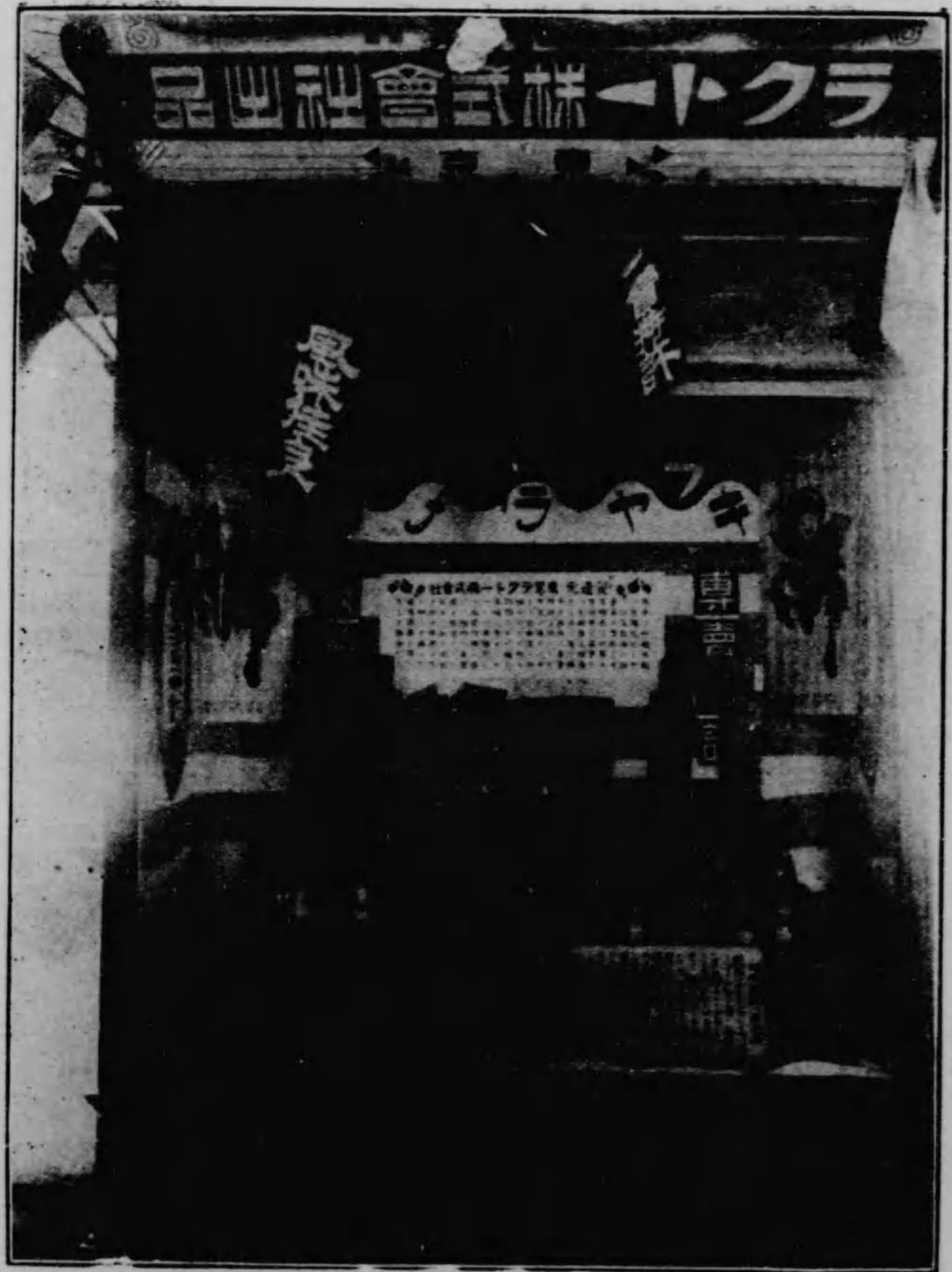
一合の滋養價は  
牛乳約一升の滋養價に等し

大阪市南區順慶町二丁目

ラクト株式會社大阪出張所

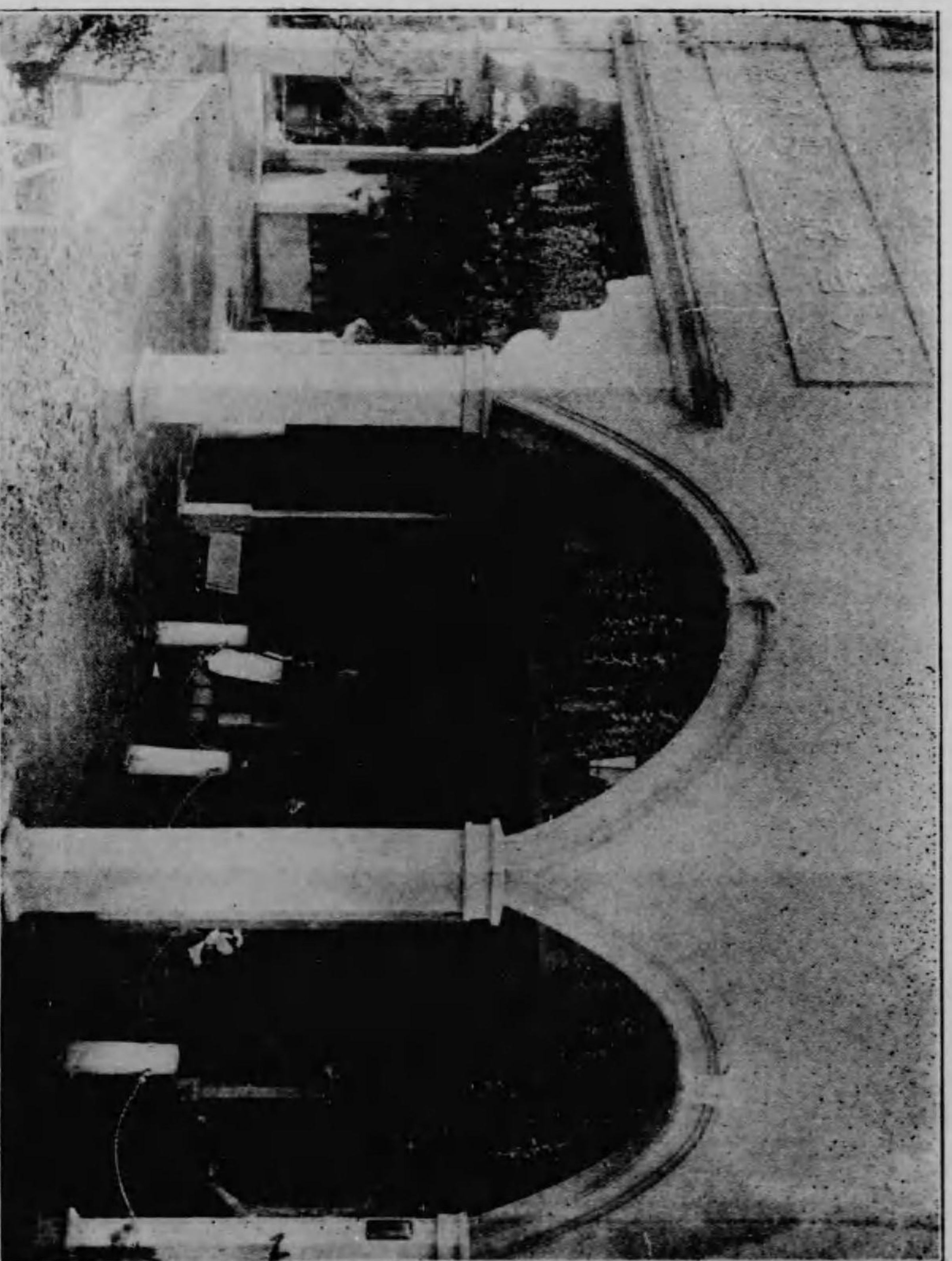
電話南四三一二番

ラクト株式會社の出品



(上階館本)





(第一會場本館前東)

# 大日本人造肥料株式會社

東京營業所

東京市日本橋區北新堀町五十九番地

大阪支店

大阪市西區川口町十五番地

工場

釜屋堀 小松川 橫濱 函館  
大阪西 大阪北 大和田 下關

資本金

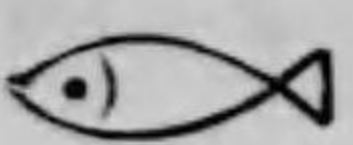
壹千貳百五十萬圓

創立 明治二十年

登録



商標



營業品目

各種過磷酸肥料、各種完全肥料、重過磷酸  
 ガブ、園藝肥料、發煙硫酸  
 無水硫酸、鹽酸、各種硫酸  
 硫化曹達、清澄劑、硝酸等

右製造品中發煙硫酸ハ從來陸海軍ニ於テ外國ノ特許法ニヨリ製造セラシ、ノミナリ  
 シガ當社ニ於テハ我帝國政府ヨリ得タル特許法ノ下ニ始メテ製造ヲ完成シ民間ニ於  
 ケル斯業ノ先驅タルノ榮ヲ得タルモノナリ



# 硝子の界の革命

## 硝子 絹子

- 一、絹の様に美しい光を有つて居りますから衝立、屏風、電燈カバー等の家庭用装飾器具類に汎く愛用されます
- 一、落しても、たゞいても容易に破損せず目方が軽くて運搬取扱には至極便利殊に輸出として歓迎されて居ります
- 一、廣告用の看板としては繪畫、文字などは自由自在に入れて大さはお好の通りに作ります
- 一、普通硝子と同様の價格ですから諸建築窓硝子用建具用などには最適當品で目下斯界に噴々好評を博して居ります

大阪市築港七條通三丁目

日本硝子株式会社

電話長西三四五〇番

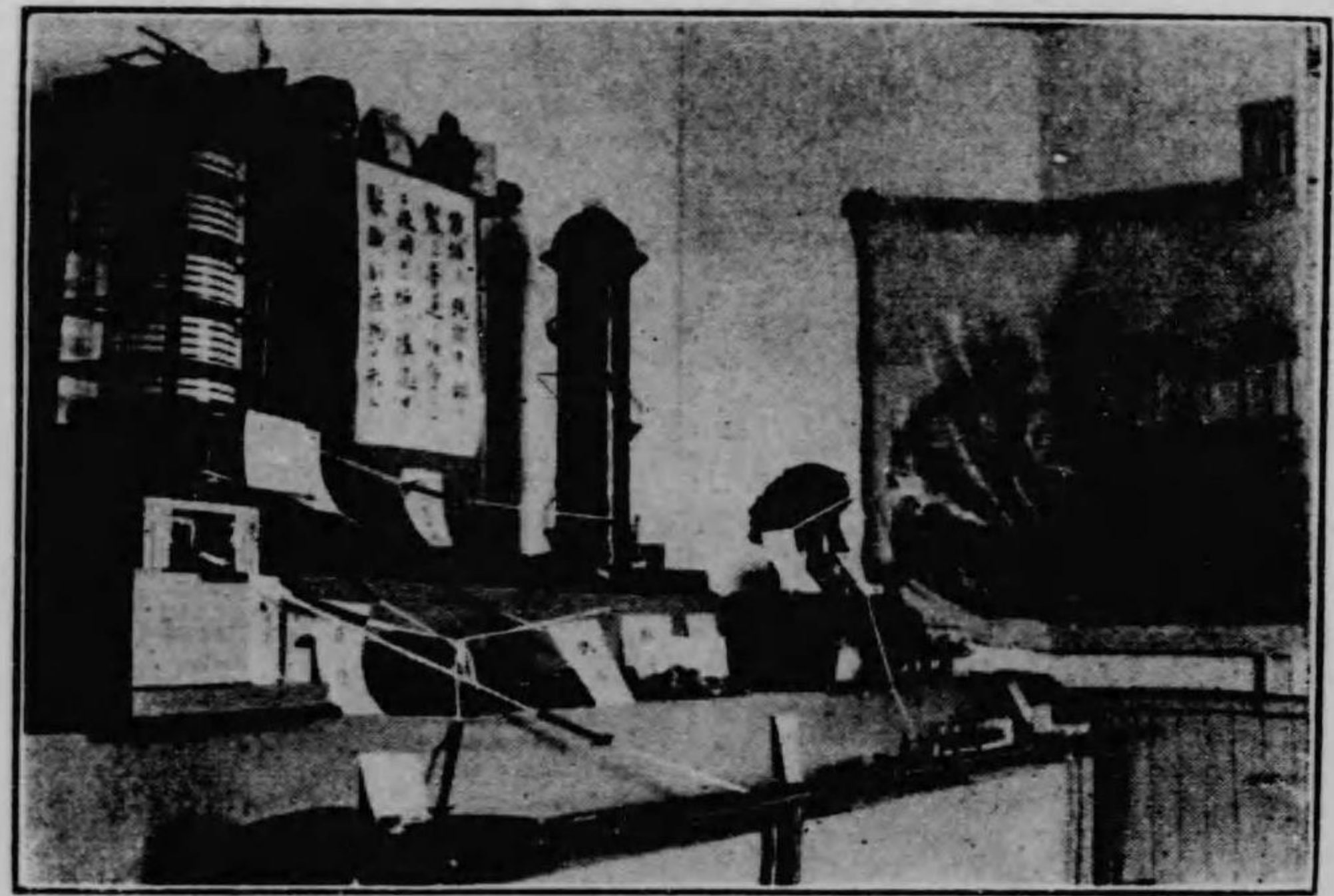


日本硝子株式会社の出品場

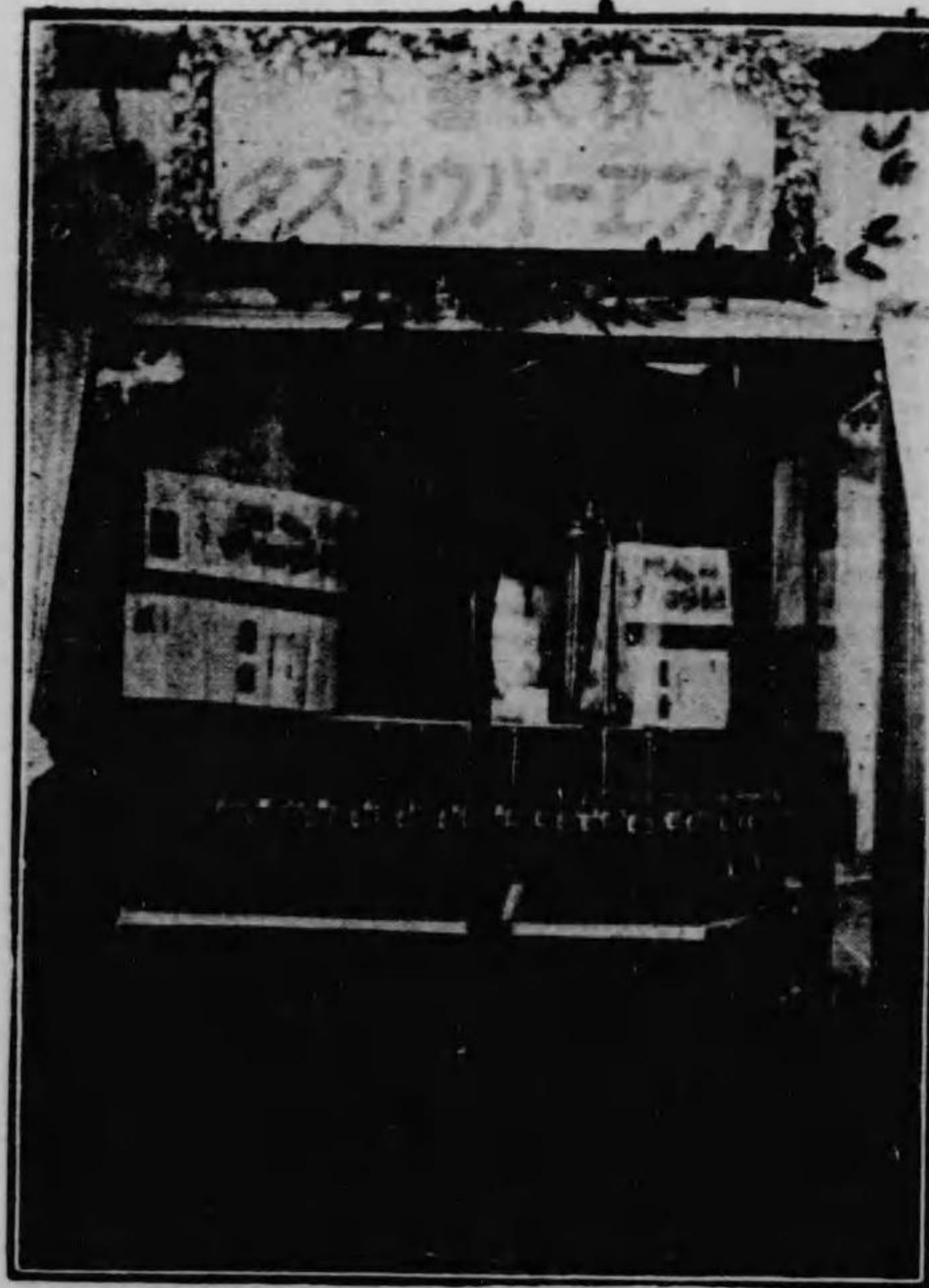
(第一會場——本館前六角堂裏)



部 考 参

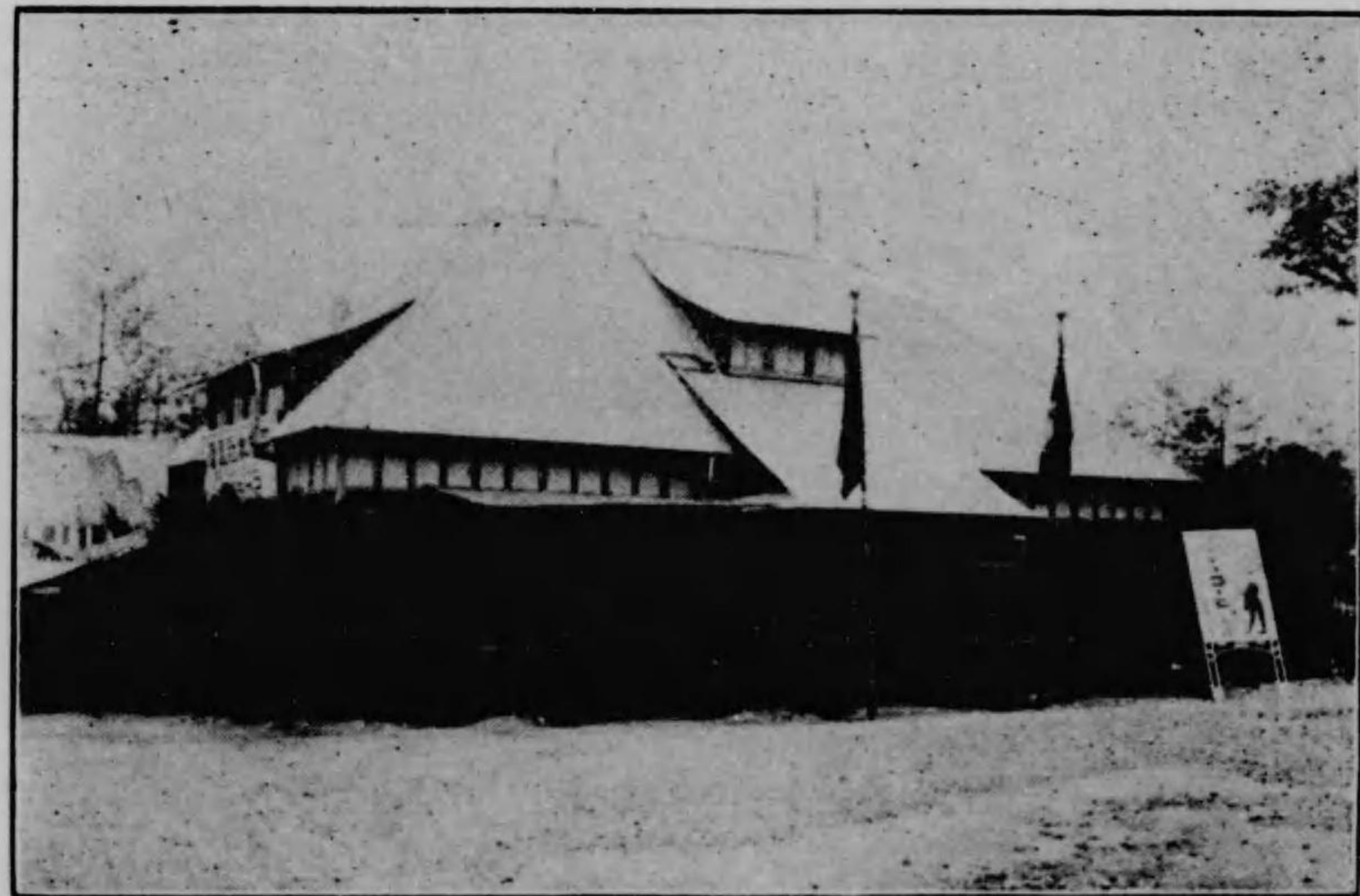


鑛石から鐵になるまで  
 一 鐵 冶 金 室  
 製造順序の模型  
 と其の副製品  
 (第一會場—本館階上東南隅)



株式会社カフエーパウリスタの出品

(上階館本—場會一第)



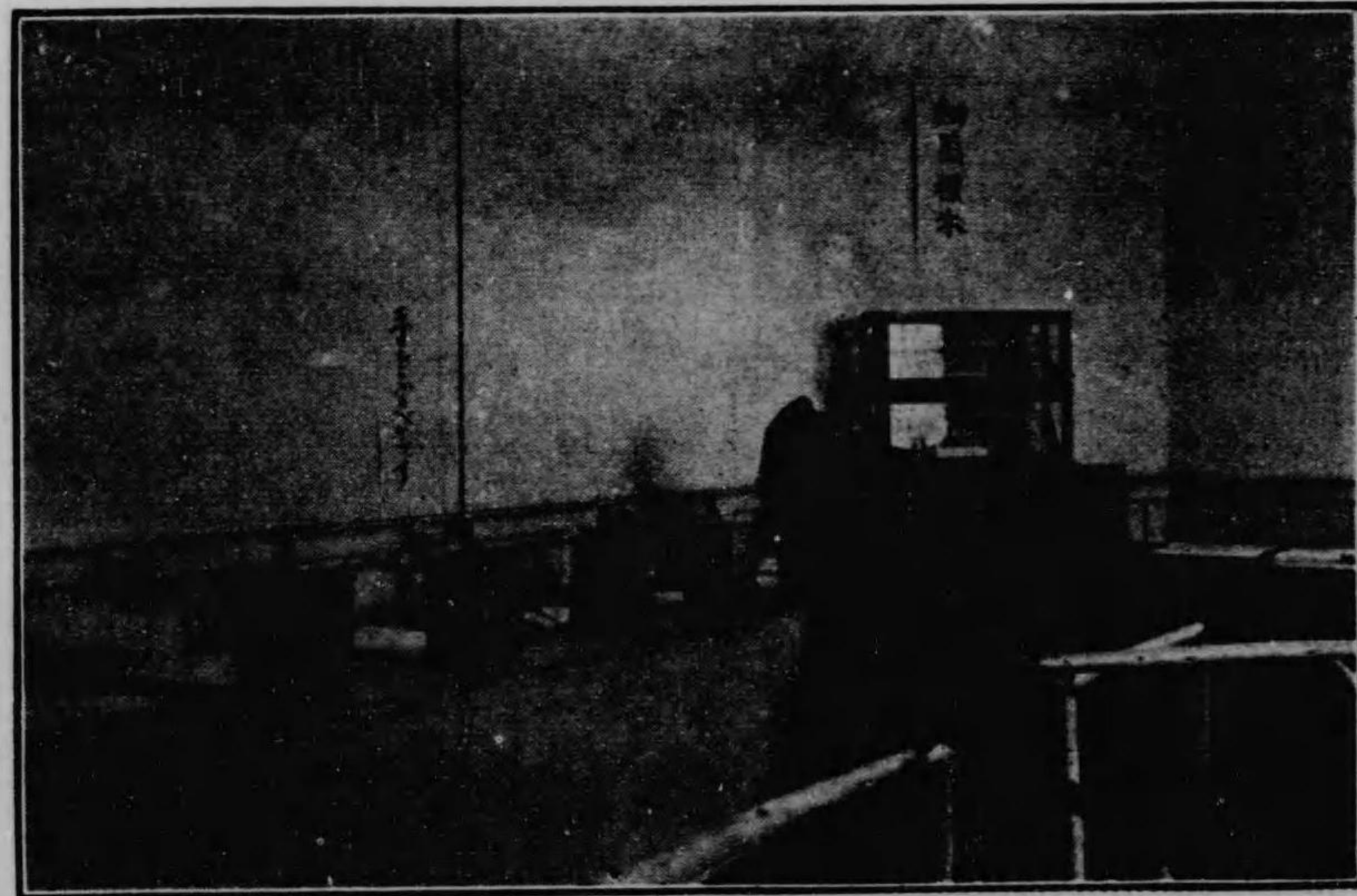
カフエー、パウリスタ出張店

(庭廣前館本)



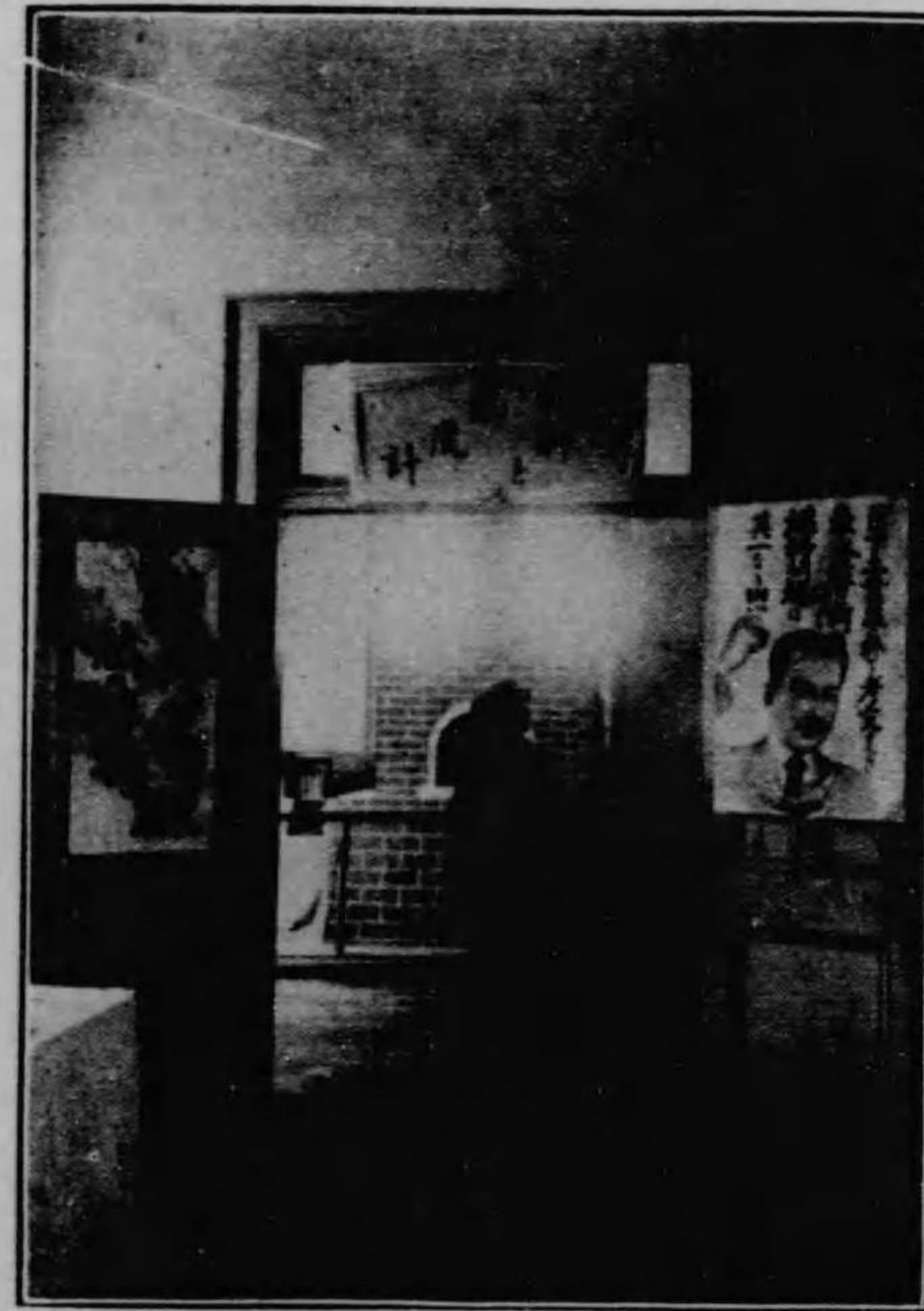
部 考 參

部 考 參



微菌は毒か薬か—顕微鏡室

(隔北西上階館本—場會一第)



(第一會場—本館階上西南隅)

- 水を沸かすに要する諸燃料の比較
- 人類は如何にして火を得たか
- 熱度計のさまざま
- 煤烟防止の研究
- 燃料と熱の研究室



(五)(五)(六)(六)(六)(六)(六)(六)(六)(六)(七)(七)(七)(七)(七)(七)(七)(七)(七)(七)(八)  
 子三堂耶洲次鐵業一耶房一工社油合合合助助品門耶造  
 工  
 確任 寫二長 酸學 化經二 眞兵 組組組 酒  
 騰 耐日 繁仁 支共 醬醬 林 佐出工二 島  
 川田 寛原鹽 業野 山 重島府 藤量 ケ  
 井 本工 澤 本 豆阪野林 塚都 井  
 砂  
 石友堀森北門日高出平博中柿三三小大龍小伊少肥長江  
 (三一)(三二)(三三)(三四)(三五)(三六)(三七)(三八)(三九)(四〇)(四一)(四二)(四三)(四四)(四五)(四六)(四七)(四八)(四九)(五〇)(五一)(五二)(五三)(五四)  
 店球器瑯ル本機機室所令吉室耶吉箱造助谷耶店耶鉄吉  
 計 金  
 商電 化球 電電治陶 定 留 道孝 二械二 製乙  
 理 鐵製合 資見 文 經器權  
 岸路 本 井戸品 谷 木 味木 田田  
 京 エ 考 村 木 村澤瀬  
 山 巖 東 日 界 柳 安 神 參 西 離 守 貴 八 山 寶 五 柏 鹽 田 長 市 村 平  
 (四)(五)(六)(七)(八)(九)(一〇)(一一)(一二)(一三)(一四)(一五)(一六)(一七)(一八)(一九)(二〇)(二一)(二二)(二三)(二四)(二五)(二六)(二七)

朝のおみじまいから外出をなさるまで  
— 人形の活動 —



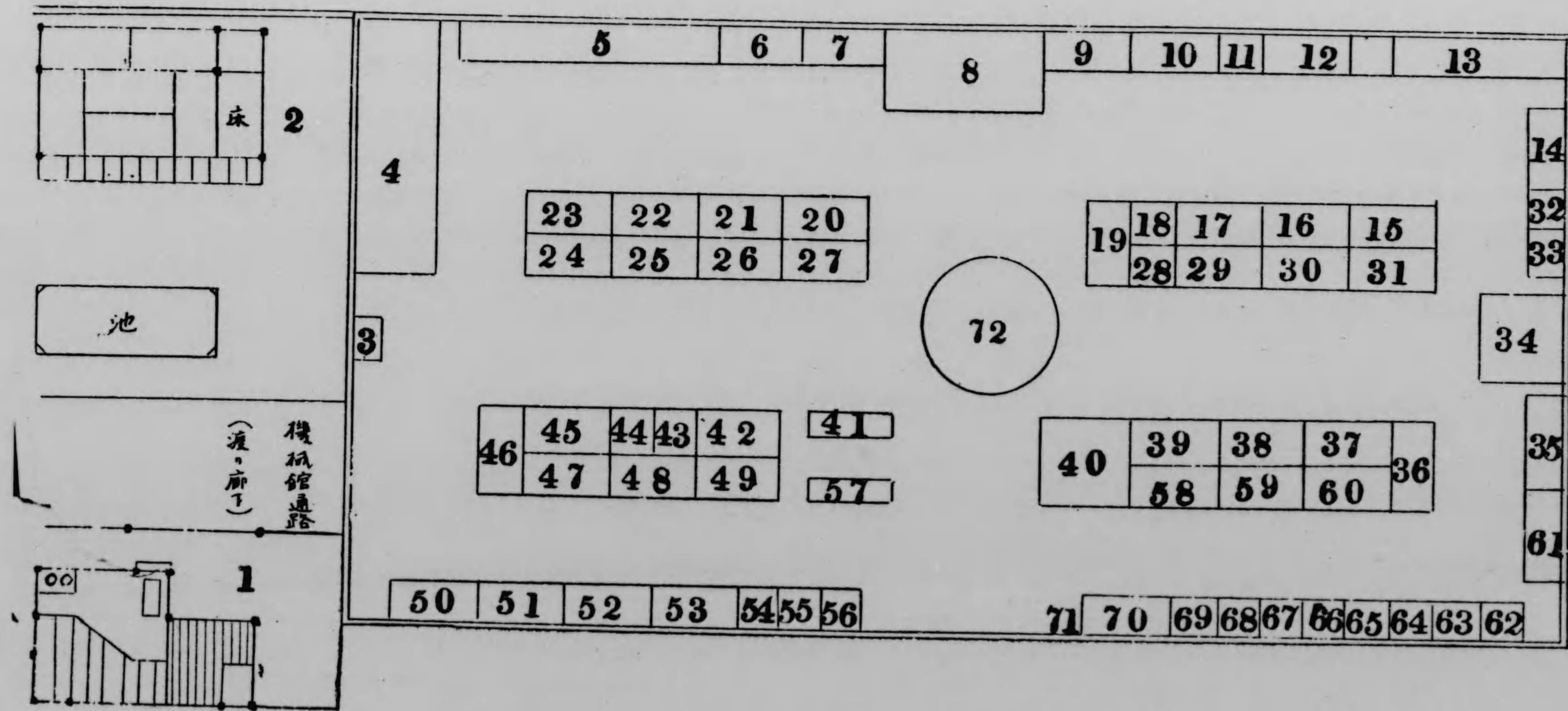
(方西前箱本—場會一第)

斯のやうにして美人になるまで  
— お化粧の順序 —



# 大阪工業博覽會

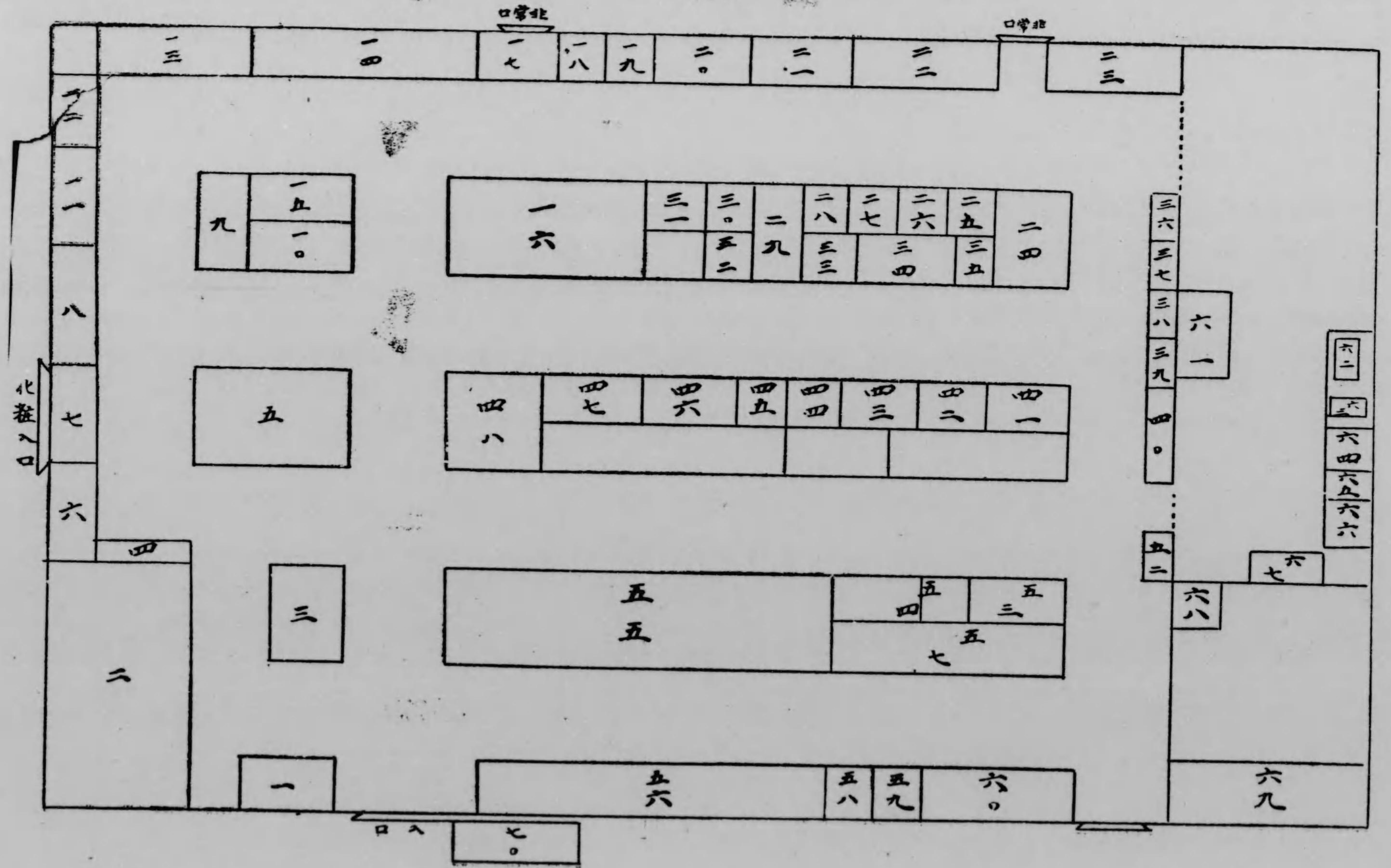
## 第二館 特許館平面圖



機械館平面圖



# 機械館平面圖





# 第一館 平面圖

- (1) 所一會社一堂
- (2) 製造
- (3) 製造
- (4) 製造
- (5) 製造
- (6) 製造
- (7) 製造
- (8) 製造
- (9) 製造
- (10) 製造
- (11) 製造
- (12) 製造
- (13) 製造
- (14) 製造
- (15) 製造
- (16) 製造
- (17) 製造
- (18) 製造
- (19) 製造
- (20) 製造
- (21) 製造
- (22) 製造
- (23) 製造
- (24) 製造
- (25) 製造
- (26) 製造
- (27) 製造
- (28) 製造
- (29) 製造
- (30) 製造
- (31) 製造
- (32) 製造
- (33) 製造
- (34) 製造
- (35) 製造
- (36) 製造
- (37) 製造
- (38) 製造
- (39) 製造
- (40) 製造
- (41) 製造
- (42) 製造
- (43) 製造
- (44) 製造
- (45) 製造

- (67) 大丸鉛近大大阪大帝丸阪多第高旭入千東日日大日藤三神日瀨東秩金口東若三日上鈴住味彩日野日森小
- (68)
- (69)
- (70)
- (71)
- (72)
- (73)
- (74)
- (75)
- (76)
- (77)
- (78)
- (79)
- (80)
- (81)
- (82)
- (83)
- (84)
- (85)
- (86)
- (87)
- (88)
- (89)
- (90)
- (91)
- (92)
- (93)
- (94)
- (95)
- (96)
- (97)
- (98)
- (99)
- (100)
- (101)
- (102)
- (103)
- (104)
- (105)
- (106)
- (107)
- (108)
- (109)
- (110)
- (111)

- (133) 三廣米淺藤日正日日室加笠海電穴鋪岡並極松三伏山赤三尼大二日大三愛東旭品橋大堺端朝東井大富關
- (134)
- (135)
- (136)
- (137)
- (138)
- (139)
- (140)
- (141)
- (142)
- (143)
- (144)
- (145)
- (146)
- (147)
- (148)
- (149)
- (150)
- (151)
- (152)
- (153)
- (154)
- (155)
- (156)
- (157)
- (158)
- (159)
- (160)
- (161)
- (162)
- (163)
- (164)
- (165)
- (166)
- (167)
- (168)
- (169)
- (170)
- (171)
- (172)
- (173)
- (174)
- (175)
- (176)
- (177)



葉嶺店トト場社茂助造工瀬三治業耶會社會

製石商  
メレ 工會  
ス 之賢兵  
野野烟阪 九在 本 田崎 飼 化 益 株 式 商

永津中  
野野烟阪 九在 本 田崎 飼 化 益 株 式 商

森栗田邊淺福大健金古茂野安宮東猪公丸丹  
(181)  
(182)  
(183)  
(184)  
(185)  
(186)  
(187)  
(188)  
(189)  
(190)  
(191)  
(192)  
(193)  
(194)  
(195)  
(196)  
(197)  
(198)  
(199)

會チ會業所會助學會店△店フ店料會料組

組工 約 化  
商定 商商 商 商 染 商 染 料

內 染 化 賣  
和 田 田 桑 津 井 瀬 本 田 田 具 染

藏東輪赤第親飯大二扶攝米堺長日池柴繪

(115)  
(116)  
(117)  
(118)  
(119)  
(120)  
(121)  
(122)  
(123)  
(124)  
(125)  
(126)  
(127)  
(128)  
(129)  
(130)  
(131)  
(132)

店唐藥樂助ル會會瓦業ン合布業藥耶堂藏

工工 ア  
商水 學化 卵 一 商商 饋七 藥材鉛 製 次翁 作

日本 國本 山 六貫 原 煉 製木亞 竹松 井

(49)  
(50)  
(51)  
(52)  
(53)  
(54)  
(55)  
(56)  
(57)  
(58)  
(59)  
(60)  
(61)  
(62)  
(63)  
(64)  
(65)  
(66)  
島日帝日和中丸赤堺久日大東大貝松平土

合吾堂館耶粉粉粉會泉耶遜々社造合粉ン門作一茂助室室

組 省 太 濃 濃 製 聯 礦 五 式 代 組 組 工  
光榮由 業 甚林バ 嘉葡萄 ヤ 善 夕崎 料

造 石 京方田 糖國 藤 一 嘉葡萄 ヤ 善 夕崎 料  
阪 田 樽 藤 エト 葡萄多 田 木 微

大建和共本東南增壑帝加小カラ富淡津播帝御福東讀三燧顯  
(五五)  
(五六)  
(五七)  
(五八)  
(五九)  
(六〇)  
(六一)  
(六二)  
(六三)  
(六四)  
(六五)  
(六六)  
(六七)  
(六八)  
(六九)  
(七〇)  
(七一)  
(七二)  
(七三)  
(七四)  
(七五)  
(七六)  
(七七)  
(七八)  
(七九)  
(八〇)

耶八知子三堂耶粥次鐵業一耶房一工社油合合助助品門耶造

次 惣乾硝任 寫 二 瓦 龜 酸 學 工 二 瓦 兵 製 油 油 油 之 佐 出 工 二 酒

增 木村川田 井 寬 原 遠 業 野 山 重 島 府 藤 量 左 文 井

松鈴中石友堀森北門日高出平博中袖三三小大龍小伊少肥長江

(二八)  
(二九)  
(三〇)  
(三一)  
(三二)  
(三三)  
(三四)  
(三五)  
(三六)  
(三七)  
(三八)  
(三九)  
(四〇)  
(四一)  
(四二)  
(四三)  
(四四)  
(四五)  
(四六)  
(四七)  
(四八)  
(四九)  
(五〇)  
(五一)  
(五二)  
(五三)  
(五四)

社業ル店球器瑯ル本機機室所舍吉室耶吉館造助谷耶店耶紙吉

會 工 ン ト 商 電 計 化 珉 メ 電 電 治 陶 定 一 留 道 孝 二 械 二 製 乙

株 砂 瓦 岸 路 本 井 戶 品 鐵 製 合 資 晃 文 經 器 權 田 田

(一)  
(二)  
(三)  
(四)  
(五)  
(六)  
(七)  
(八)  
(九)  
(一〇)  
(一一)  
(一二)  
(一三)  
(一四)  
(一五)  
(一六)  
(一七)  
(一八)  
(一九)  
(二〇)  
(二一)  
(二二)  
(二三)  
(二四)  
(二五)  
(二六)  
(二七)  
三高名山堀東日堺柳安神參西離守貴八山寶五柏搦田長市村平







# 第一會場

(勸業館)

◆前の正門から仰ぎみますと、高さ八間、幅四間六角形の大水晶塔が晝は太陽の光線に輝き夜は自ら五色の光を發してキラ／＼としてをります、塔の中には本博覽會の象徴たる

## 美裝せる化學姫

◆が天女の如く舞裳を翻へし、その脚下からは春風とこしへに吹き上つて、妙なる樂の音が何處からか起つてをります、本建築は日本絹硝子會社の製品が大部分利用されてあります、このあたりの廣庭、池の汀にはセセッション式の建築があつて斜めに其影を水に投じてゐます、これは日本石綿盤

## 梅櫻桃李一時に開く

◆絢爛さ先づ正面中央に分析實驗を行つてゐる仙老と無心に舞ひつゝある美少女との對照面白く、これは大阪アルカリ會社の出品棚で全社の製品が分類的に陳列されて居ります。これより歩を順次左方に移してゆきますと絹硝子、香品、スワン、萬年筆等が或は人形を應用し或は動力を用ゐて人の注意を惹きつけやうと努めてをります、殊に此近附で最も意匠に意を用ひたのはライオン齒磨の陳列場で愛らしい小供が猛獸に跨つて渾圓球上に雄飛しつゝあたりは雲か海か風起り光り輝くありさまが見事です  
◆又参考の好資料として見るべきは東北の一隅にある柴谷合名會社出品場で米より酒になる順序が實物を陳列して示してあるの

會社が全社の製品たる「セキメンパン」を材料とし屋根瓦から壁、柱に至るまでこれを巧みに應用して建てられたもので耐火耐水建築の模範ださうです、  
◆その背後の池中には特許密閉液体冷却電動機が絶へず運轉して、丈餘の水を噴き上げて見るからに涼しさうな感を與へて居ります。

◆それから館前、向つて右方にクラブ化粧品の即賣店があつて、その中央に朝から外出までの化粧順を現はした婦人人形が絶へずクル／＼回轉してさも／＼忙しさう、又た左方には人造肥料聯合會の出品で大農場を背景として各種の肥料がその使用法と共に陳列されてをります。  
◆さていよいよ一歩足を館内に御入れになりますと

どその稍や南にある福喜洋行の捺染機模型でこれは動力を用ゐて絶えず捺染を實際に行つて尙ほクローム工業及び塩化加里の製造行程と其の用途が圖解にしてあります、其の他其の前方にある樹の實よりグリセリンになる順序とグリセリンの用途を示したものの等説明が如何にも學術的になつて居ります。

◆それより順次南方に歩を進めば金鶴香水谷山製藥の糊張り安住ののみどり等がいづれも美人人形を應用していつもながら岩戸神樂の昔からを想ひ起さしめてをります、此邊一帶は製藥同業會の出品で各種原料薬品が殆んど洩すところなく出品されて、さながら

## 香の國か藥師の淨土か



◆と思はれます中にも東洋木材防腐會社の模型を以て示した木材にクレオソート注入の状況は實に精巧なものです更に南に〜行きますれば其處に二抱へもあるやうな偉大な圓柱が幾本も立つて居るのが眼につきませう、それは久原鑛業會社の出品場で其の中央には全社の有する各鑛山より採鑛された各種鑛石を以て鑛山の模型を作りその坑道には各鑛石より精煉されたる一個二萬圓ばかりの、金塊の實物や銀、銅、鐵等の塊がそれ／＼鑛石と共に並べられてありますのは學術的にも興味的にも價値あるものでして

### 實に黄金萬能の時代

◆を遺憾なく發揮したりといはれます、その隣にはやはり全社の製品たる誘導電動機

やターボプロワーが偉力ありげに大きな圖体を横へて行人を驚かして居ります  
◆久原の前は日本グリセリンの出品場で原料採取より製品の用途に至るまでの實景を示した大背景の前に各種製品を陳列し、絶へず石鹼製造機を動かして石鹼を實際に造つて實價で即賣して居りますのであたりはいつも黒山のやうです、  
◆そのお次ぎは藤田組の出品場で此室には電氣爐模型が灼熱の光りを放つて目も眩むばかり、其のまた隣は神戸鈴木商店の出品場で間口十數間に亘る特別大館の中は全社製品の多數が奇麗に陳列されて居ります、藤田組に相對しては三井鑛山の出品場があり全社經營の各鑛山製品が鑛石と共に配列されて居るのが観物、即ちこゝらあたりは一帯に一個これ

### 富豪國の縮圖

◆を見るやうです、其の近く、三木笑軒館の顔料出品の前方には若松鑛山の實景模型が出てをりまして全鑛山より出づるクローム鐵鑛より各種藥品となる順序が巧みに説明されてあるのが學生諸君の參考資料として好箇のものでせう。

◆神戸鈴木商店に對しては住友伸銅所で銅黃銅板を建てならべてその豪壯を誇り顔です、これはこゝらあたり濃艶なるデコレーションの裡に獨り屹として一特色を發揮してゐるのは却つて觀者に一種の快感を與へてゐます、

◆此の伸銅所の金光色に對して極東ガラスの乳白色の出品が

### 好い色のコントラスト

◆をなして實に光りの國に這入つたやうな感じがします、それから又た三菱よりの出品にかゝる日本の金の年産額

### 百八拾萬圓の金塊

◆が銀塊模型と共に人の膽を奪つてゐますこれより北部には主として窯業に關する出品で煉瓦、分解爐等種々の品が各所より出品されて居りますから研究家の見通す事の出来ない處です、此處を通り抜けて館の北方に近きますと花王石鹼本舗の石鹼の泡の瀧や、淺野スライトの雷や、櫻セメントの櫻の釣枝など苦心の意匠が素人眼に面白く映じます、尙ほ此邊で參考として見るべきは關東酸曹の苛性曹達製造の順序と淺野セメント製造圖解でせう。

◆階下を之れでざつと一通り終り更に中



中央から階上にあつて右に行けば化学醫療器械類が室一杯に集まつて居ります又左すれば醸造に關するもので酢、醬油、酒は申すに及ばずサイダー、シャンパン等あらゆる飲料類が出て居りますが此の階上一帯を通じて特に學術的の觀物として注意すべきは別項にある「鉄冶金室」「燃料室」「顯微鏡室」と共に階上中央にある東京三共株式會社の赤痢コレラ、ワイルド氏病原菌、梅毒肺炎、腸チブス等の各菌を内部から光線を使つて廓大に見せた標本と且つそれ等の血精の陳列です

### 参考 鐵冶金室より(第一會場二)

製鐵所問題など、近頃やかましいものですが、如何にして銑鐵、鋼鐵が製せらるゝ

滓となり之も亦爐底に銑より輕きが故に銑の上層に溜るので、而して其の集積するに應じて銑を流出する涌出口より稍上方の爐外に流出せしむると銑は其一部は其の儘銑鑄物として使用さるゝし、又一部は製鋼用原料として使用さるゝものであります

◆製鋼法の最も多く行はるゝものは平爐製鋼法(ジーメンスマルチン法)と轉爐製鋼法(ベッセマー法)とで前者は瓦斯を燃料とせる此處にある模型の如き爐を使用します、此の爐で以て燃焼すべき瓦斯及び燃焼せしむべき空氣は爐より排棄さるゝ高熱の瓦斯を以て豫め熱せられたる室を通過し高温度に熱され此の高温度の瓦斯と空氣とが爐内で會し燃焼するため一層高き熱度を得るものです。爐内では火焰又は鐵滓の酸化作用を享けて銑中炭素其他の不純物が少く

ものなるかを知つてをくことは國民として大に必要なことで、それで本會には参考部として「鉄冶金室」なるものを設け大規模なる製鐵順序を縮少した模型を以て極平易に陳列説明を施してあります、それで

### 鐵鑛より銑及び鋼を製する

◆普通の順序を記しますれば先づ鑄鐵の頂上より鐵鑛と骸炭と石灰石とを装入し下部より熱風爐で豫め熱せられたる壓風を送りて爐内にて前記骸炭を燃焼し爐を高温度に保ち還元性の瓦斯を發生せしめ之れにより鐵鑛より鐵を還元せしめ銑となすのです

◆銑は爐底の涌出口より流出せしめ一方鐵鑛中岩石の部分及び骸炭の灰分は爐内にて前記石灰石と結合して比較的熔融し易き鑛

なり鋼を得るものです。

◆轉爐製鋼法は此處にある模型の如き特殊の形狀を有する爐を使用しまして原料たる熔融銑鐵を流入せしめ下部より強壓の空氣を送りますと空氣は熔融銑鐵の中を通過し短時間(十分乃至二十分間)で銑中の炭素炭素磷其他の不純物の大部分を酸化除去せしめ鋼を得るものです、之等酸化作用の爲め高熱を出し別に他より燃料を加へずして操業終る迄鋼を熔融状態にあらしめ得らるゝのであります。

### 製鑛事業副産物

◆熔鑛爐で銑を製するには燃料及び還元劑として骸炭を使用する事は前述の如くでありましてこの骸炭は特に良質のものを要する故に一般には製鋼所で骸炭を製造してを



ります、で之の際生ずる副産物を示します  
と大凡左の如くであります

○製鐵用該炭製造副産物

一、硫酸アンモニア、鹽化アンモニア  
一、石炭タールの分留品

(イ) 木材防腐油

(ロ) 粗製アンスクシン

(ハ) 黑色ヘット

(ニ) 石炭酸

一、粗製ナフタリン

一、石炭タール

一、ベンゾール製品

(一) 鈍ベンゾール

(二) 鈍トルオール

(三) ソルベントナフサ

(四) クロドナフサ

(五) 二硫化物

(六) 鈍キシロール

○鐵滓より煉瓦原料となる、石炭から同じく煉瓦原料の水洋防水セメント、高爐セメント、鐵滓煉

右の如く熔鑛爐より銑と全時に出来る鑛

### 雲伯地方砂鐵製煉業

雲伯地方に古來、砂鐵を産し之れより銑鋼、鐵を製せられたのですが、全地方より産する砂鐵に二種ありまして該地方にも眞砂、赤目と稱してをります、前者は燐が少なく専ら鋼及び低燐銑鐵を製することができ、後者は普通白銑を製するに使用さるゝのです

本陳列の砂鐵及び各製品は鳥取縣根雨町近藤喜兵衛氏寄贈出品にかゝり本陳列は採掘したる儘の砂鐵原鑛は多量の泥土を混じてゐるから之れを洗い撰鑛して精鑛を得、之れより銑或は鋼を製するにはタ、ラ爐と稱する長方形の低き爐に木炭と砂鐵とを交互に加へ鐵を還元せしめなければなりません、さて製したる普通白銑は之より火窪と

滓は種々の利用法がありますもので爐より出たる儘の熔融状態の鑛滓を水蒸氣にて吹付けると鑛滓は綿の如くなり、之を鑛滓場と稱し石綿の代用として使用されます、又た熔融状態の鑛滓を水中に流入細粒とせしものを碎き之に石灰を加へセメント、煉瓦、敷瓦等を製することが出来ます。

### 製銑製鋼用耐火材料

又た一方の壁際には製銑製鋼用各種耐火材料の原料鑛と其製品とを陳列しあります

- 一尾張粘土
- 一盤城粘土
- 一伊賀粘土
- 一珪
- 一蠟
- 一クローム鐵鐵
- 一マグネシヤ燒塊
- 一白雲石
- シヤモット煉瓦
- 耐火粘土
- 珪石煉瓦
- 蠟石煉瓦
- クローム煉瓦

稱する爐で鍊鑛、包丁鐵を製します。低燐銑鐵は前記包丁鐵等と混じ坩堝にて坩堝鋼を製し尙之れにタングステン鐵、クローム鐵等を加へ高速鋼等を製するにも使用されます。

之等製品は米子製鋼所より寄贈陳列でありまして又昔該地方にて銑より鍊鐵を製する際に出來た鐵滓より現今木炭を以て普通熔鑛爐で銑を製してをります其の原料及び製品は山陰銑鐵合資會社より寄贈陳列になつてをります

又往時より使用せるタ、ラ爐を少しく現時の熔鑛爐に稍や似たるものに變形し木炭にて白銑を製します本陳列は米子清大製銑場寄贈のものであります。

部 参考 燃料室 より (第一會場二) (階西南隅)



◆燃料は一般工業上の基礎として最も必要とする處でありまして其の研究は工業家の一日も忽緒に附すべからざる問題であります、で此室では各種燃料に關する諸問題を集め之れに一々解決を與へんとして居ります、例へば

### 五斗の水を沸す燃料

◆に石炭ならば三百八十匁、無煙炭は三百四十五匁、コークス三百七十匁、亞炭六百四十匁、木炭三百八十二匁、薪材七百三十五匁、アルコール三百八十二匁(九合八勺)石油二百三十四匁(六合)重油二百四十匁(五合四勺)石炭瓦斯六十五立方尺粗穀九百五十匁を要するといふ事が實物の全數量を以て示し何人にも一見了解せしむるやうしてあります、

◆但しこれは理論上の數を採りたるもので實際上使用され得べき熱量は燃料の種類、燃焼器の種類方法に依つて異なるものであります、又た其の費用の比較も亂調子なる近時の相場を以て表し得ざると且つ燃料は各特長を有してをりますからして單に價を以て決めることができませぬ、故にこれだけは示してありません、次ぎに

### 人類が如何にして最初の火を得たか

◆而して今日に及びたるかを圖解を以て示してあります、即ち最初雷電が噴火山かによつて起つた山火事から先づ焼棒杭に保存し次に木と木との磨擦によつて火を出す事を発見し次に一步を進めて火打石の方法で火を得る事を発見し數千年間此の方法が繼

續して居ましたが、現今吾々の使用する便利な燐寸は今より九十年前に英國人の手によつて発見さるゝに至つたと云ふ順序を小供にも一目瞭然たるやうに示されてあります、

◆其他窯業家が高熱を測るに用ふるピケル氏三角錐(一定の温度で溶ける様に造つた混合物にして爐中の熱度を測らんとする)とき適當の番號を附した三角錐を並べ其の熔け初めて曲つたもの、番號を見て温度を測定する法)の模型及其説明が委しく出て居ます、其他

### 石炭を經濟的に燃焼

◆せしめる爲めに煙道瓦斯中の酸化炭素、炭酸、窒素等を測るに用ふるオルザットの瓦斯分析器、リウキストムソンの熱量計

フキツシヤム氏の熱量計及び太陽の熱の如き遠距離の熱を計るフェリームスパイノルバイロメーター、ステリオ、バイロメーター、ワンナー、バイロメーター等バイロメーターの各種を陳列し、其の傍に表を以てバイロメーターの標準に用ひらるゝ物質の熔融點或は沸騰點を物質、物理状態、攝氏温度と區分して説明してあるのは學術的好參考資料であります、尙これは第三館大阪砲兵工廠の出品中にもありますから本室と相俟つて御覽を願ひます

◆又た火色と温度との關係に就ては左の表が示されてあります即ち

- △最低赤(暗所にて見得る)攝氏四七〇度
- △同上(同) 四七五度
- △暗赤 五五〇—六二五度
- △櫻赤 七〇〇度



△鮮赤	八五〇度
△鮮黄	九五〇—一〇〇〇度
△鮮黄	一〇五〇度
△白熱	一一五〇度

◆尙ほ太陽の熱をラチエーション、バイロメーター（高熱測定計）を以て計る時は七八〇〇度なることを意匠圖案で示してあります。

◆更らに煤煙防止會の調査にかゝる煤煙の定量方法及び調査せる成績品を陳列し現在如何に不経済的に又た如何に不衛生的に燃料を使用しつゝあるかを見れば思ひ半ばに過ぐるものがありませう。

参考 顯微鏡室より（第一會場二階西北隅）

◆燃料室と相對して特別参考室として、こゝには廓大度及び構造を異にせる各種顯微

を作るものにして食酢醸造に用ふ

- ベルチ、リウム
- アルテルナリア
- 馬鈴薯の澱粉
- 酒類醱酵母、ラツセ(II)
- クラドスポリウム、ヘルマルム
- アマチウム、フルーランス
- チトロミセス
- パチルス、サブチリス

- アスベルギルス、オークラセウス
- アスベルギルス、カタニ
- アスベルギルス、パタニ
- アスベルギルス、ルーチウラエンス
- オライユム、ループリ
- アスベルギルス、ソーヤ
- アスベルギルス、オリゼー（かうじかび）

放つは此れが繁殖せる爲めならん其の臭きは此のバクテリアの特徴なり人体に害なれども悪臭を放つ時は飯の腐敗せる徴候なり

ムニール、ルキシイ

毛かびの一種にして支那の高梁酒醸造用の麴の主成菌なり米澱粉を糖化し又た酒精醱酵をなすを得

小笠原島にて焼酎を醸造する時に用ひ

一名鬼木菌と稱し數々食パンの上に生へ来るものにて醸造用に用ひらる

琉球に於て泡盛を作る麴の主要菌にしてチアスターゼを分泌す

岡崎八丁味噌製造に於ける主成菌なり

此のかびは醬油を醸造するに用ふる麴の主要菌にしてチアスターゼ及びペプターゼを分泌す

此のかびは酒醬油味噌の麴菌にしてチアスターゼ、ペプターゼ、マルターゼ、シンチットを含み酒には

鏡數十基を置き觀覽者をして自由に鑑識せしむる様にしてあります、右顯微鏡下に置かれたる各種菌の種類を大別して有害菌、有害菌とすべく大略左の如きものであります。

- サツカロマイセス、サケ
- ベニチリウム、グラウカム
- リゾプス、ニグリンカス
- 乳酸菌の一種
- 醋酸菌の一種



ヂヤスターゼの強きもの醤油にはヘプターゼの強きものを用ふ

○酵母廿六種

○かうちかび卅種

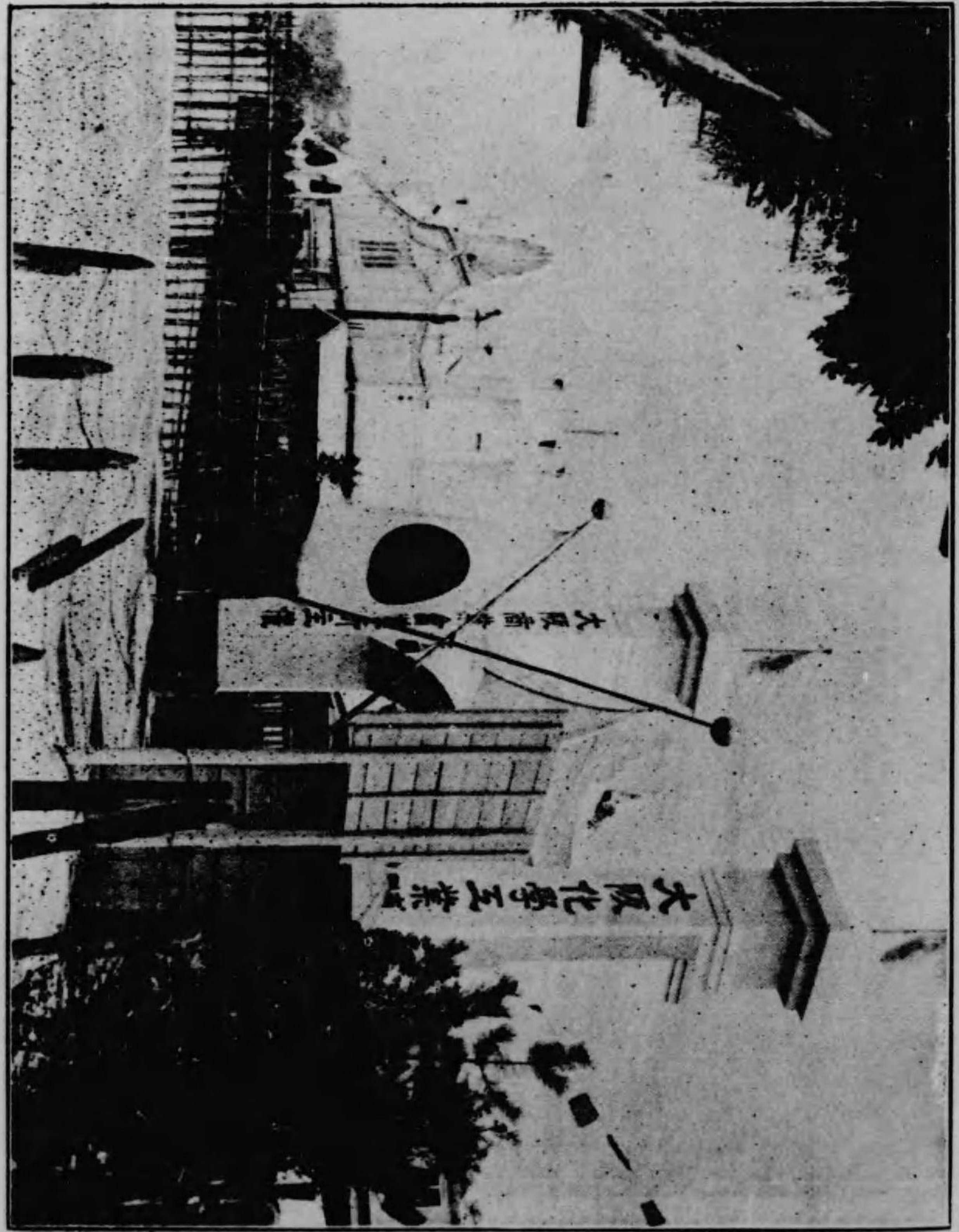
○けかび三種

◆以上の陳列に就て大体の御注意を申上げますれば、微菌といつても一概にベスト、コレラ、赤痢乃至肺病のものばかりではなく中には非常に有用なものも澤山あります、御婦人方が日常家庭で御使ひなる酒、味噌、醤油酢は勿論のこと、漬物の味噌にも又た煙草を美味にするにも、さては又たヂスターゼの如き薬になるものもあるのです。◆さて又た之れに反して腐敗又たは有害菌もありますから余程注意を要します、例へば餅にも味柑にも昂布にも推茸、羹干にも又佛さんの御飯にも梅雨の頃になれば着物にも夏に穿かないでをく靴にもよく「かび」

が生へます、それから酷いになると水道の中に繁殖して水を止めたり、恐ろしきは火薬の爆發の原因にもなります、

◆これら有害のものには適當な防止法として光線法、又たは冷却法、乾燥法、防腐劑等いろいろありますが、人間として殊に家庭の人としても殊に一應はごうしても心得てをかなければなりません

◆それから顕微鏡は今から僅か三百年余り昔に和蘭の人が發明したもので微菌の研究にはなくてはならぬもの近來は此の學問が非常に進歩してまゐりました、ごうか實地に此の博覽會の顯微鏡室に來て御覽を願ひます。



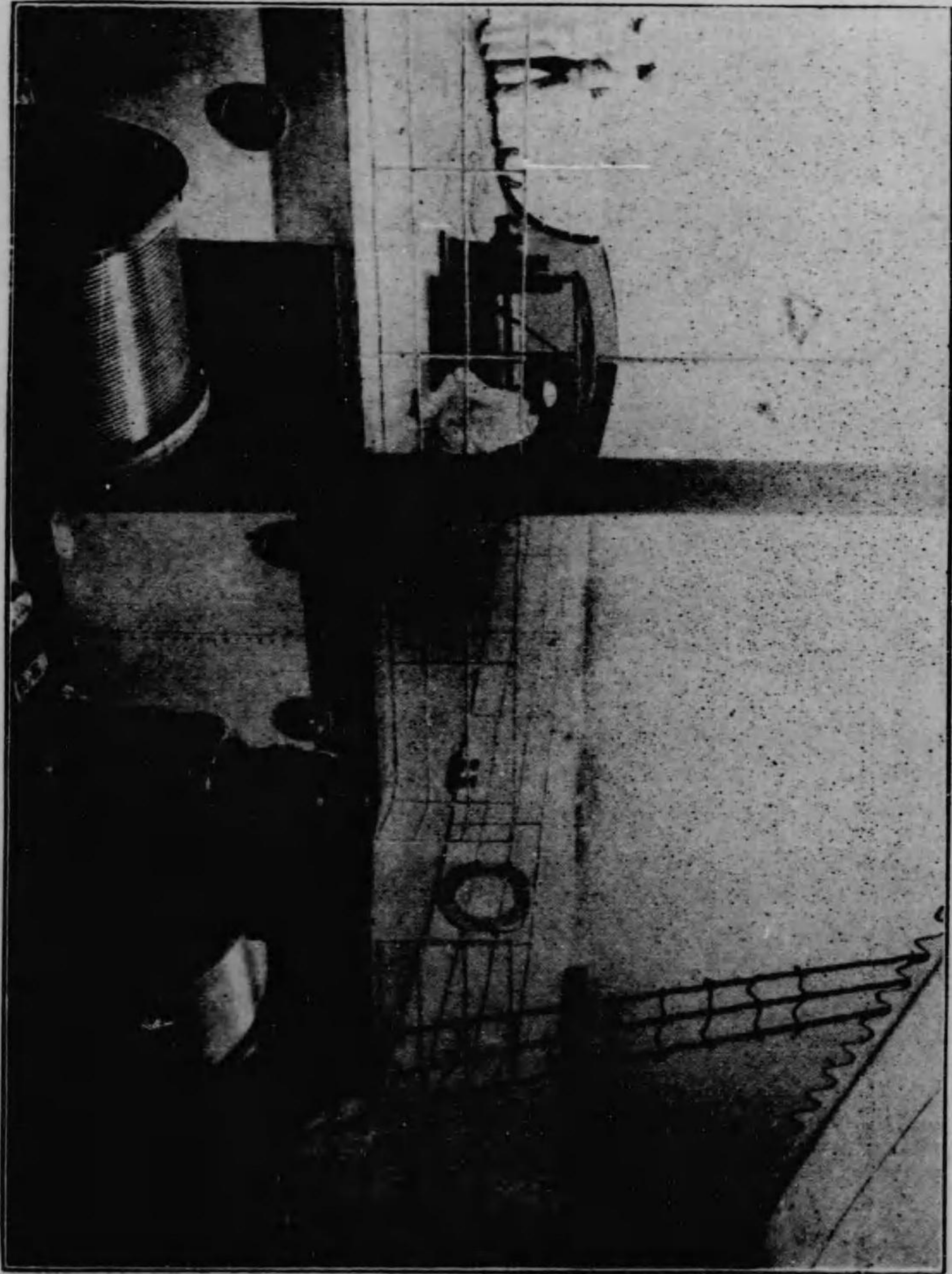
(前館許特館煉機一場會二第)





大阪製鐵所出品の鐵鎖

(第二協會—機械館中央)



品出の社會事商川古

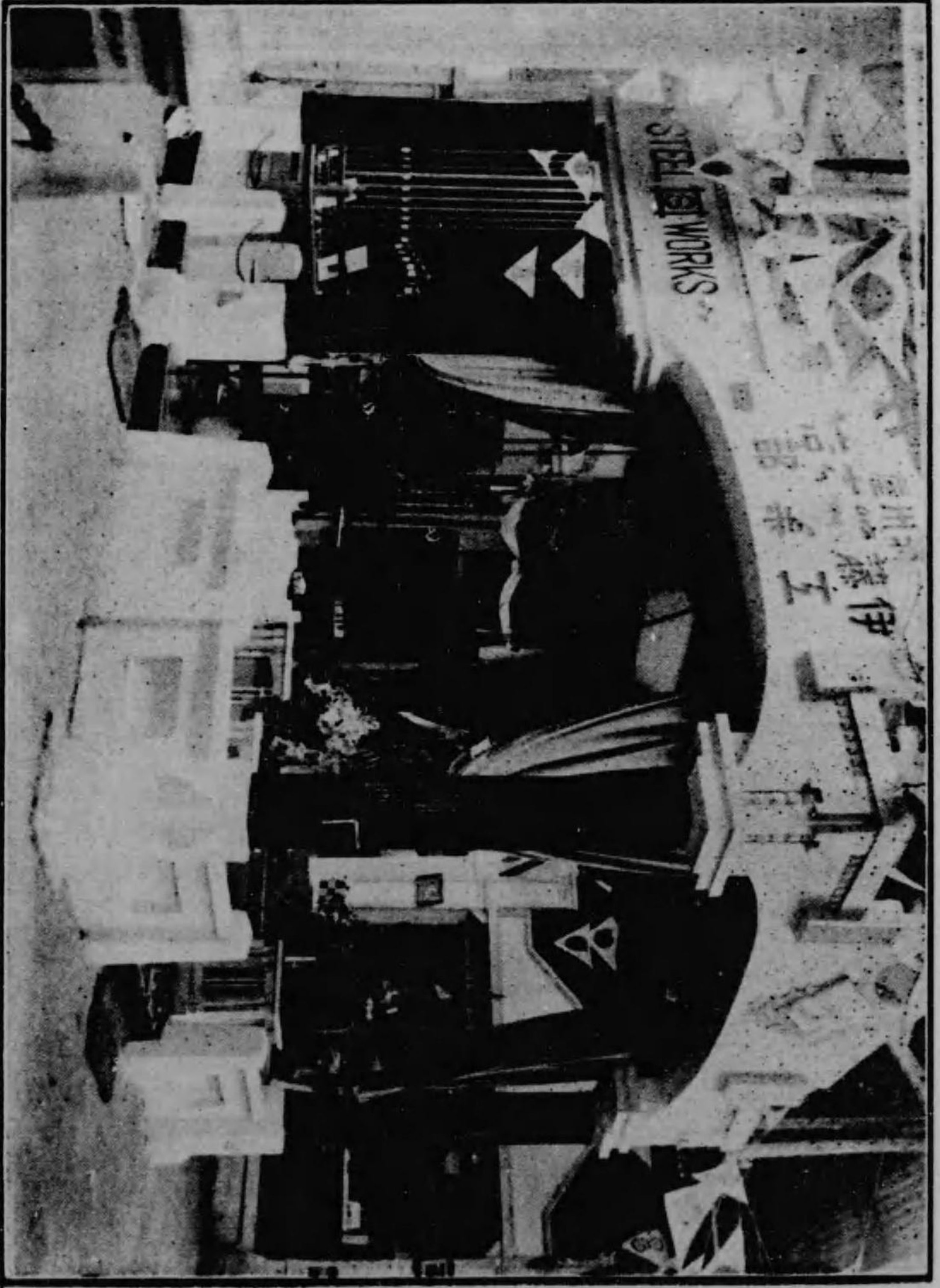
(第二協會—機械館)





(口入館機機一場會二第)

新田帶革出品の一部



伊藤屋本店伊藤の出品機

(口入館機機一場會二第)



同じ美人の顔が……  
泣いたり笑ったり……  
に見ゆる……



色と光線の使ひ方に  
よりて……

照明學の應用

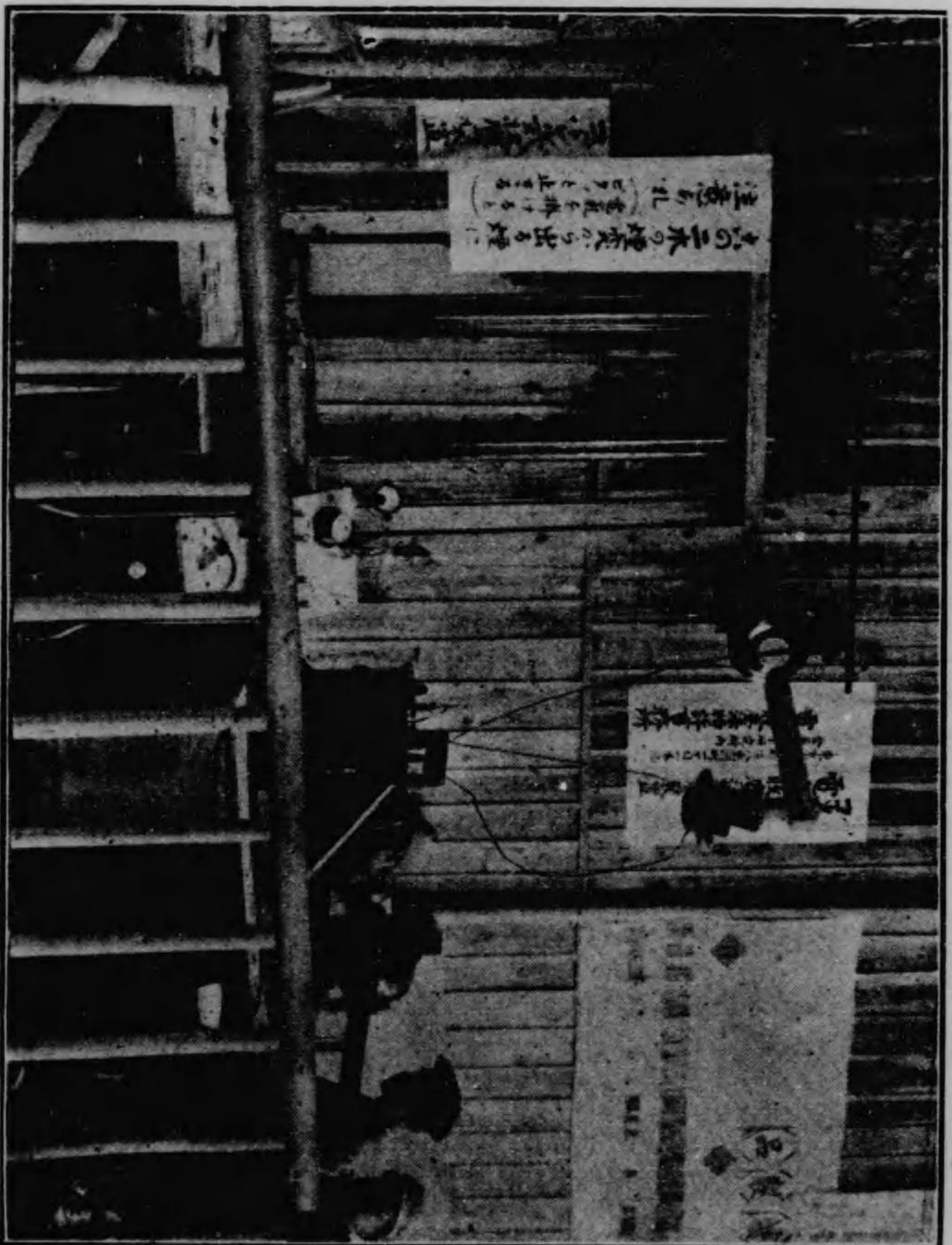
(宝暗館補機一場會二第)



關西電球會社出品の電氣人形

(館械機一場會二第)

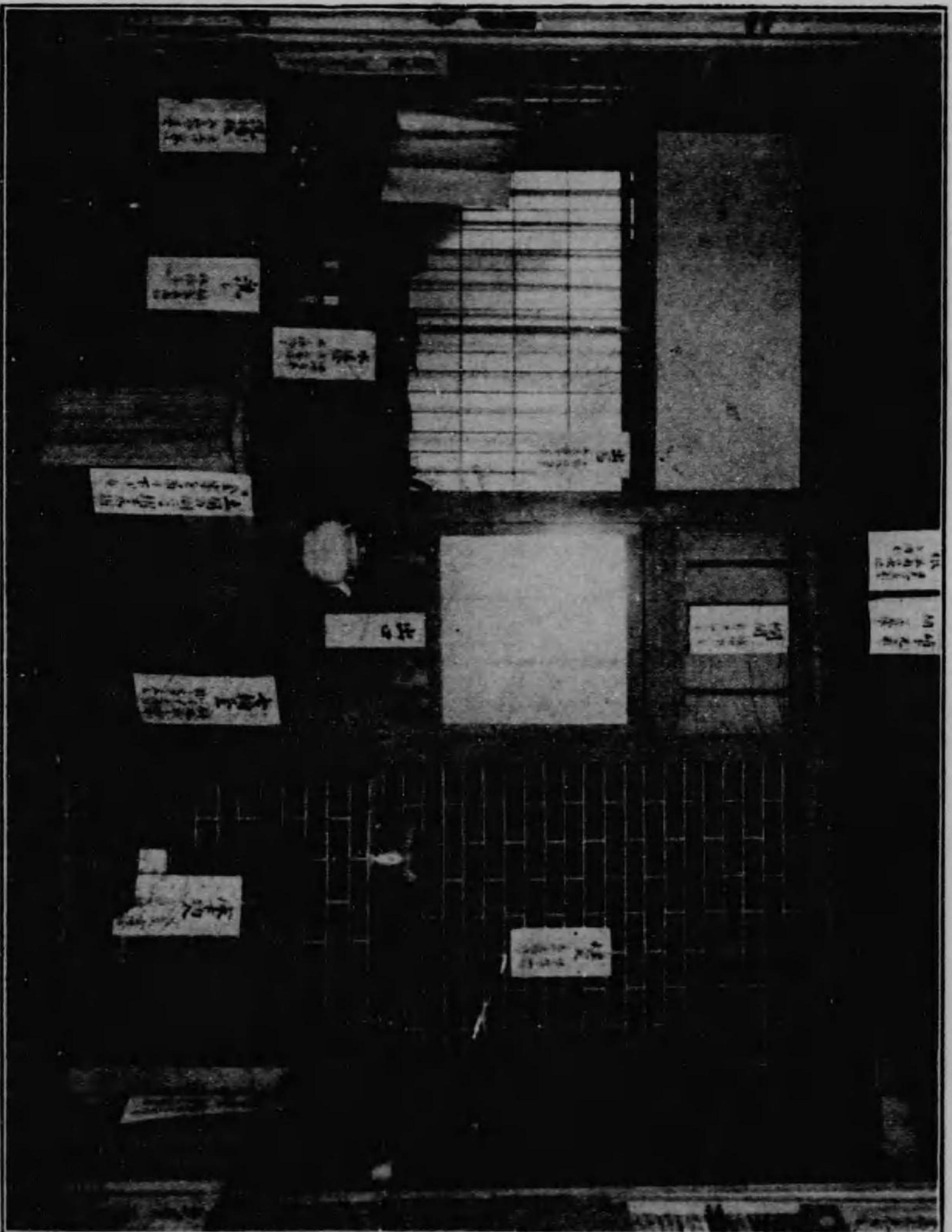




コットレル式收塵装置

(内館 竈機—場會二第)

所著の理想運営募集懸社聞新日朝阪大



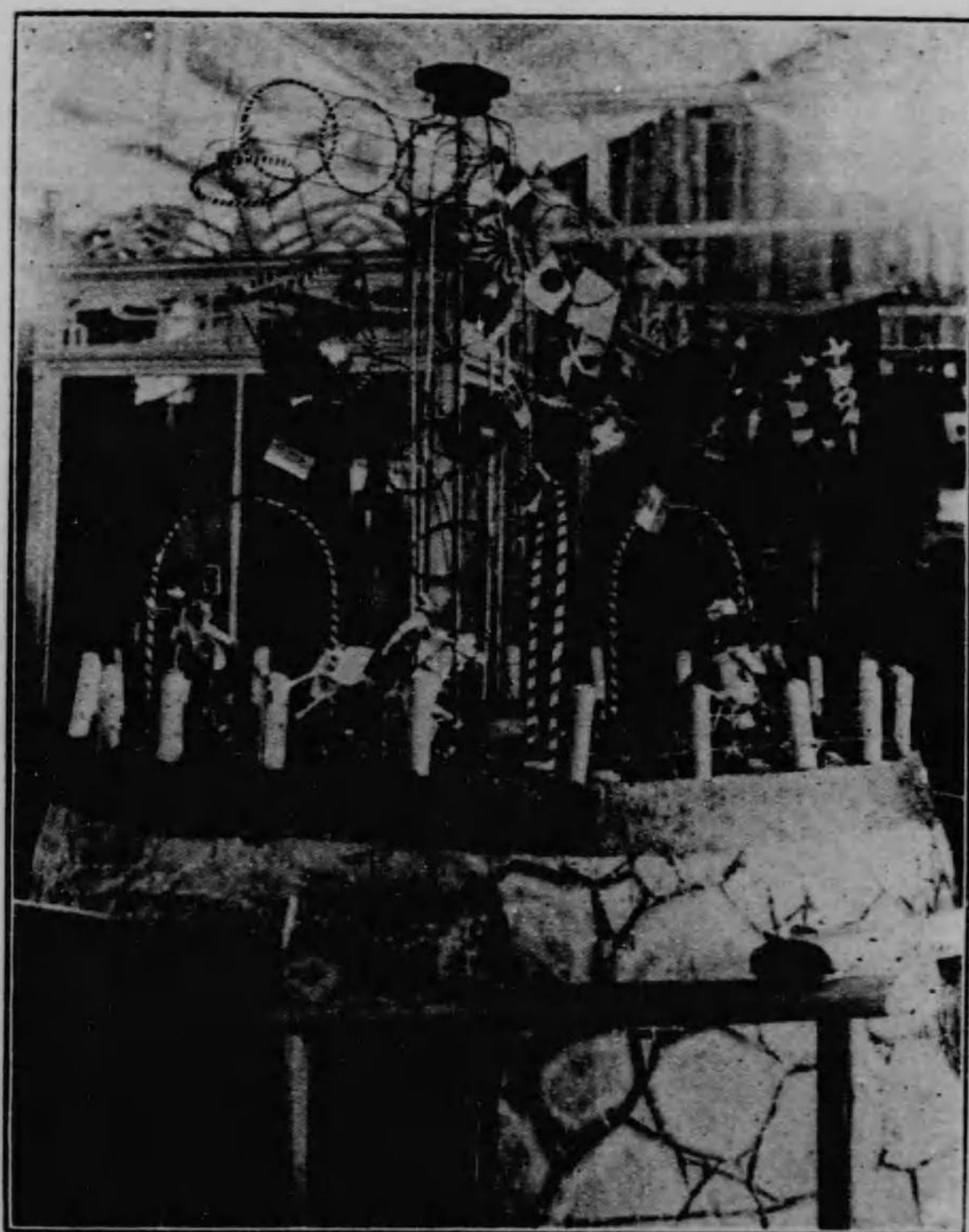
(側西路通館許特—場會二第)





大井徳太郎氏出品のガラス製品

(面正館許特 — 場會二第)

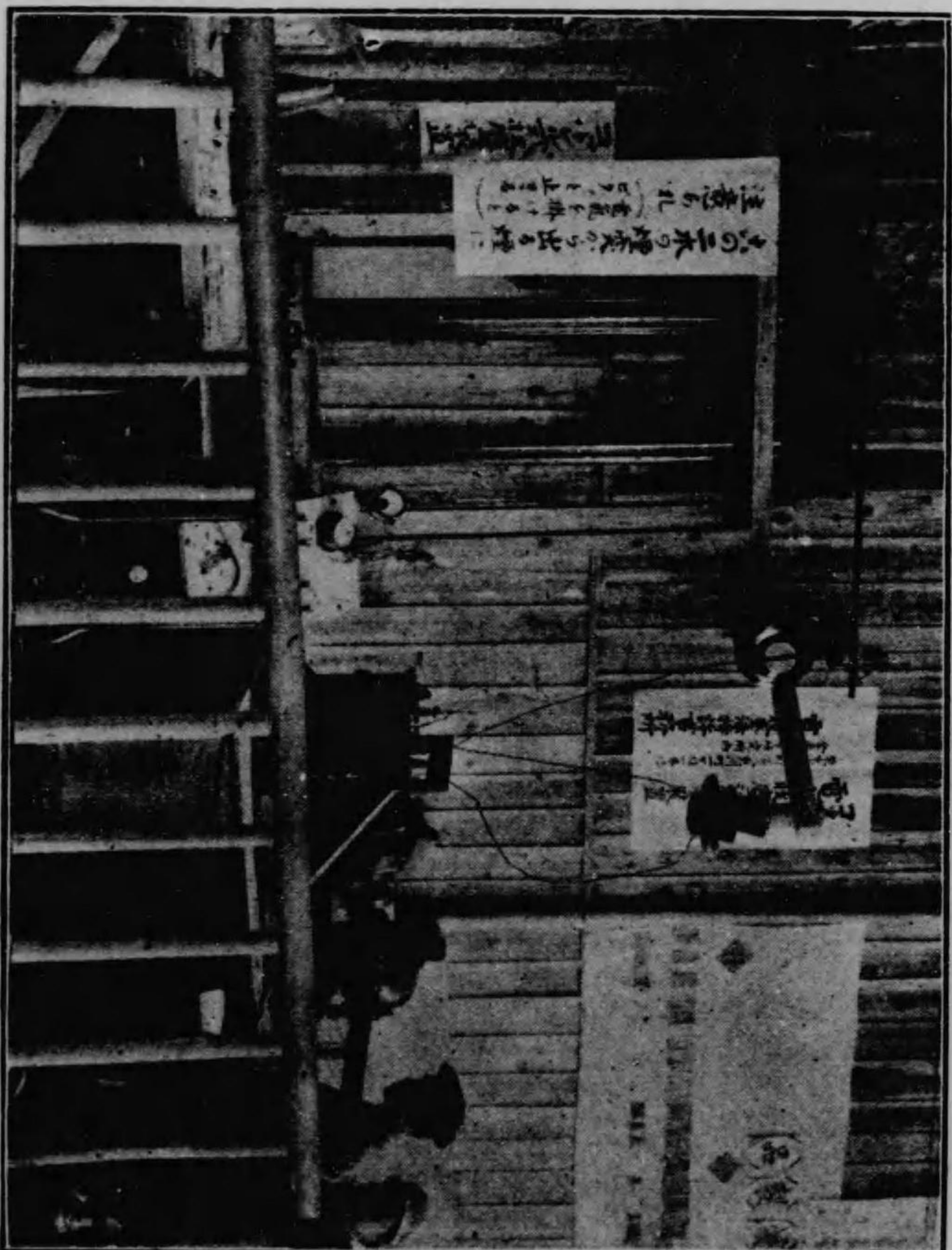


— 特許品おもちやの活動 —

(面正館許特 — 場會二第)

お馬はクル〜  
 玉はコロ〜  
 ぐるりを走る、上、下まわる

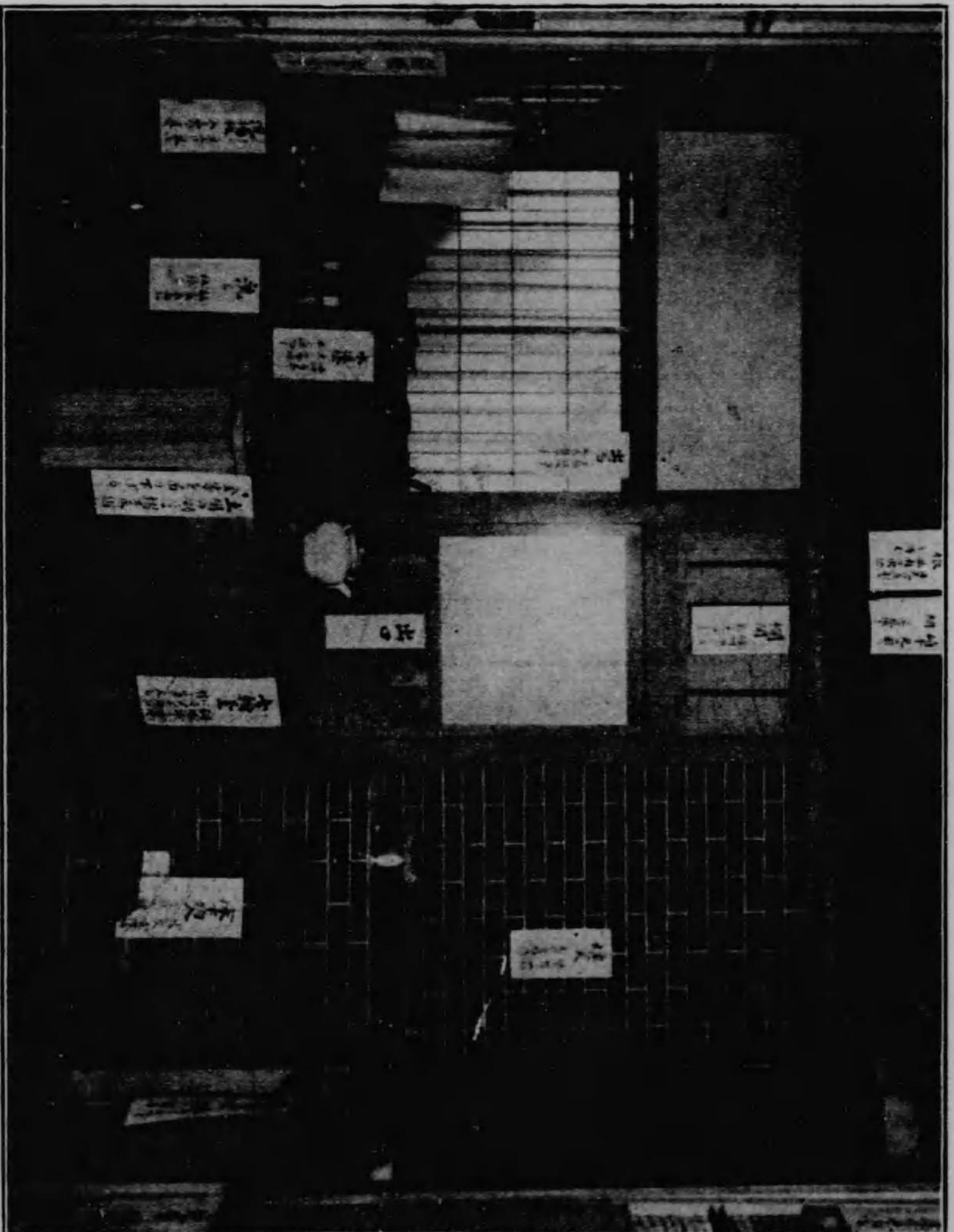




コックトレベル式取塵装置

(内館誠機—場會二第)

所業の理想運営集募賞懸社開新日朝阪大



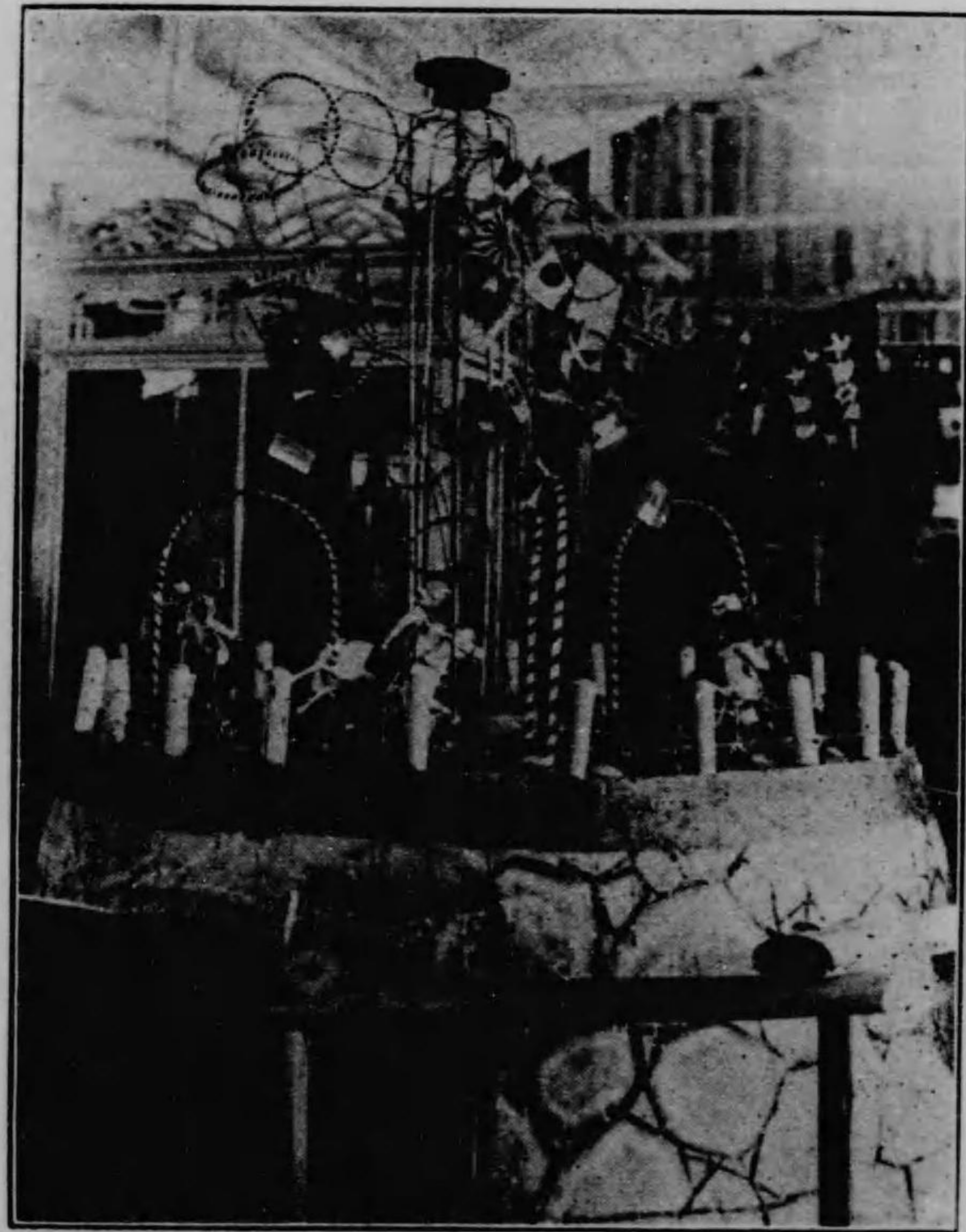
(側四路通館許特—場會二第)





大井徳太郎氏出品のガラス製品

(面正館許特——場會二第)

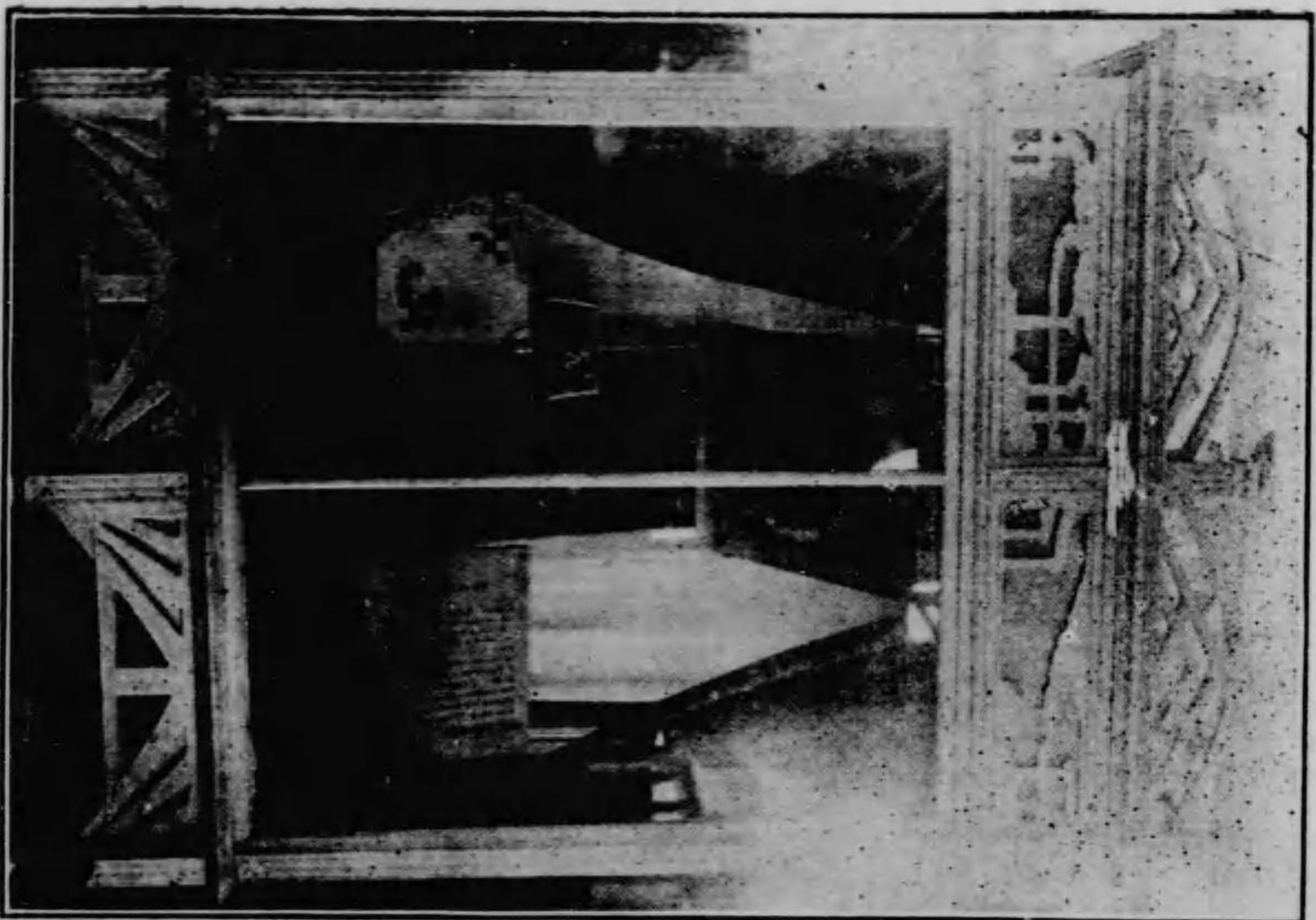


——特許品おもちやの活動——

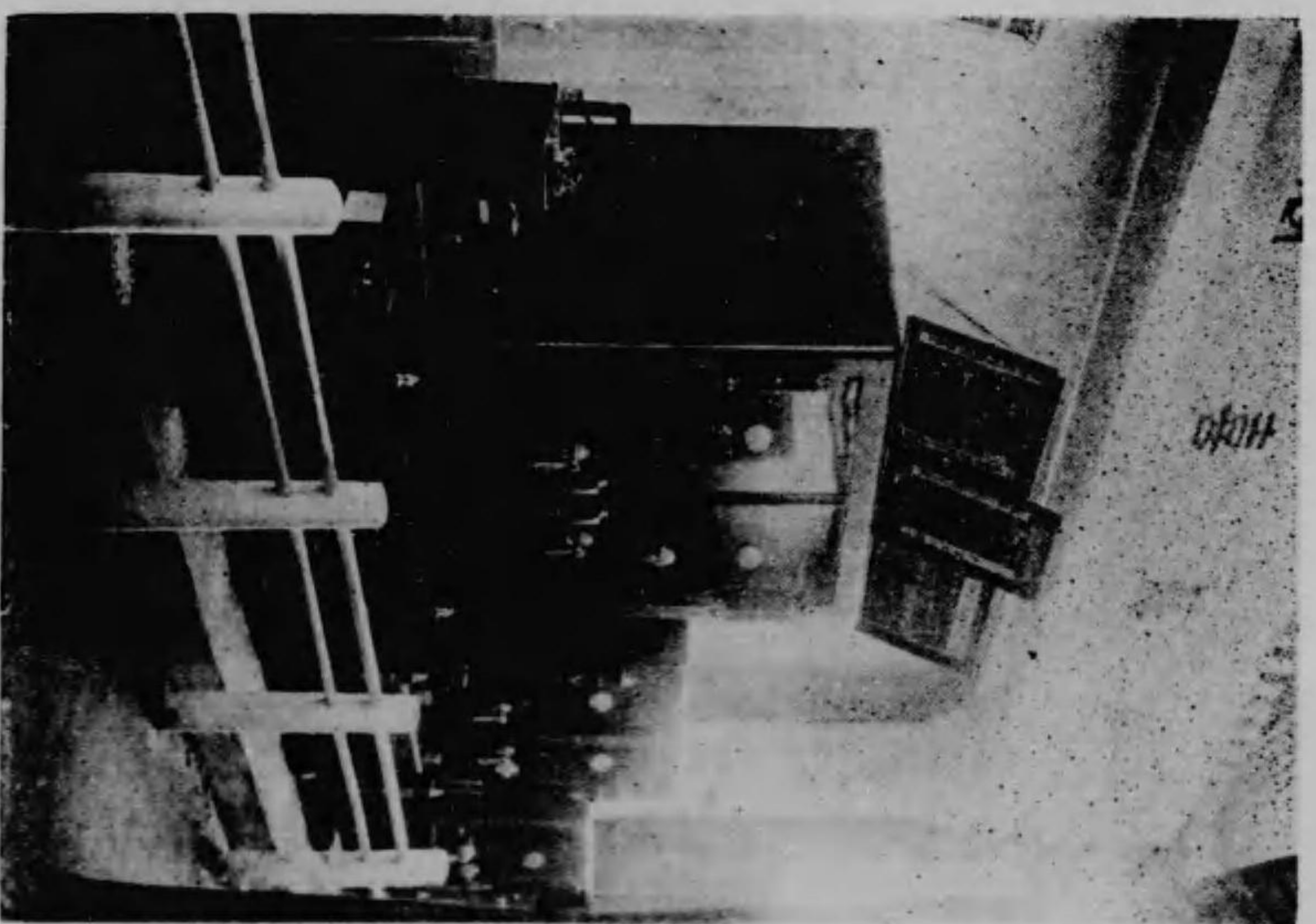
(面正館許特——場會二第)

お馬はクル／＼  
玉はコロ／＼  
ぐるりを走る、上、下まわる





京都阪根氏考案ステールガラス



伊藤喜商店出品の金庫及計量機

學 化 鱗 魚

(方北館許特—協會二第)

石油引火点試験器

コンデンサー

オートクレーブ

エレグラー式油粘度計

各種金屬製坩堝

沈澱器

真空乾燥器

顯微鏡

ゼーゲルコーン

比重計

アセチリン燈

其他化學實驗用器

化博第一館階上に陳列す御一覽を乞ふ

西區阿波殿橋一丁南西入ル

化學器用商 松田増次郎商店



一、創立 大正四年六月  
 一、資本金 五拾萬圓

和歌山市元寺町東之丁

各種染料藥品  
 製造販賣 朝日化學工業株式會社

電話 長六六八番

一、工場敷地 壹萬五千坪  
 一、產額 壹仟年貳百萬圓

(〇二) 置素雄 裝塵除 中村 田 山 鐵 工 所  
 (六八) ユツト 空木 中村 田 山 鐵 工 所  
 (六九) ユツト 空木 中村 田 山 鐵 工 所  
 (七〇) ユツト 空木 中村 田 山 鐵 工 所

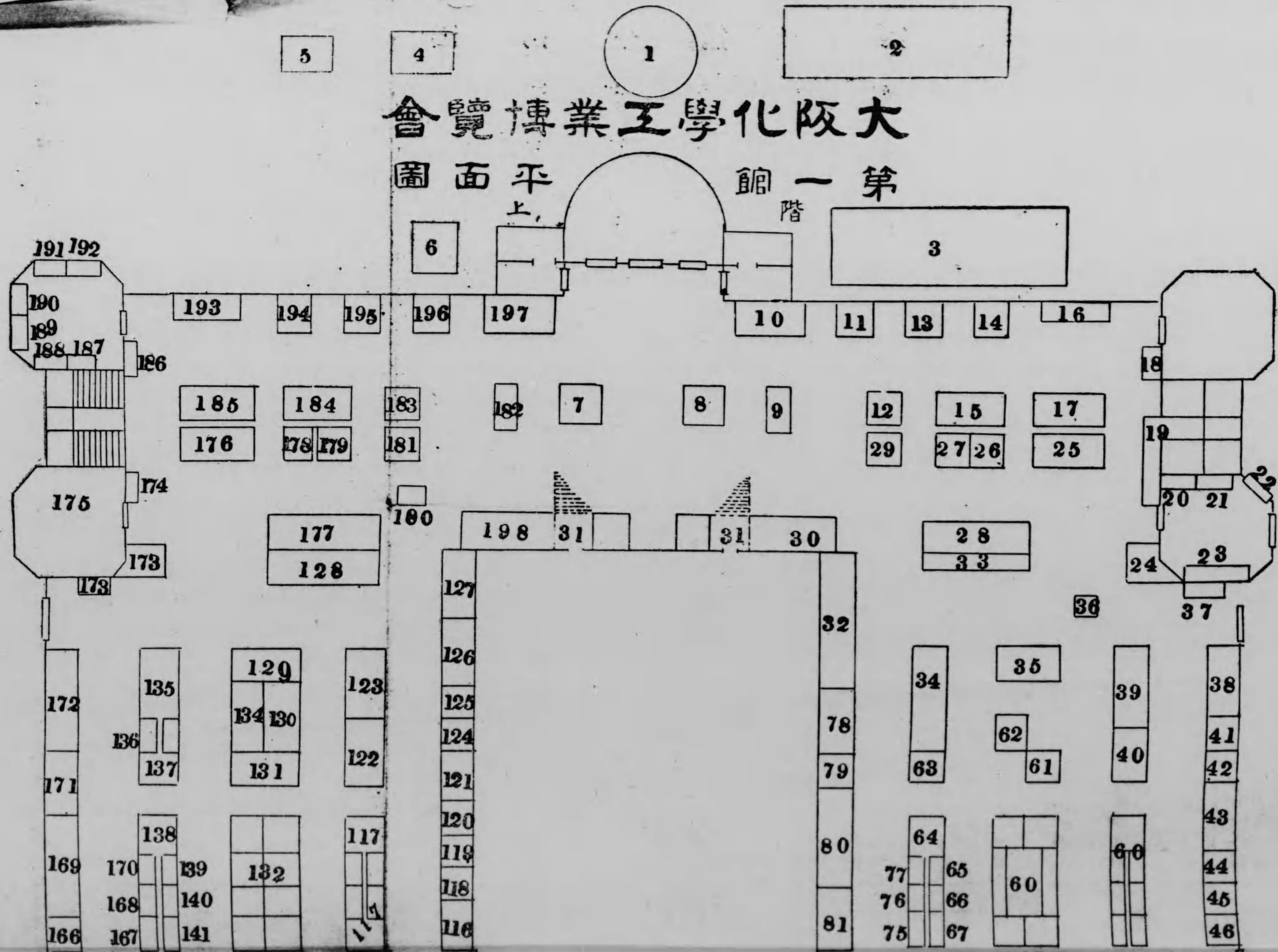
會吉助平郎吉郎耶局ク トト藏品藏耶ア 耶平衛耶衛衛具  
 商 之 久三 梅二三  
 ン 菊 與 悅 種榮許ア ン ク  
 オ 西 田 鹽 崎 田 池 ト コ セ 村量井 越村峰 崎 井井辻林 動  
 ラ 小八 大礎 小山 小特 ヤ 東櫻 中少 土堀 吉長 岩石 永大 小活  
 ク 小八 大礎 小山 小特 ヤ 東櫻 中少 土堀 吉長 岩石 永大 小活  
 (49) (50) (51) (52) (53) (54) (55) (56) (57) (58) (59) (60) (61) (62) (63) (64) (65) (66) (67) (68) (69) (70) (71) (72)

七藏弟藤ト耶耶會吉品七的管耶材子局吉耶耶耶耶會淳  
 卯兄 一太商 梅出友標木 三温帽 政 太五二太 商  
 三 田 山 鐵 工 所 田 山 鐵 工 所 田 山 鐵 工 所 田 山 鐵 工 所  
 邊木 ン桂宗同 田量川本洋 信保絹許 重甚友新 瓦村

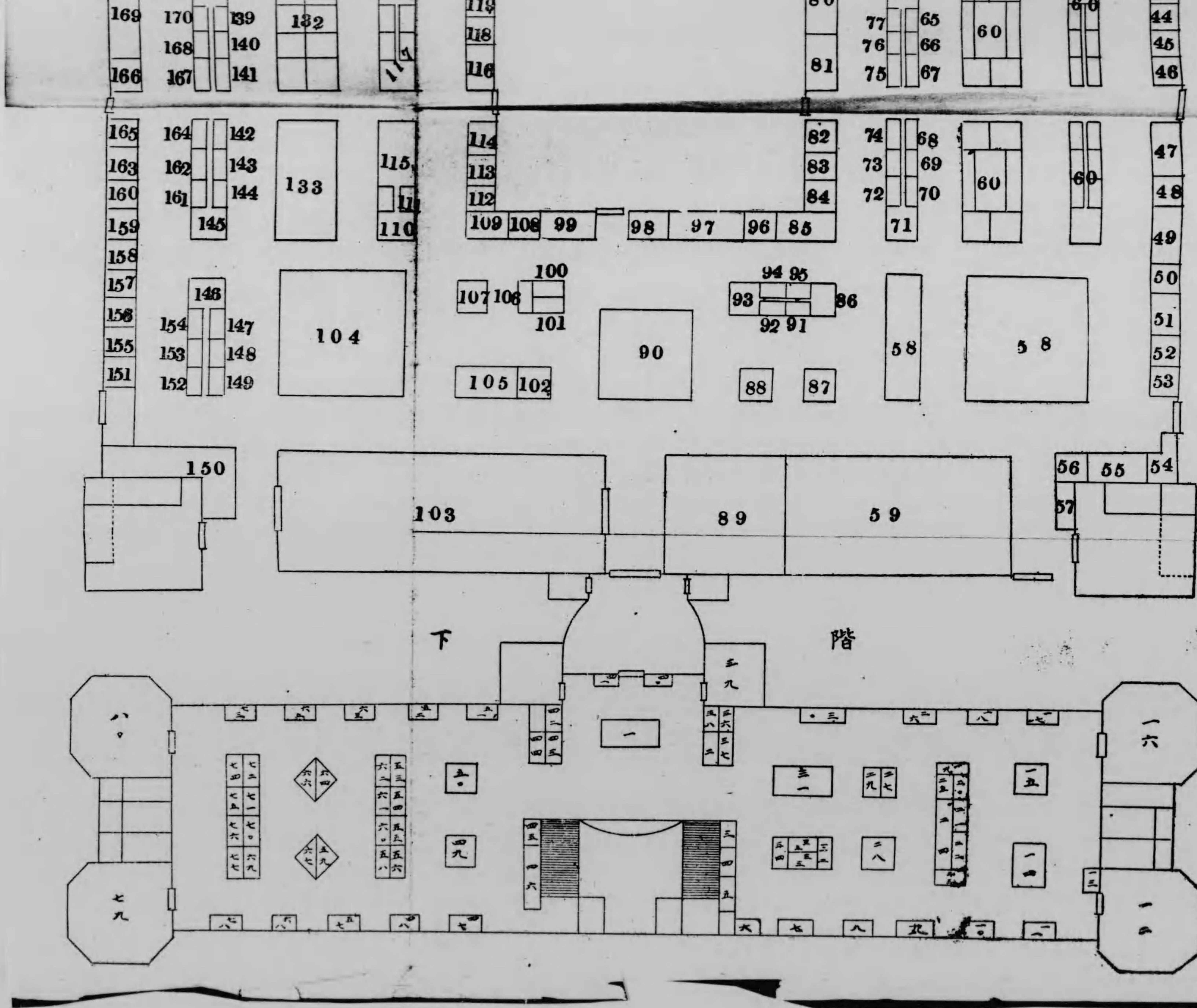


# 大 阪 大 學 工 業 博 覽 會

## 第 一 館 平 面 圖









## 第二館平面圖

(一)	東古	京河	鉛製	板商	社事	(二四)	平井	尾上	鐵	工	所	(四七)	清東	水	鐵	工	所
(二)	古	阪	鐵	鎮	事	(二五)	井	上	上	治	ト	(四八)	東	京	瓦	斯	氣
(三)	大	本	製	工	所	(二六)	鳥	羽	京	ル	治	(四九)	若	山	鐵	工	所
(四)	山		鐵		所	(二七)	ヤ	ト	メ	耶	耶	(五〇)	眞	砂	商	商	會
(五)	羽		多	太	所	(二八)	月	山	四	機	機	(五一)	高	田	東	東	洋
(六)	事		務	之	所	(二九)	三	好	燒	シ	シ	(五二)	加	藤	ル	ト	東
(七)	岡	野	宗	工	耶	(三〇)	三	村	廠	耶	耶	(五三)	大	阪	ル	東	ト
(八)	カ	ナ	保	太	助	(三一)	木	常	ヨ	材	材	(五四)	阪	新	ル	東	東
(九)	阪	田	武	太	所	(三二)	東	京	三	店	店	(五五)	新	島	作	東	東
(一〇)	竹	崎		正	耶	(三三)	東	谷	鋼	一	一	(五六)	島	羽	ル	東	東
(一一)	善	積		商	店	(三四)	大		商	店	店	(五七)	羽	防	ル	東	東
(一二)	中	島		工	業	(三五)				業	業	(五八)	東	東	放	東	東
(一三)	北	風		イ	ン	(三六)	佐			ン	ン	(五九)	關	關	電	東	東
(一四)	谷	田		衛	所	(三七)	三			所	所	(六〇)	テ	テ	幻	東	東
(一五)	東	洋		組	合	(三八)	蘆			合	合	(六一)	實	實	幻	東	東
(一六)	佐	藤		太	耶	(三九)	河			耶	耶	(六二)	顯	顯	骨	東	東
(一七)	製	糖		大	會	(四〇)	日			會	會	(六三)	變	變	商	東	東
(一八)	田	中		蘭	店	(四一)	國			店	店	(六四)	變	變	寫	東	東
(一九)	フ	ラ		弟	店	(四二)	眞			店	店	(六五)	光	光	空	東	東
(二〇)	河	合		商	店	(四三)	柳			店	店	(六六)	天	天	除	東	東
(二一)	相	阪		商	店	(四四)	島			店	店	(六七)	ユ	ユ	空	東	東
(二二)	今	橋		商	店	(四五)	水			店	店	(六八)	空	空	善	東	東
(二三)	廣	瀨		商	店	(四六)	石			店	店	(七〇)	木	木		東	東

(1)	特	許	座	所	(25)	寬	三	七	(49)	ク	ラ	オ	ン	商	會
(2)	同		座	數	(26)	波	邊	藏	(50)	小	西		菊	吉	
(3)	東				(27)				(51)						



(一)	河合兄弟商會	(四二)	真柳島本	同同	(六六)	光天	ト	商	品眞
(二)	阪橋商商店	(四三)	島本	同同	(六七)	然	色	寫	眞置
(三)	今廣	(四四)	木山	店所	(六八)	ツ	レ	除	裝
(四)	廣	(四五)	石井	工	(六九)	空	中	空	素
(五)		(四六)		所	(七〇)	木	村	善	雄

(1)	特	許	塞	所	(25)	寬	三	七	(49)	會
(2)	同	座	座	敷	(26)	渡	邊	藏	(50)	吉
(3)	事	務	商	室	(27)	岡	本	弟	(51)	助
(4)	伊	藤	確	喜	(28)	佐	邊	藤	(52)	平
(5)	葛	原	確	店	(29)	日	本	下	(53)	耶
(6)	森	內	次	子	(30)	長	谷	子	(54)	耶
(7)	中	島	鐵	子	(31)	柴	井	子	(55)	局
(8)	大	井	中	子	(32)	三	田	耶	(56)	ク
(9)	田	中	鐵	耶	(33)	山	量	會	(57)	ト
(10)	松	川	藤	下	(34)	少	川	吉	(58)	ト
(11)	吉	析	商	吉	(35)	井	本	品	(59)	ト
(12)	井	量	出	行	(36)	日	洋	七	(60)	ト
(13)	少	京	曲	品	(37)	東	代	的	(61)	藏
(14)	東	安	兵	木	(38)	萬	國	管	(62)	品
(15)	秦	非	秀	衛	(39)	帝	本	耶	(63)	藏
(16)	水	本	製	夫	(40)	日	島	材	(64)	耶
(17)	日		太	毛	(41)	特	井	子	(65)	平
(18)	垣	井	太	內	(42)	手	藤	局	(66)	衛
(19)	阪	清	兵	根	(43)	宮	田	吉	(67)	耶
(20)	大	中	勝	耶	(44)	加	本	耶	(68)	平
(21)	藤	村	兵	會	(45)	宗	瓦	耶	(69)	衛
(22)	伊	山		一	(46)	森	村	會	(70)	衛
(23)	西			衛	(47)	日		淳	(71)	具
(24)					(48)	中			(72)	



(二一) 相今廣  
 (二二) 阪橋瀬  
 (二三) 商商商  
 店店店  
 (四四) 島  
 (四五) 木  
 (四六) 石

(25)	寛渡岡佐日長柴三山少井日東萬帝日特手宮加宗森日中	本名井共	代國本	井藤田日本
(26)				
(27)				
(28)				
(29)				
(30)				
(31)				
(32)				
(33)				
(34)				
(35)				
(36)				
(37)				
(38)				
(39)				
(40)				
(41)				
(42)				
(43)				
(44)				
(45)				
(46)				
(47)				
(48)				

# 第一二館

より (機械別館)

◆第一館を御覧になつた後、公園大運動場内に新に特設建築なりたる第二館即ち第二會場へ御運びを願ひます、こゝを別ちて機械館、特許館の二棟としてその周圍には各即賣館、飲食店、無料休憩所などが散在してをります、さて

## 機械館

◆の入口には鋼管商會出品に係る大小の鋼管が數十本並べられて先づ工業的感起させ、轟々たる機械運轉の響きは早や耳を聳するばかりであります、館中に這入りまして直ぐ左側に古河商會社よりのハノラマ式背景を用ゐて宛ら航海中の船内に身を置くが如く装はれた陳列があります、大阪

製鎖所の船体及びチェーンの出品は前と關連して海事的氣分をそゝりそれから◆羽州屋伊藤本店の出品物は陳列法に大に意匠を凝らし全出品物の内特に注目すべきものは萬能研磨機械でこれは工作機で形造られ又は仕上げた工具及び機械の主要部分殊に焼を入れたものを正確に仕上げる時に必要なもので之を使用するに新に特別な裝置を要せず附屬した器具の應用で自動的然も迅速に萬分の一時も誤差なく如何なる形狀の器具も仕上ると云ふ機械です、其他此の附近には化學機械類が多く出て居ります中にも◆坂田保之助氏出品の酒精蒸溜機谷田工業株式會社の真空蒸發裝置谷田式真空ポンプ



遠心力脱水機、微細粉末機、台灣糖業聯合會出品の製糖機械模型は其の一部の甘蔗壓搾機のみであります。が實に精巧なもので能く同島の産業を代表して遺憾なきものです。大谷式清透爐過機、東京瓦斯電機工業會出品の特許エナメル引鐵管、眞火用蒸溜器、眞空蒸發罐及び島津製作所の耐酸合金アイロン製品の種類等何れも見逃すべからざるものです。

◆其他製造機械の重なるものは、今橋商會及び清水式の精米機を初めとして、月山鐵工所の製藥機、木村屋の煉飴機に、壓節削り機まで此の館の中にありますから御婦人方の御注意を願ひます。

◆次に國友鐵工所の齒輪齒切機械に眞崎線金工作所の線金眞直切斷機、島田鐵工所のチルドロール、荻森製鋼、東洋製鋼等孰

れも健實なる製品を提供して居ります。其他石井式製釘機、佐藤製衡所の各種衡器、三扇式燃焼裝置等大規模の出品であります。

◆製革に於ては新田ベルトは場中先づ異彩を放つて例の耐熱耐水の實際狀況を示し、羽田調帶坂東式調帶、大阪帶革、井上帶革等相並んで其の優を誇つてをります。

◆電氣機出品としては關西電球會社が中央に天女を立たせ之に電球變色裝置を施したのが花やかで御婦人お子達までが足をお止めになつてゐらします。

◆其他こゝに紹介し洩れたところも澤山ありましようが、いづれも皆現代工業の發達を代表したものはかりで熱と力と鐵とが如何に人生に深く且つ偉大なる關係を以てゐるかが感得されるのであります。さて此の館に特設されたる

### 特別參考室より

◆として努力と苦心を盡されたるものは、照明學の應用の諸設備でありまして、普通一般の方々が余り御存じないところに深遠なる學理が潜んでをるのであります。其の第一には本館東側にある

### 暗室裝置

◆でありまして、こゝには左の如き設備が相並んでをります。

#### (1) 天然色寫眞

およそ物の色の数は數へきれぬほどありますが、ヤンゲーヘルムホツツ氏の説によりますと總ての色を黄、赤、綠の三つの色に分けることができます。此の寫眞は其の標準の三色で撮つたものと、此の三枚の寫眞を重ね合せたもので、今までの染め分けた寫眞とは余程趣きが違ひ非常に美しい天然色寫眞が得られます。

#### (2) 光線と美人の表情

一個の石膏美人像がありましてこれを赤色で照せば生々として、青色で照せば憂鬱となり、又た上から照せば優さしく下から照せば物凄いと云ふ所謂照明學の應用です。

#### (3) 光線と商品との關係

同じ陳列した商品でも之れを照す光線に依つて長きにも悪しくにも見へます。太陽の光線、夜の光線といふ變化した見本を出してあります。

#### (4) 變色畫

いろ／＼の色彩ある美畫をいろ／＼の色の光線で照すと其の色の濃淡明滅ができるのです。實に面白い實驗であります。

#### (5) 五色の噴水

光學を應用して噴水の色をいろ／＼に變化させるのです。

#### (6) X光線

眞空管中に電流を通じX光線を發せしめラジウムの代用發射線、結晶研究、鑛物の眞の透視等に應用する實驗。







るものであります、

### コット式 電気收塵法

◆通俗に謂ふ煙とは空氣又は瓦斯中に微細なる粒子が浮游混濁するものでありまして一極は尖端形状を有し他極は比較的平面に近き形状を有する両電極より成るものです今之れを強き電力場内に送るときは混濁微粒子は尖端形状の電極と同一の電荷を受け電力の作用により平面形状の電極上に運移せらるゝとは明なる原理であります、コットレル式氣塵收塵法は此簡單なる原理を大規模に實地應用せしもので各工場或は製煉所より排出する煙中の微粒子を集収する装置に外ならぬのであります、この排出せらるゝ煙塵は常に煙害を醸すものなれば之を回収して煙塵に據る煙害を除去し得ると同

時に集収煙塵より有價物の回収を成し從來大氣中に放棄しつゝありました煙を一大有益に集収することを得るものですから經濟上に於ては勿論、衛生上公徳上果た又國家經濟上より論ずるも甚だ有効なることは贅言を待たず明なる所であります

### 特許館より

◆機械館を御覽になりましたら、特設の特許館の方へお越しを願ひたう存じます、この館にお這入りになる途中に左右に特別の建築物が相對してをります、其東側の方は

### 特許局の設計室

◆でこれは座敷、台所、湯殿の天井、屋根書院の障子紙、三熊式疊、瓦斯火鉢、キルク椽、洋服掛と何から何まで特許づくめで

似ず、生活に最も重要な交渉を有つさるゝの台所に一二疊の狭くるといのは當を得たものでないといふのです

上等のお客座敷ができてをります、そしてその前の泉水に泳く鯉までが専賣特許の鏡をつけてをりますから奇抜です  
◆西の方には大阪朝日新聞社の懸賞募集に當選した

### 理想の臺所の建築

◆があります、これは現在中流社會の生活の程度から標準をとつた六疊即ち三坪で、左の三の理由があります

- (一) 台所用器具を茶之間乃至居間に置く場合多けれどこれらは全部台所に收容するを可とする原利に基いて、悉くこの中に收めたから實際は全く廣くはありませぬ
- (二) 勿論これは理想的標準台所であるから多くの特長箇所を示すために板間土間各三疊を必要と認められたです
- (三) 客室居間等に多くの面積を費用を惜まないにも

◆其の他二々の説明は實際に御覽になつていただきたたく、こゝには台所用の各特許品が澤山をかれてあります、美術館の家庭化學の台所の化學的廢物利用法、又た第一館の顯微鏡室の日常食用品の微菌とかれこれ參考して研究して下さると家庭の御婦人方にも此の博覽會が實際にお爲めになる設備がしてあることにお氣附きになります

◆さていよく特許館にお入りになりました見渡すところ、それはくゝいろくゝな特許品がありまして、中には成程と感心するもの、又たは思はず滑稽で微笑まるもの様々であります

### 中央の競馬人形



◆は特許品の玩具を擴大したもので、上馬の  
人形が絶へずぐる／＼廻はつてゐるといふ、こゝばかりは一寸無邪氣なお子達氣分  
で實に御愛嬌であります

◆特許品の中をざつと見ますと夜逃げをす  
るに至極便利さうな折疊式佛壇や箆筒、椅  
子、卓子などがあるかと思ふと專賣特許の  
安産機を初め頭の先から足の爪先までの日  
用品は何から何まで特許と新案づくめです  
が化學的のものとして特に注目すべきは京  
都坂根清一氏の發明にかゝる魚鱗化學でせ  
う。

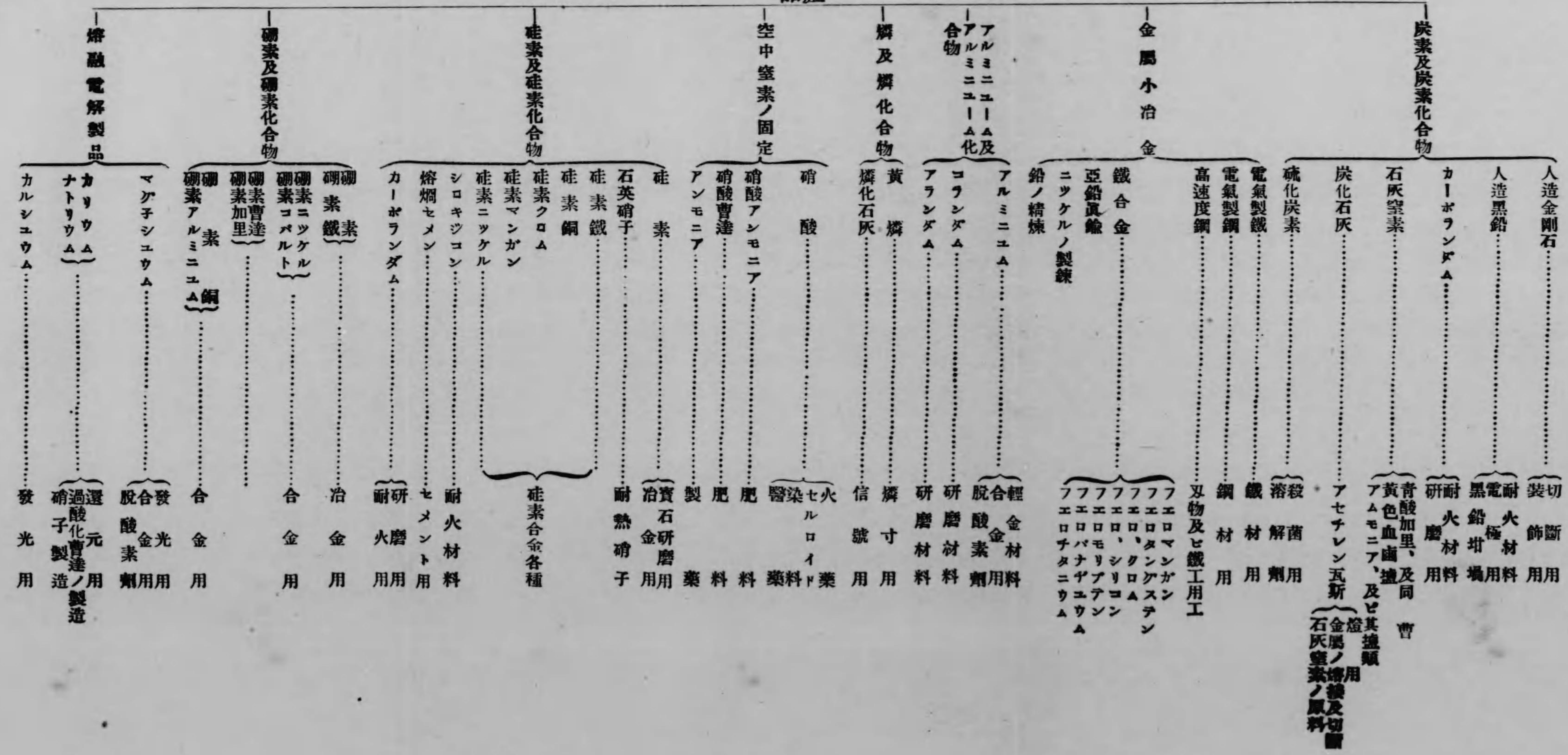
◆これは年々我國で二千萬ポント以上も  
廢鱗となるものを利用し之を透明硬化せし  
めたもので毫も脆碎の恐なく磨貝雲母等の  
代用品となる「サツカチグリッター」が出  
品されてありますが一見鮮麗なもので殆ど

ステンドグラスの上等品と變りがありませ  
ん、其他先頃の特許大會に於て一等賞を得  
た堺市井上徳三郎氏出品の裝飾用ガラス腕  
輪等は見逃すべからざるものです。





電氣爐製成品



人造金剛石.....切斷用

人造黒鉛.....耐火材料

カーボランダム.....耐火材料

石灰窒素.....耐火材料

炭化石灰.....耐火材料

硫化炭素.....耐火材料

電氣製鐵.....耐火材料

電氣製鋼.....耐火材料

高速度鋼.....耐火材料

鐵合金.....耐火材料

亞鉛眞鍮.....耐火材料

ニッケルノ製鍊.....耐火材料

鉛ノ精鍊.....耐火材料

アルミニウム.....耐火材料

コランダム.....耐火材料

フランダム.....耐火材料

黃燐.....耐火材料

燐化石灰.....耐火材料

硝酸.....耐火材料

硝酸アンモニア.....耐火材料

硝酸曹達.....耐火材料

アンモニア.....耐火材料

珪素.....耐火材料

石英硝子.....耐火材料

珪素鐵.....耐火材料

珪素銅.....耐火材料

珪素クロム.....耐火材料

珪素マンガ.....耐火材料

珪素ニッケル.....耐火材料

シロキヅコン.....耐火材料

熔燭セメン.....耐火材料

カーボランダム.....耐火材料

カリウム.....耐火材料

ナトリウム.....耐火材料

カルシウム.....耐火材料

マグネシウム.....耐火材料

珪素アルミニウム.....耐火材料

アセチレン瓦斯.....耐火材料

アセチレン瓦斯.....耐火材料

アセチレン瓦斯.....耐火材料

アセチレン瓦斯.....耐火材料

アセチレン瓦斯.....耐火材料

アセチレン瓦斯.....耐火材料

アセチレン瓦斯.....耐火材料

アセチレン瓦斯.....耐火材料

アセチレン瓦斯.....耐火材料

アセチレン瓦斯.....耐火材料

アセチレン瓦斯.....耐火材料

アセチレン瓦斯.....耐火材料

アセチレン瓦斯.....耐火材料

アセチレン瓦斯.....耐火材料

アセチレン瓦斯.....耐火材料

アセチレン瓦斯.....耐火材料

アセチレン瓦斯.....耐火材料

アセチレン瓦斯.....耐火材料

アセチレン瓦斯.....耐火材料

アセチレン瓦斯.....耐火材料

アセチレン瓦斯.....耐火材料

アセチレン瓦斯.....耐火材料

アセチレン瓦斯.....耐火材料

アセチレン瓦斯.....耐火材料

アセチレン瓦斯.....耐火材料

アセチレン瓦斯.....耐火材料

アセチレン瓦斯.....耐火材料

アセチレン瓦斯.....耐火材料

アセチレン瓦斯.....耐火材料

アセチレン瓦斯.....耐火材料

アセチレン瓦斯.....耐火材料

アセチレン瓦斯.....耐火材料

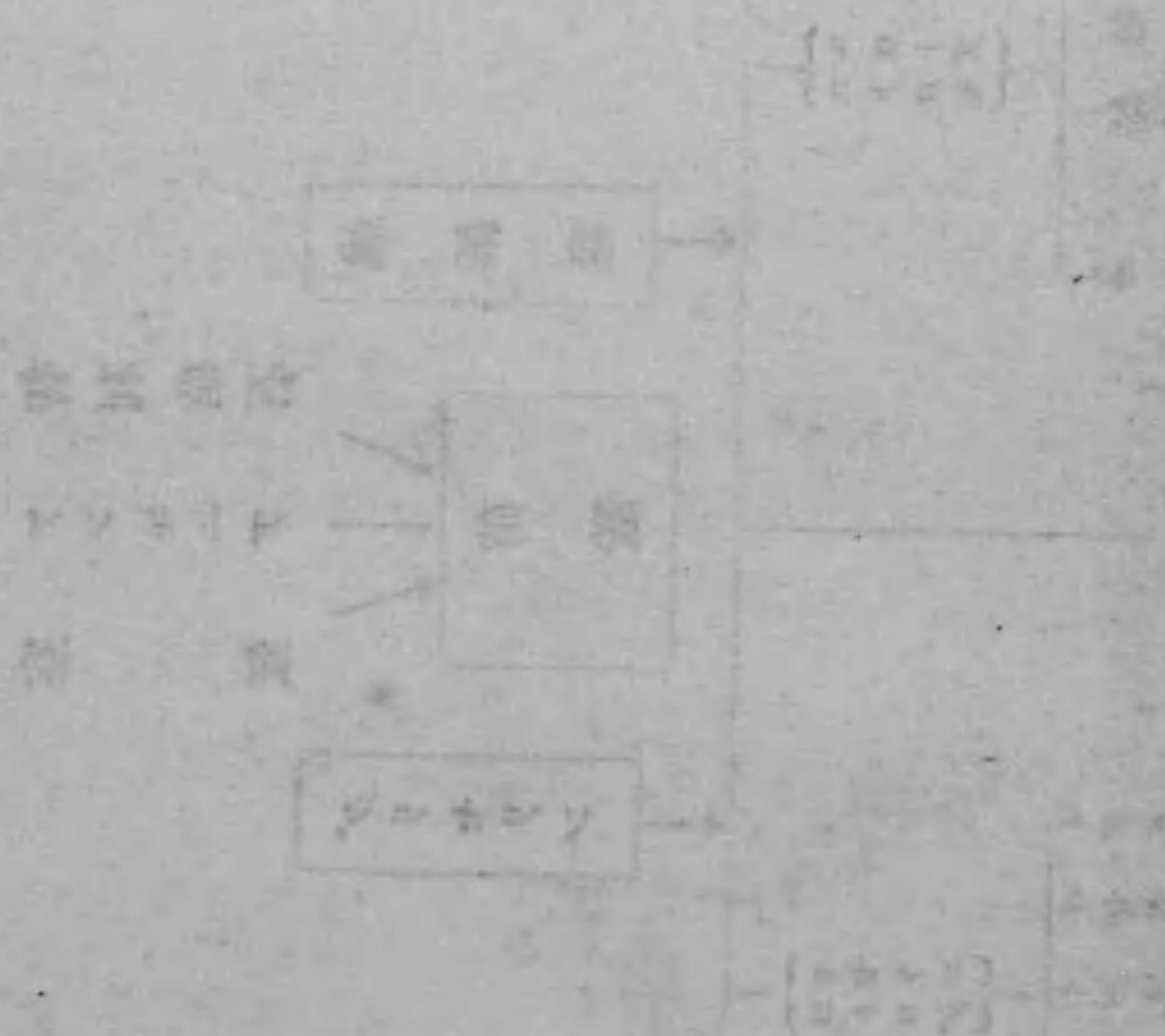
アセチレン瓦斯.....耐火材料



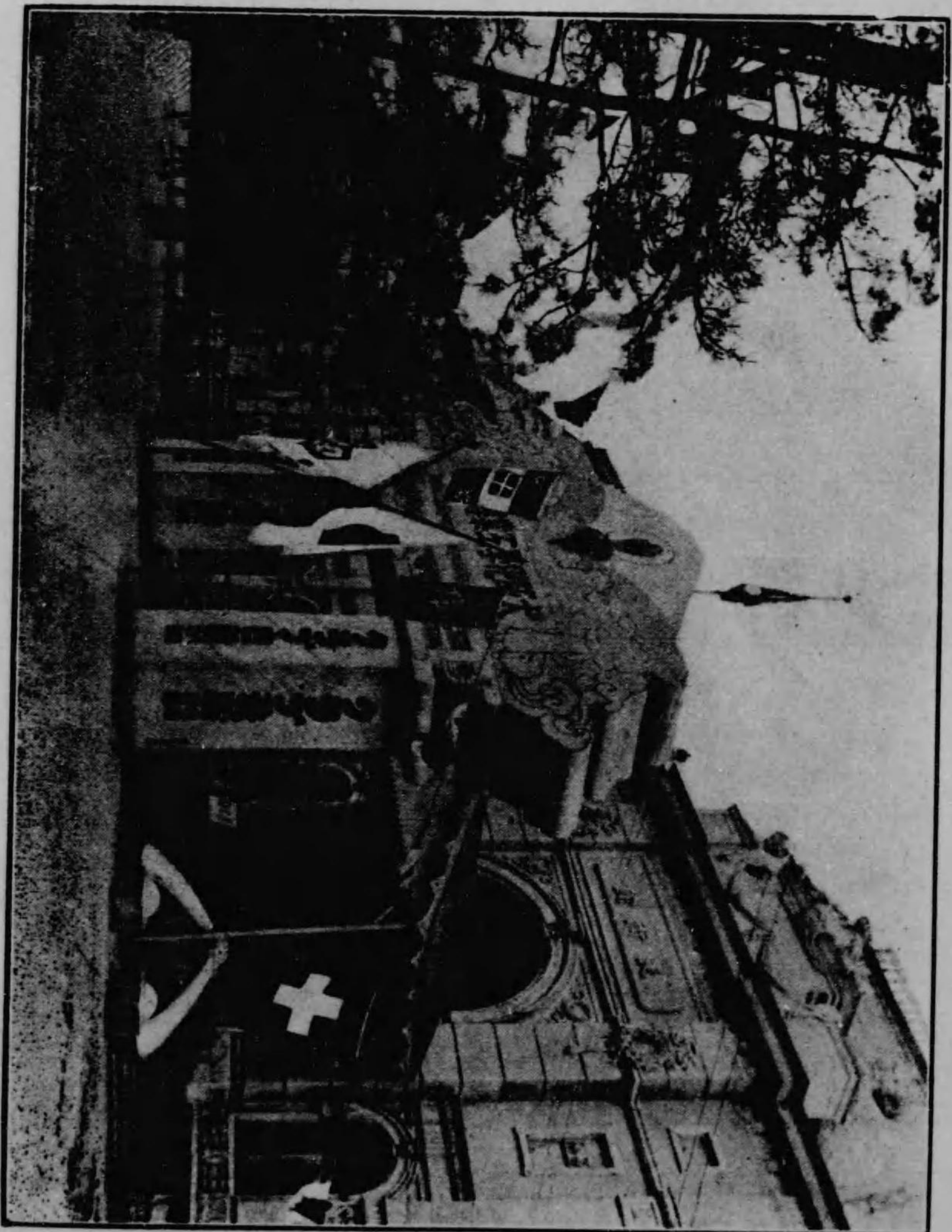




附 録 用 紙 類



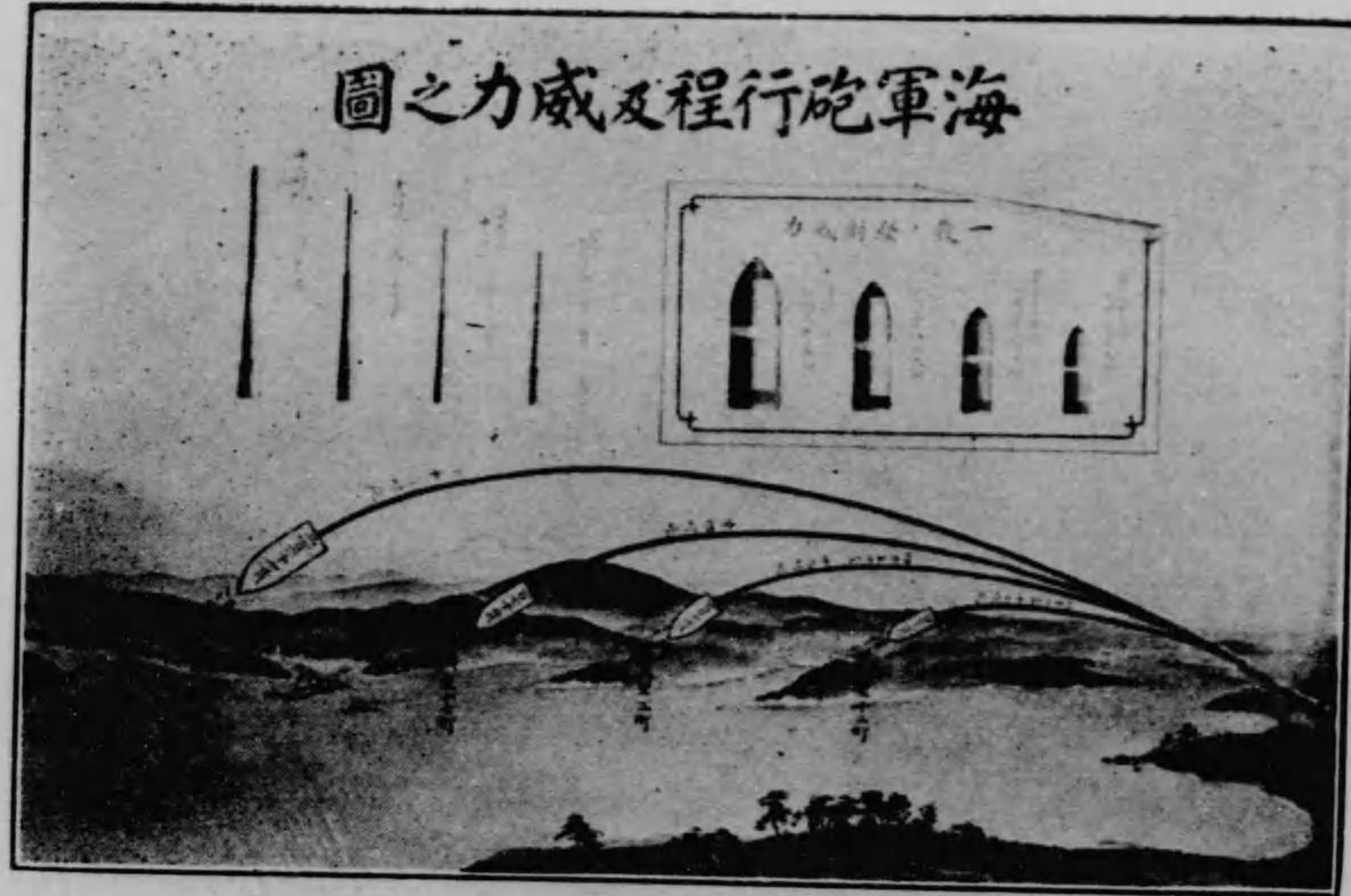
新しき光りの装ひをこらしめて、美術館



(本會三集會場前)



部 考 參



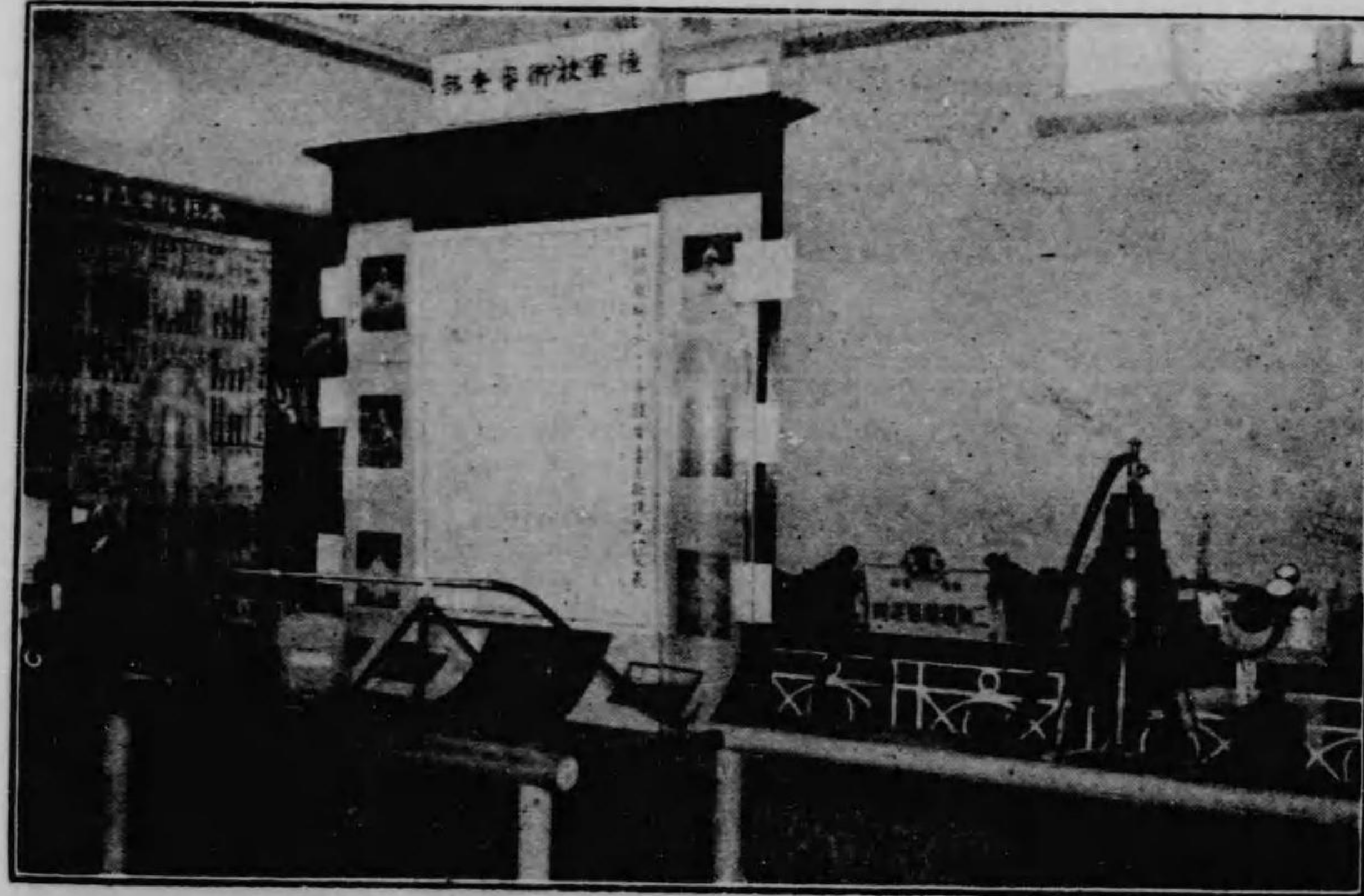
(海軍造兵廠)



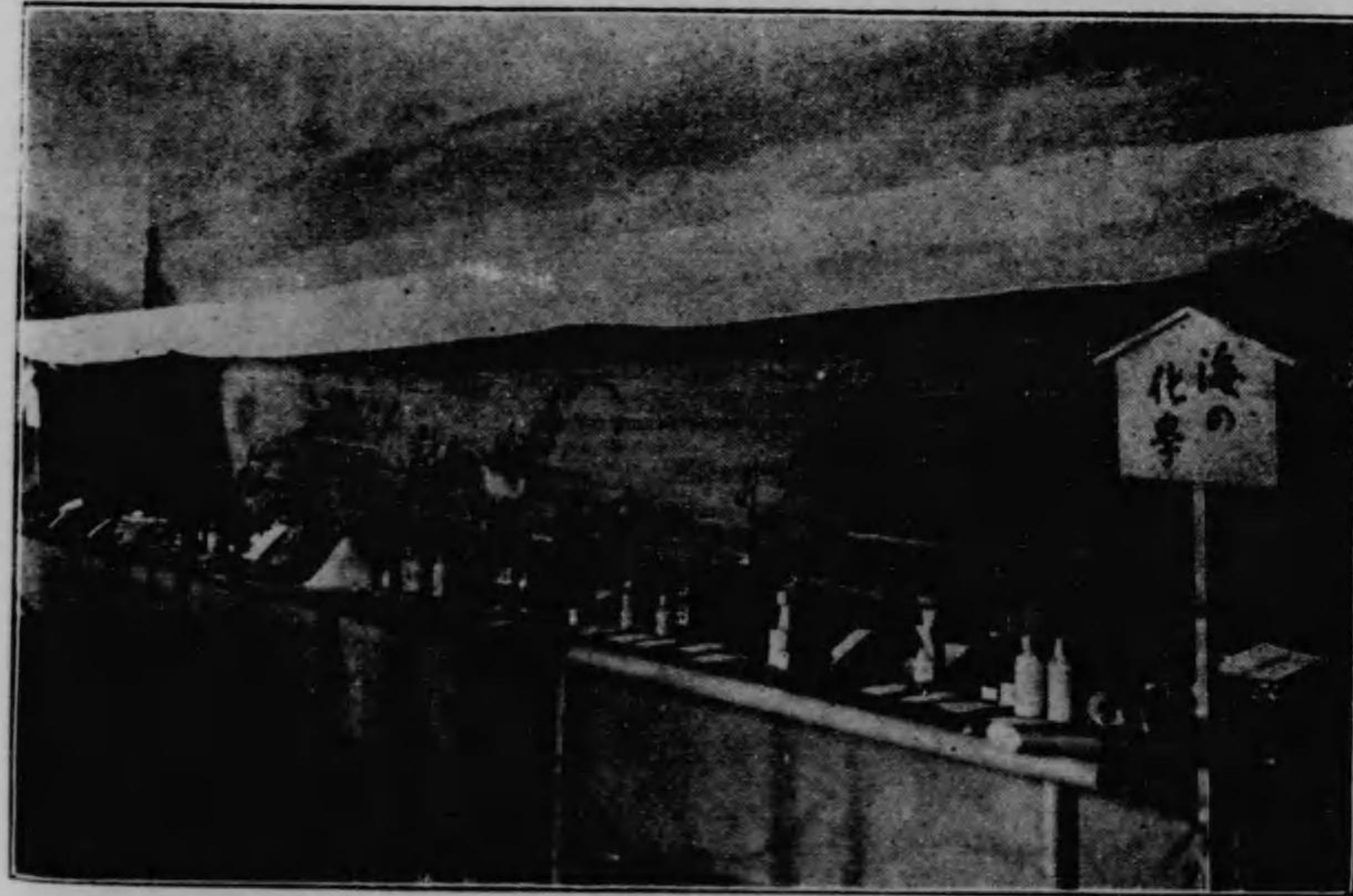
恐るべき威力ある十六吋砲弾と其の炸薬

(美術館階上南館西側)

部 考 參



歐洲戦場に使用されつゝある毒瓦斯とは  
どんなものか (陸軍技術審査部)



海から得らるゝ化学製品と其の分類

(美術館階上中側)



部 考 参



爆薬はどうして出来たか (大阪砲兵工廠)



さまざまな最新化学機械 (大阪砲兵工廠)

(側東館南上階館術美)

部 考 参



軍装のさまざま (陸軍被服廠)

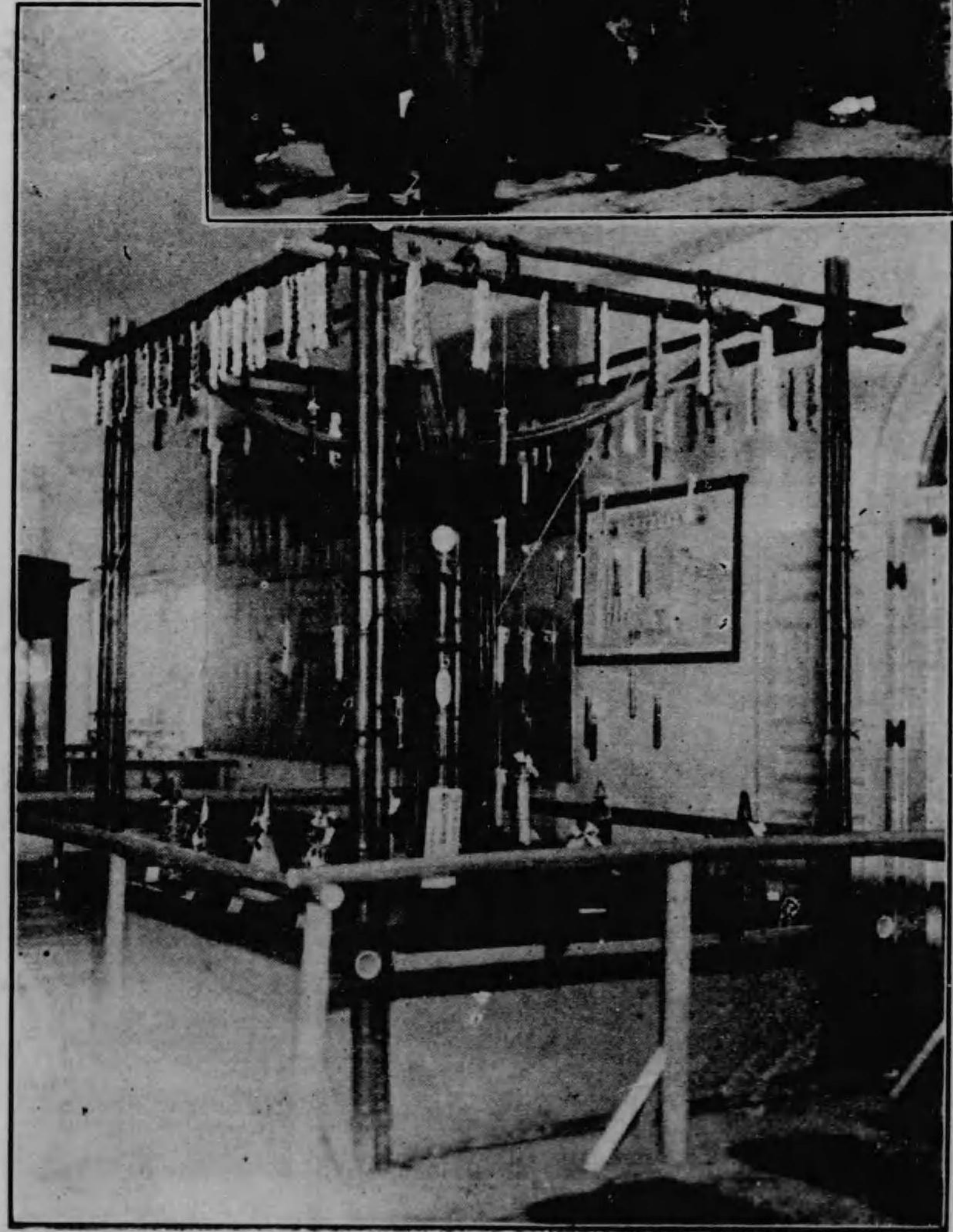


軍絨はどうして出来るか (千住製絨所)

(側西館南上階館術美)

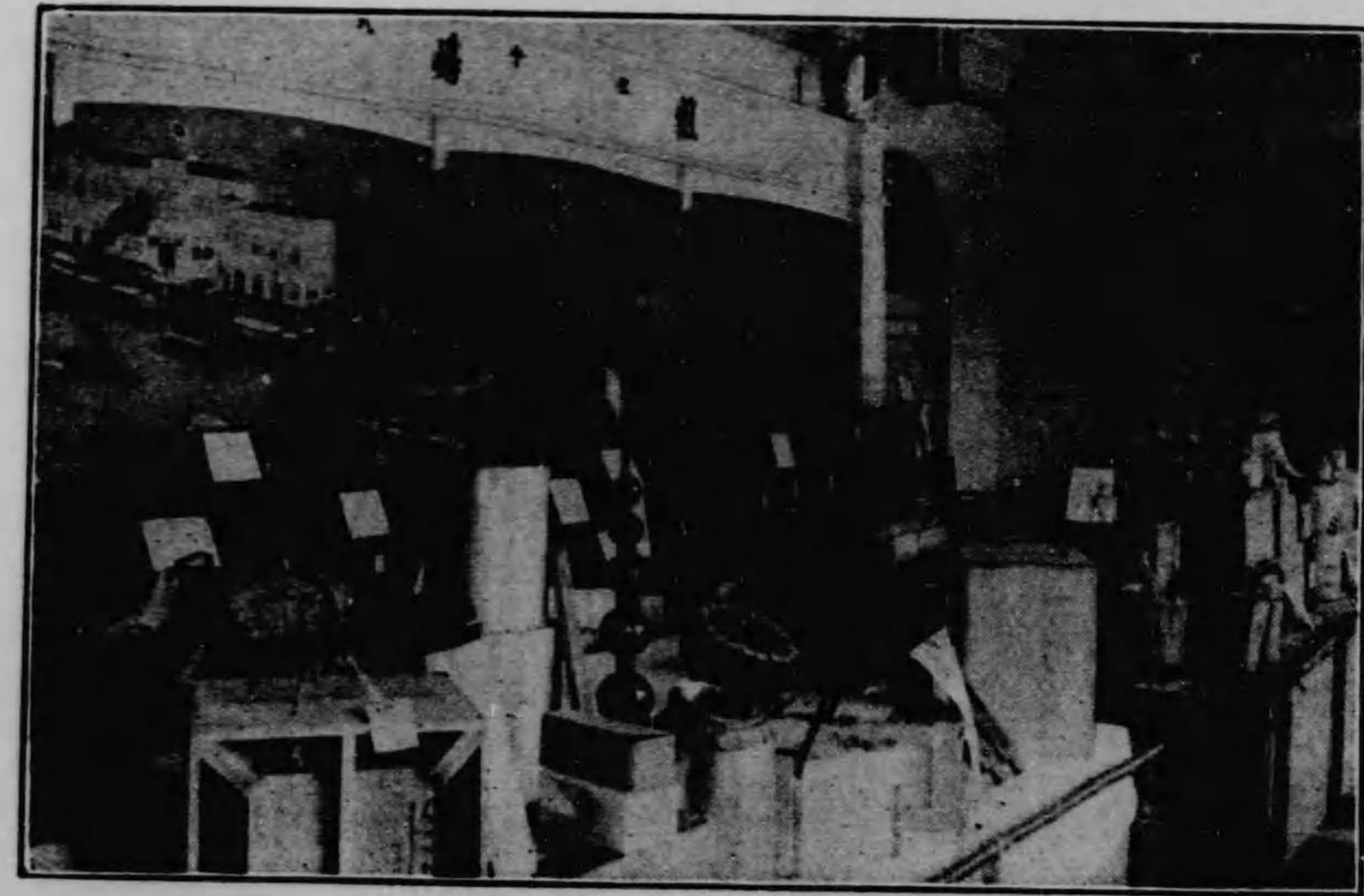


世の不慮を解く化学究術



美しい色——コールター製品から炭石

参 考 部



(美 術 館 上 北 館 東 側)

化学製品の包装は如何にすべきか (荷造研究室)

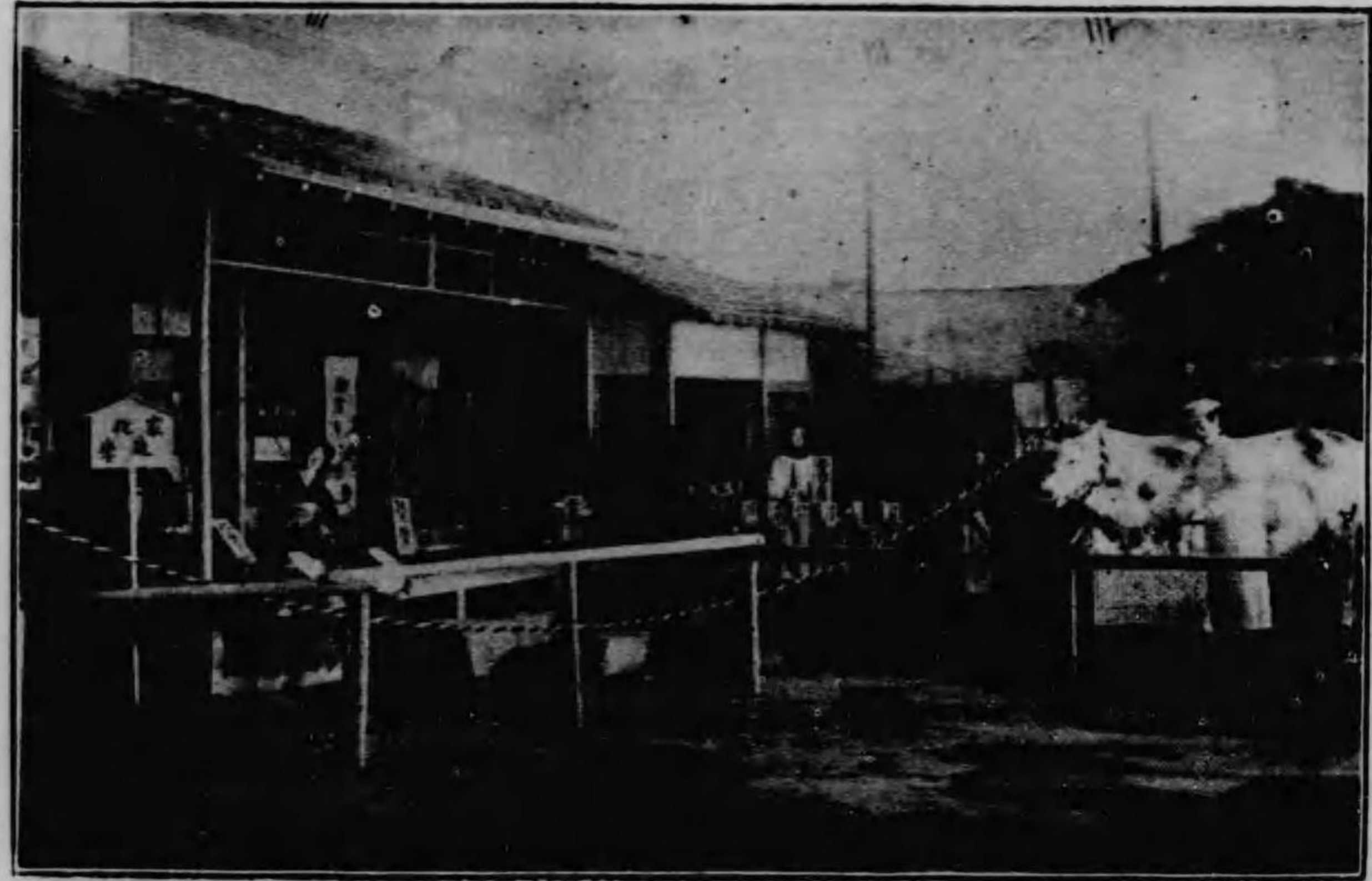


(同 上 四 側)

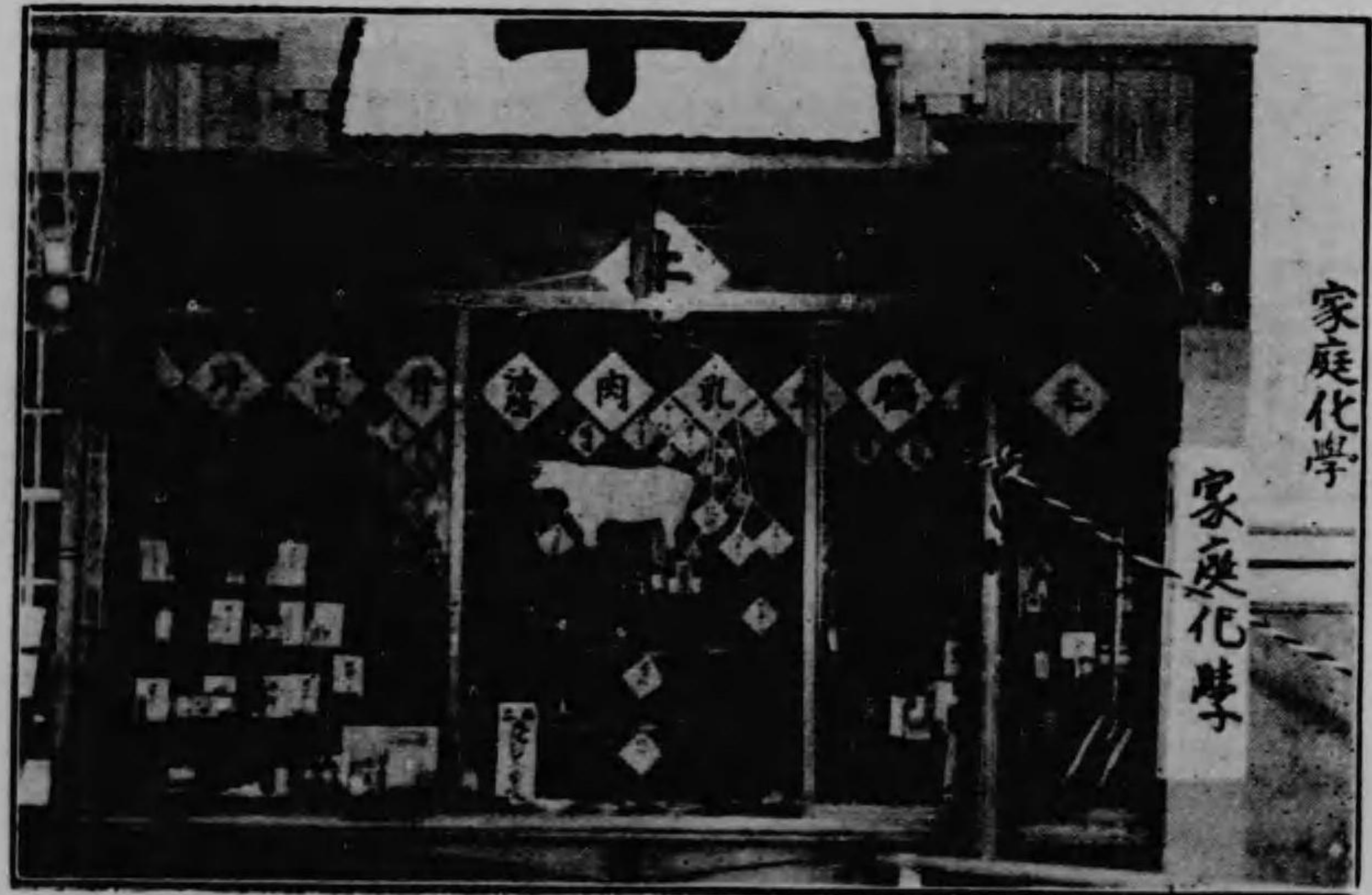
化学的研究はどこまで進歩したか (研究試験室)



参 考 部



婦人の心得へればならぬ家庭化学（大阪割烹学校）



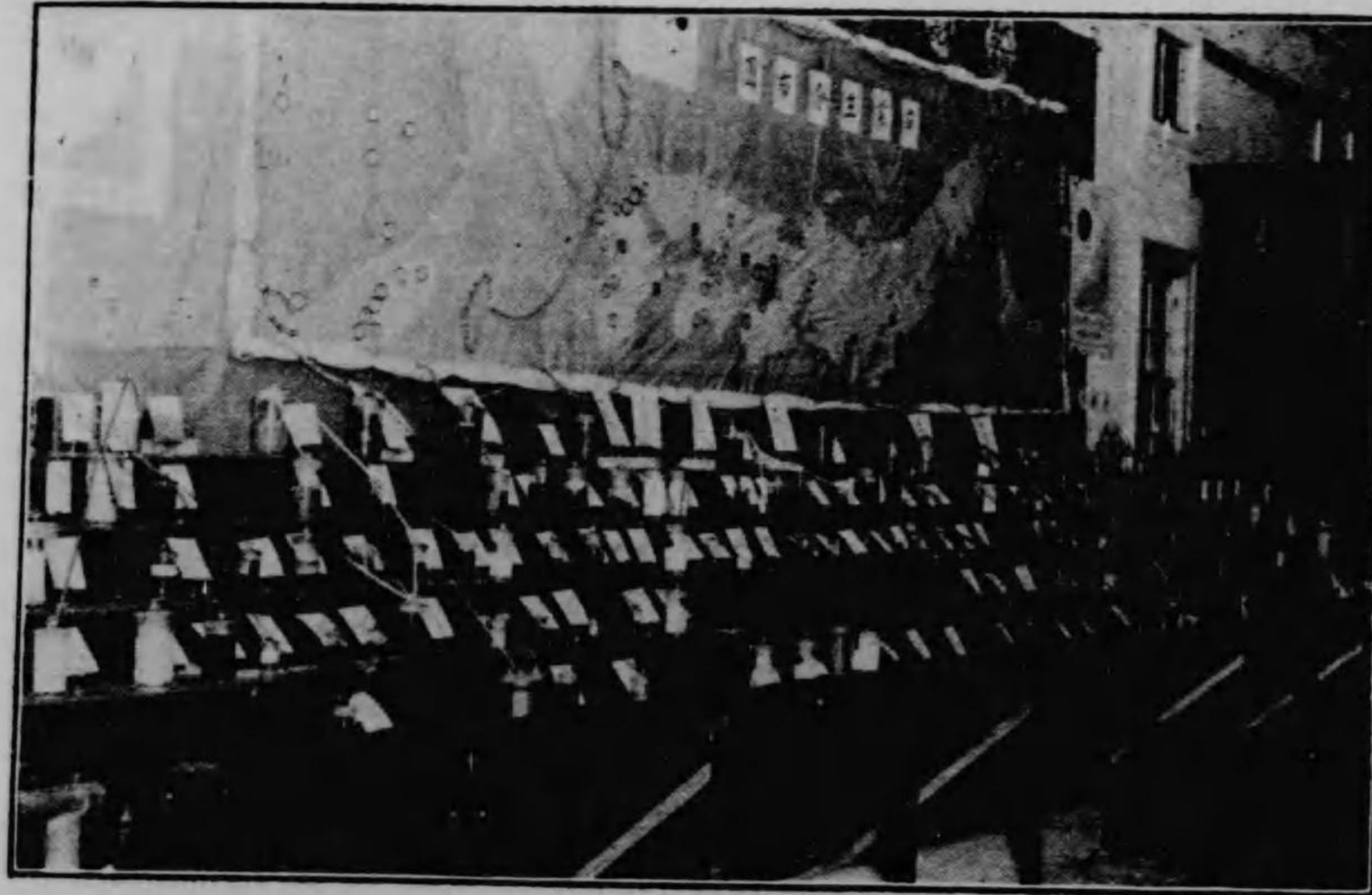
家庭化学

家庭化学

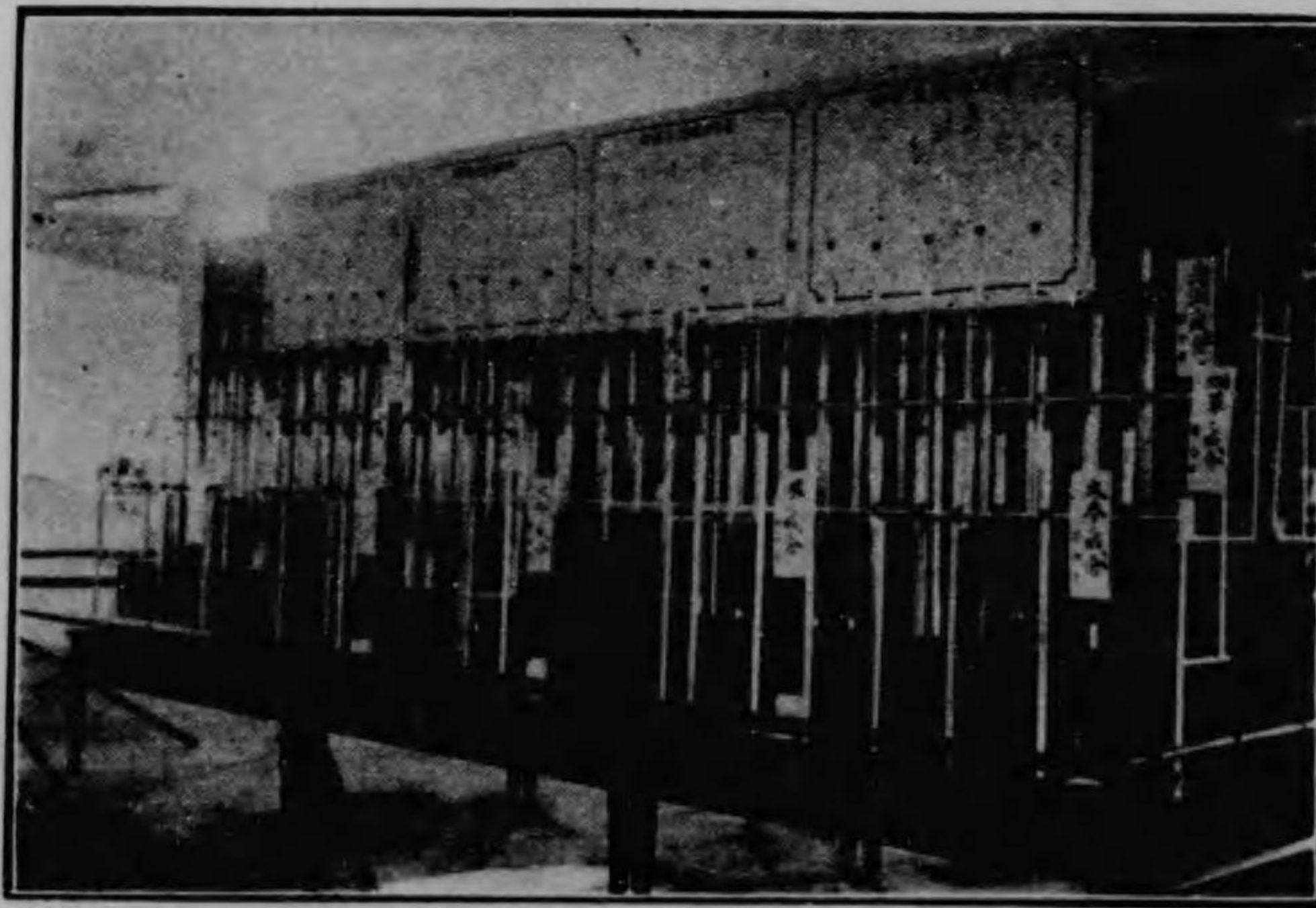
頭の先きから蹄まで捨てるまごころなき牛の利用法

（美術館上最北端）

参 考 部



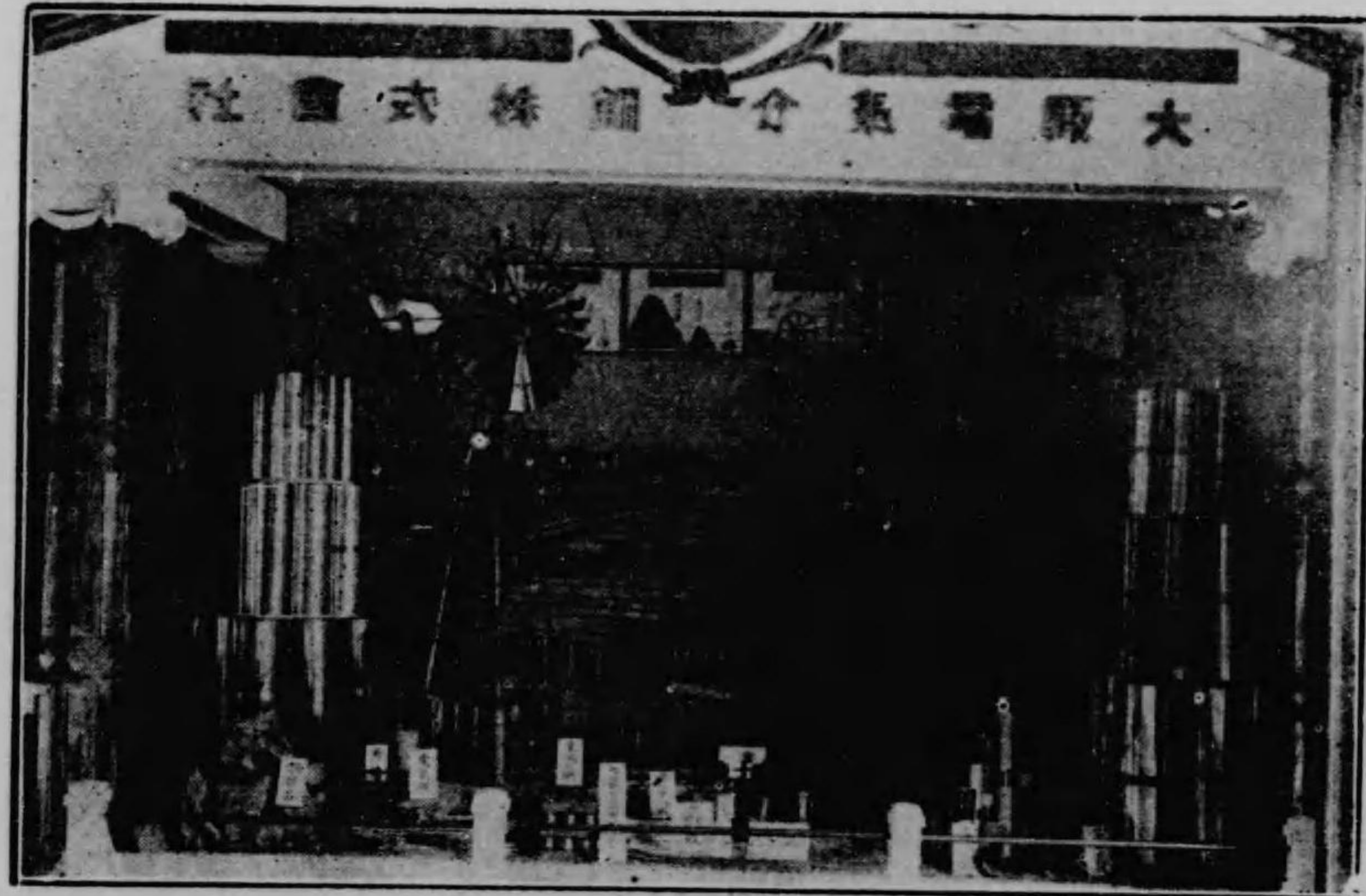
化学工業製造の順序（高工應用化学科）



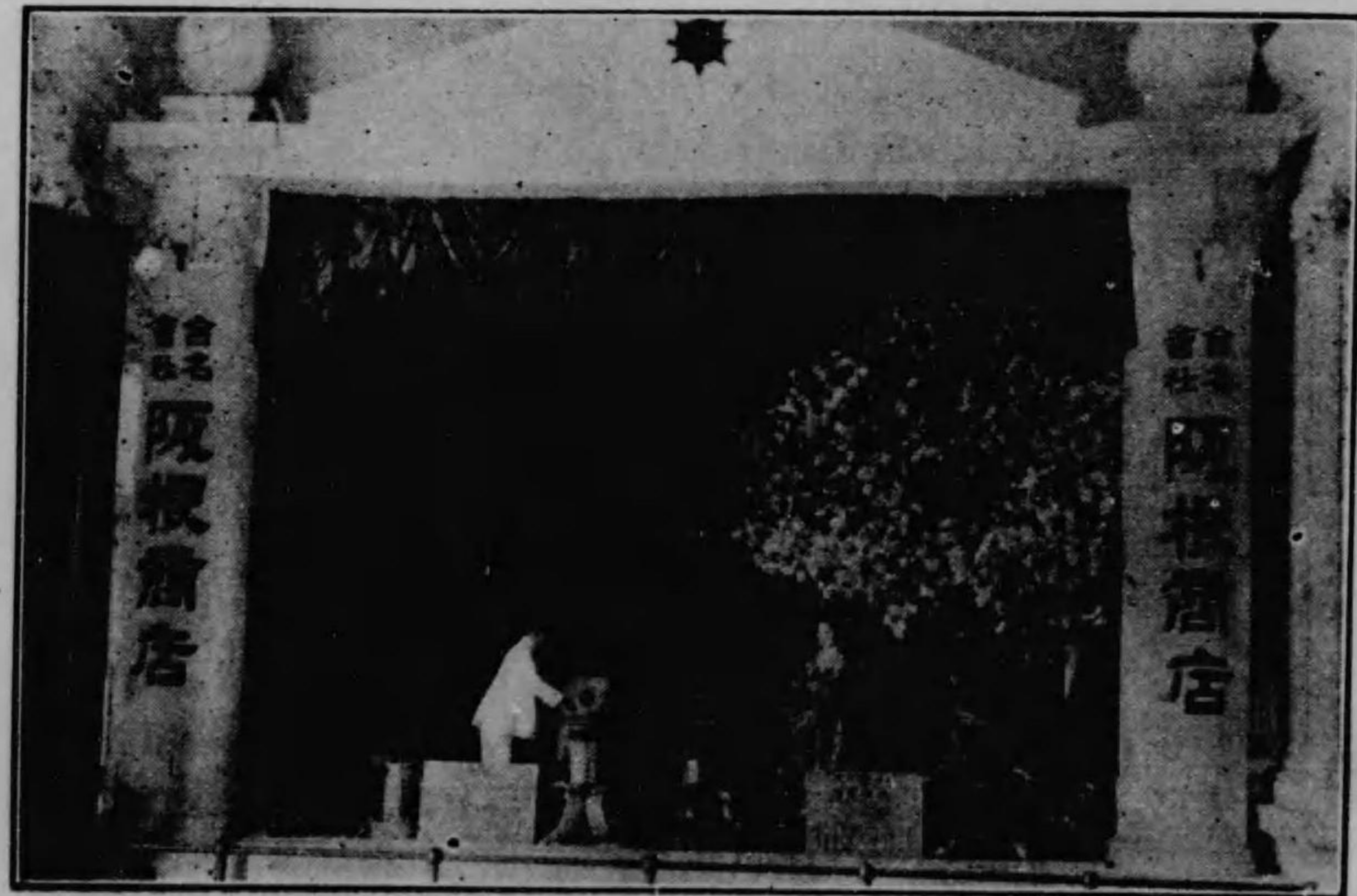
あらゆる食品品の化学的分拆  
（高工醸造科）

（美術館上最北端）



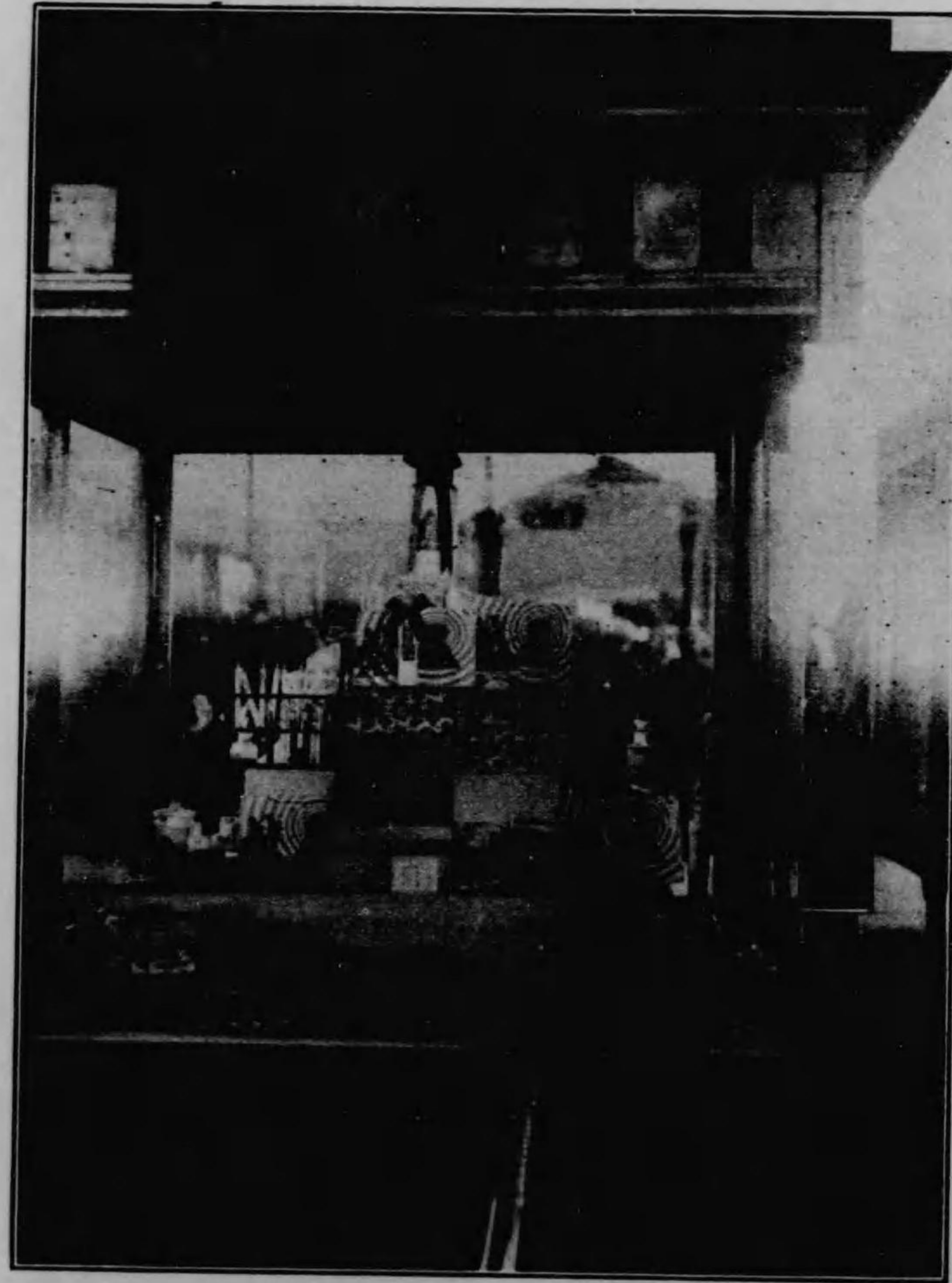


大阪電氣化學工業株式會社出品



(美術館正面左右)

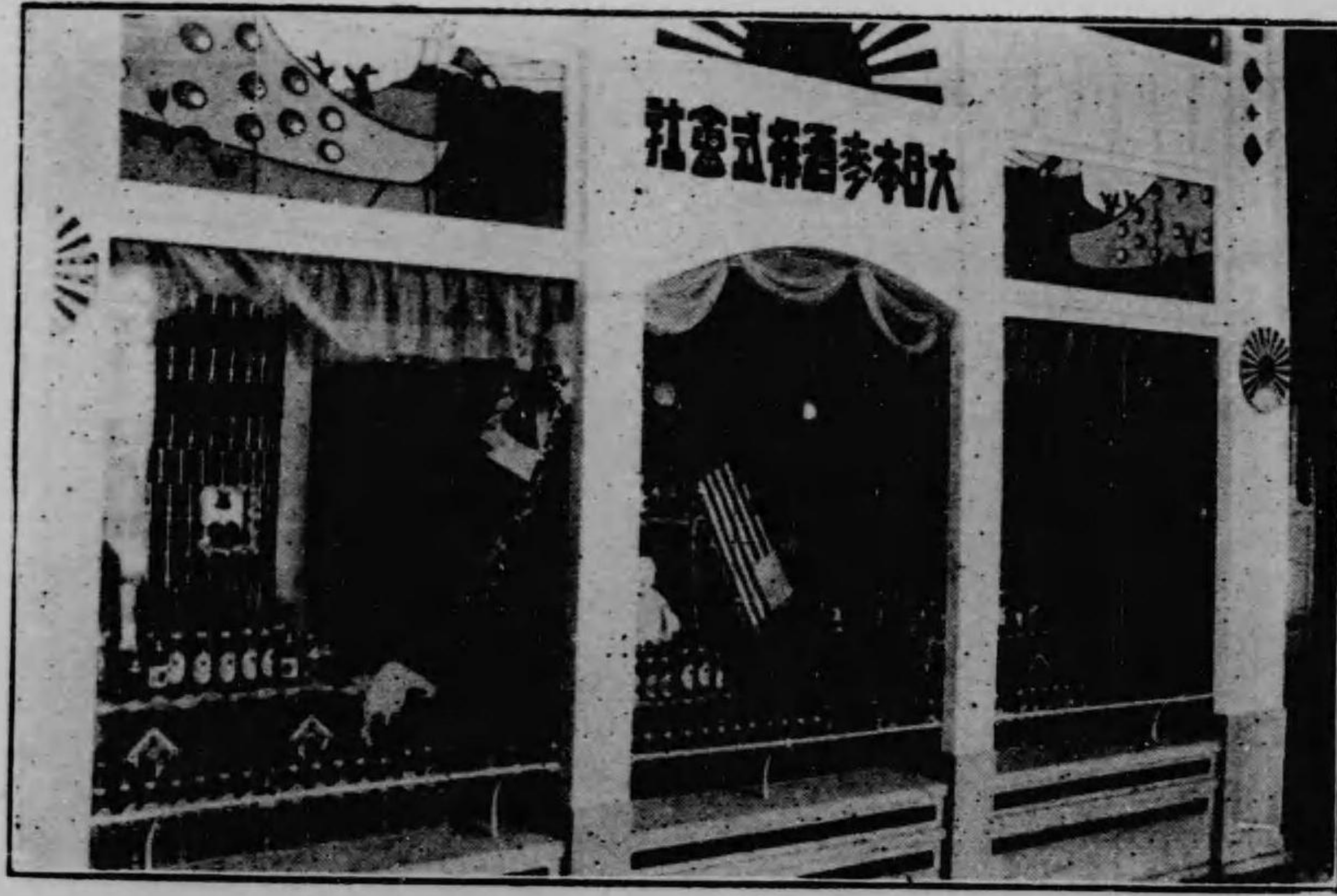
合名會社阪根商店出品の鋼亞鉛



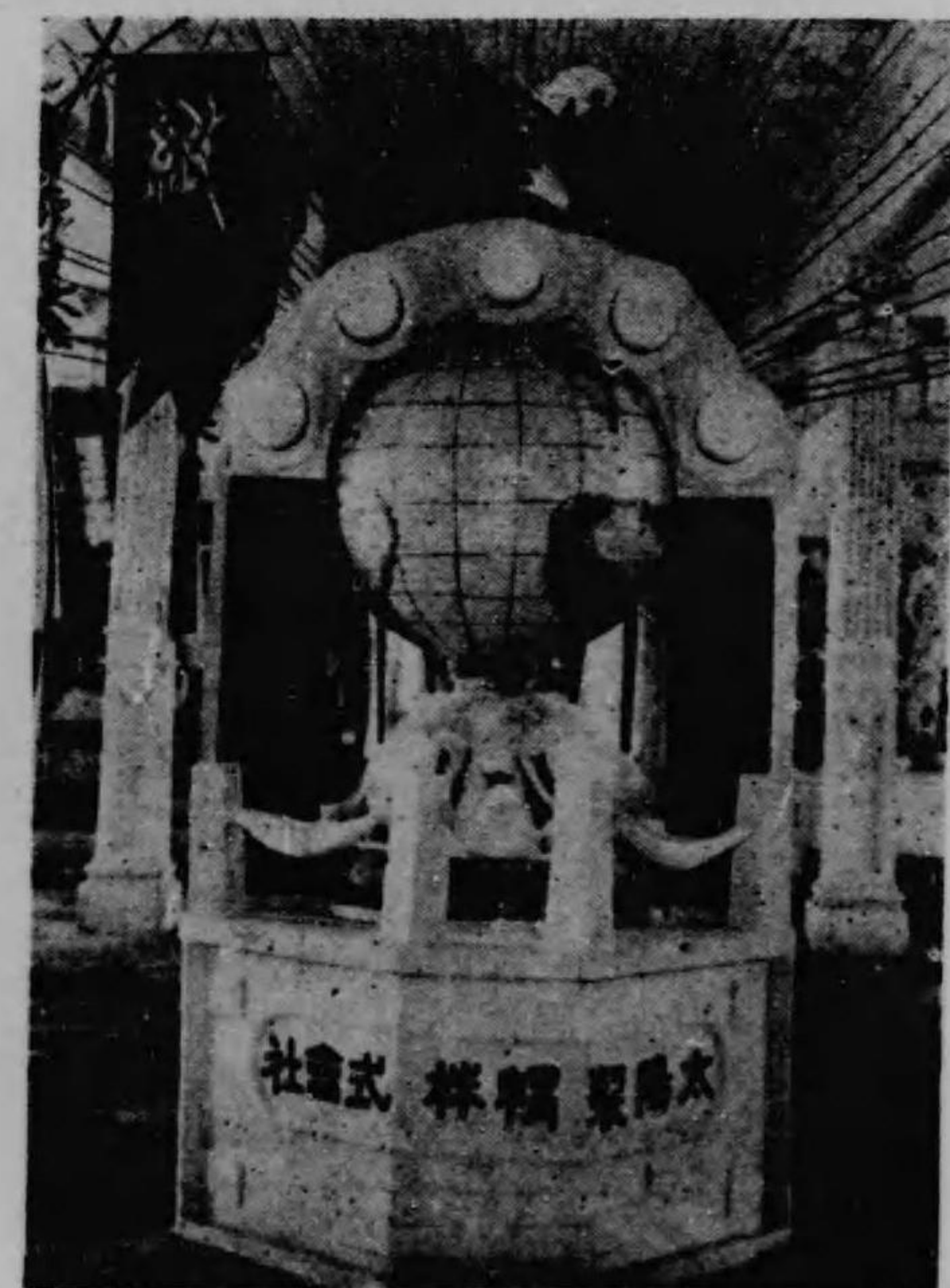
(第三場——美術館上階北端)

アサヒ齒磨の出品高工應用化學科出身者出品の内 (北尾新聞鋪發賣)





(美術館正) 品出社會式株ルービ本日大



太陽製糖株式會社の出品

(美術館下南室)



岡本末蔵氏出品の珉瑠製品

(美術館下北)



店理代社會紙製士富  
品出店紙洋田山社會式株町森南區北  
(美術館下南場會三第)



京都多田石鹼製造所の出品



(方南上階館術美一 場會三第)

油衛卜脂沼鹼藏坪會星野油原學油水田 谷田油粉瀬田學郎越藤藤ン谷學原料料耶斯衛	製兵	市	カ	ミ	(七七)	多
	イ	市	田	岸	(七八)	藥
	油	陽	陽	太	(七九)	平
	石	本	本	日	(八〇)	藥
	隆	洋	新	新	(八一)	產
	商	田	東	上	(八二)	七
		土	岸	岸	(八三)	郎
	製		二	諸	(八四)	吉
	マ	マ	平	平	(八五)	門
	化	正	サ	サ	(八六)	密
	製	學	小	小	(八七)	藥
	ト	本	大	大	(八八)	品
	防	セ	化	日	(八九)	灰
		メ	日	岡	(九〇)	學
	製		岡	堀	(九一)	吉
	豆	原	堀	中	(九二)	帽
	化	本	中	黒	(九三)	下
	三	田	黒	小	(九四)	水
		源	小	日	(九五)	器
			早	早	(九六)	村
			小	小	(九七)	羅
			吉	吉	(九八)	帽
			林	林	(九九)	紙
			黒	黒	(一〇〇)	學
			川	川	(一〇一)	會
			安	安	(一〇二)	合
			中	中	(一〇三)	仲
			岩	岩	(一〇四)	紙
			原	原	(一〇五)	紙
			金	金	(一〇六)	子
			龜	龜	(一〇七)	文
			東	東	(一〇八)	帽
			事	事	(一〇九)	合
			名	名	(一一〇)	一
			鈴	鈴	(一一一)	店
					(一一二)	學
					(一一三)	
					(一一四)	

喜 製賢製製水達 三 龜右舍製出 山 火 化重製山防紙 夏士化製 富士商 濼 濼 製 築 好 夏 利 商 化  
 本橋本阪房阪 山 五 波 藤 量 尾 林 鮮 四 戸 本 陽 紙 本 三 組 田 京 本 建 京 見 本 組 川 藤 阪

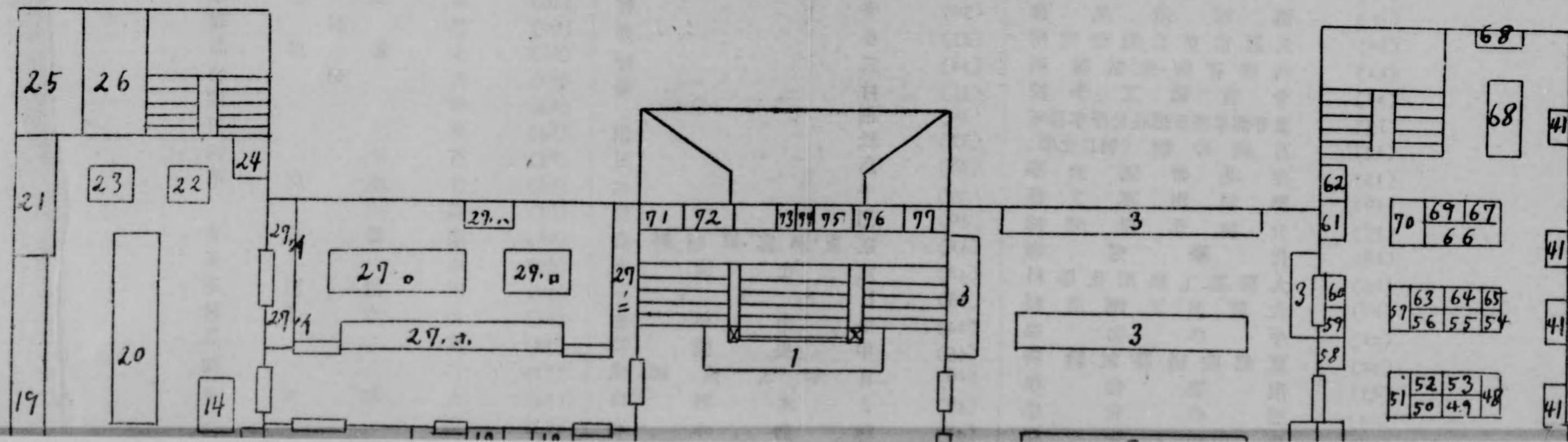


# 大阪化學工業博覽會

## 第三館

### 參觀出品配置圖

#### 上階









### 第三館平面圖

(1)	毒魚	瓦	新學	同	口	同	大	阪	府	警	察	部	(51)	島	幾	田
(2)	之	化	學	同	ハ	同	大	阪	市	立	工	學	(52)	奈	州	須
(3)	東	阪	廠	同	ニ	同	大	阪	市	立	工	學	(53)	野	田	田
(4)	千	住	絨	同	ホ	同	大	阪	市	立	工	學	(54)	三	浦	崎
(5)	關	東	府	(28)		攝	大	阪	市	立	工	學	(55)	川	崎	口
(6)	臺	灣	府	(29)	攝	兵	大	阪	市	立	工	學	(56)	江	藤	革
(7)	大	阪	廠	(30)	庫	內	大	阪	市	立	工	學	(57)	齊	革	緞
(8)	大	阪	廠	(31)	寺	福	大	阪	市	立	工	學	(58)	九	緞	品
(9)	海	軍	廠	(32)	花	三	大	阪	市	立	工	學	(59)	多	舍	岡
(10)	大	阪	廠	(33)	村	桐	大	阪	市	立	工	學	(60)	黑	岡	四
(11)	內	務	廠	(34)	島	千	大	阪	市	立	工	學	(61)	少	田	革
(12)	今	宮	廠	(35)	島	千	大	阪	市	立	工	學	(62)	共	革	村
(13)	參	考	廠	(36)	京	富	大	阪	市	立	工	學	(63)	朝	村	島
(14)	石	炭	廠	(37)	京	富	大	阪	市	立	工	學	(64)	中	和	村
(15)	東	北	廠	(38)	日	中	大	阪	市	立	工	學	(65)	石	村	和
(16)	舞	鶴	廠	(39)	日	中	大	阪	市	立	工	學	(66)	日	村	和
(17)	分	拆	廠	(40)	林	マ	大	阪	市	立	工	學	(67)	森	村	和
(18)	化	學	廠	(41)	ル	カ	大	阪	市	立	工	學	(68)	漆	村	和
(19)	大	阪	廠	(42)	カ	カ	大	阪	市	立	工	學	(69)	本	村	和
(20)	大	阪	廠	(43)	本	防	大	阪	市	立	工	學	(70)	明	村	和
(21)	大	牛	廠	(44)	本	防	大	阪	市	立	工	學	(71)	內	村	和
(22)	京	都	廠	(45)	本	防	大	阪	市	立	工	學	(72)	廣	村	和
(23)	京	浪	廠	(46)	本	防	大	阪	市	立	工	學	(73)	二	村	和
(24)	豆	の	廠	(47)	本	防	大	阪	市	立	工	學	(74)	大	村	和
(25)	牛	の	廠	(48)	本	防	大	阪	市	立	工	學	(75)	藤	村	和
(26)	家	庭	廠	(49)	本	防	大	阪	市	立	工	學	(76)	中	村	和



(19) 大阪高工應用化學科  
 (20) 大阪高工應用化學科  
 (21) 大牛の化學研究所  
 (22) 京都陶磁器試驗所  
 (23) 浪花の化學研究所  
 (24) 豆の化學研究所  
 (25) 牛家の化學研究所  
 (26) 家庭化學研究所  
 (27) イ荷造研究島津製作所

(42) 富日本波布  
 (43) 日中本ラミ  
 (44) 中本南央草製  
 (45) 中日本人造綿糸  
 (46) 日本人造綿糸  
 (47) 日日本防洒水  
 (48) 林防洒水  
 (49) マルカカ  
 (50) 高

(69) 本明内廣二大藤中星  
 (70) 治本  
 (71) 製上  
 (72) 和  
 (73) ゴ  
 (74) 野  
 (75) 宗  
 (76) 宗  
 (77) 宗

多草村島和  
 村田

(一) 大坂日本麥酒店  
 (二) 根商分  
 (三) 阪電氣鉛  
 (四) 大東大阪七ルロイ組合  
 (五) 日西村長三  
 (六) 伊友染染組  
 (七) 友染染組  
 (八) 友染染組  
 (九) 友染染組  
 (一〇) 友染染組  
 (一一) 友染染組  
 (一二) 友染染組  
 (一三) 友染染組  
 (一四) 友染染組  
 (一五) 友染染組  
 (一六) 友染染組  
 (一七) 友染染組  
 (一八) 友染染組  
 (一九) 友染染組  
 (二〇) 友染染組  
 (二一) 友染染組  
 (二二) 友染染組  
 (二三) 友染染組  
 (二四) 友染染組  
 (二五) 友染染組  
 (二六) 友染染組  
 (二七) 友染染組  
 (二八) 友染染組  
 (二九) 友染染組  
 (三〇) 友染染組  
 (三一) 友染染組  
 (三二) 友染染組  
 (三三) 友染染組  
 (三四) 友染染組  
 (三五) 友染染組  
 (三六) 友染染組  
 (三七) 友染染組  
 (三八) 友染染組

(三九) 大日喜  
 (四〇) 本橋製賢製製水達  
 (四一) 本橋製賢製製水達  
 (四二) 本橋製賢製製水達  
 (四三) 本橋製賢製製水達  
 (四四) 本橋製賢製製水達  
 (四五) 本橋製賢製製水達  
 (四六) 本橋製賢製製水達  
 (四七) 本橋製賢製製水達  
 (四八) 本橋製賢製製水達  
 (四九) 本橋製賢製製水達  
 (五〇) 本橋製賢製製水達  
 (五一) 本橋製賢製製水達  
 (五二) 本橋製賢製製水達  
 (五三) 本橋製賢製製水達  
 (五四) 本橋製賢製製水達  
 (五五) 本橋製賢製製水達  
 (五六) 本橋製賢製製水達  
 (五七) 本橋製賢製製水達  
 (五八) 本橋製賢製製水達  
 (五九) 本橋製賢製製水達  
 (六〇) 本橋製賢製製水達  
 (六一) 本橋製賢製製水達  
 (六二) 本橋製賢製製水達  
 (六三) 本橋製賢製製水達  
 (六四) 本橋製賢製製水達  
 (六五) 本橋製賢製製水達  
 (六六) 本橋製賢製製水達  
 (六七) 本橋製賢製製水達  
 (六八) 本橋製賢製製水達  
 (六九) 本橋製賢製製水達  
 (七〇) 本橋製賢製製水達  
 (七一) 本橋製賢製製水達  
 (七二) 本橋製賢製製水達  
 (七三) 本橋製賢製製水達  
 (七四) 本橋製賢製製水達  
 (七五) 本橋製賢製製水達  
 (七六) 本橋製賢製製水達

(七七) ミカド市製油  
 (七八) 岸太日新東上岸二諸平サ小大化日岡堀中黒小日早小吉林黒川安中岩原金龜東事名鈴  
 (七九) 岸太日新東上岸二諸平サ小大化日岡堀中黒小日早小吉林黒川安中岩原金龜東事名鈴  
 (八〇) 岸太日新東上岸二諸平サ小大化日岡堀中黒小日早小吉林黒川安中岩原金龜東事名鈴  
 (八一) 岸太日新東上岸二諸平サ小大化日岡堀中黒小日早小吉林黒川安中岩原金龜東事名鈴  
 (八二) 岸太日新東上岸二諸平サ小大化日岡堀中黒小日早小吉林黒川安中岩原金龜東事名鈴  
 (八三) 岸太日新東上岸二諸平サ小大化日岡堀中黒小日早小吉林黒川安中岩原金龜東事名鈴  
 (八四) 岸太日新東上岸二諸平サ小大化日岡堀中黒小日早小吉林黒川安中岩原金龜東事名鈴  
 (八五) 岸太日新東上岸二諸平サ小大化日岡堀中黒小日早小吉林黒川安中岩原金龜東事名鈴  
 (八六) 岸太日新東上岸二諸平サ小大化日岡堀中黒小日早小吉林黒川安中岩原金龜東事名鈴  
 (八七) 岸太日新東上岸二諸平サ小大化日岡堀中黒小日早小吉林黒川安中岩原金龜東事名鈴  
 (八八) 岸太日新東上岸二諸平サ小大化日岡堀中黒小日早小吉林黒川安中岩原金龜東事名鈴  
 (八九) 岸太日新東上岸二諸平サ小大化日岡堀中黒小日早小吉林黒川安中岩原金龜東事名鈴  
 (九〇) 岸太日新東上岸二諸平サ小大化日岡堀中黒小日早小吉林黒川安中岩原金龜東事名鈴  
 (九一) 岸太日新東上岸二諸平サ小大化日岡堀中黒小日早小吉林黒川安中岩原金龜東事名鈴  
 (九二) 岸太日新東上岸二諸平サ小大化日岡堀中黒小日早小吉林黒川安中岩原金龜東事名鈴  
 (九三) 岸太日新東上岸二諸平サ小大化日岡堀中黒小日早小吉林黒川安中岩原金龜東事名鈴  
 (九四) 岸太日新東上岸二諸平サ小大化日岡堀中黒小日早小吉林黒川安中岩原金龜東事名鈴  
 (九五) 岸太日新東上岸二諸平サ小大化日岡堀中黒小日早小吉林黒川安中岩原金龜東事名鈴  
 (九六) 岸太日新東上岸二諸平サ小大化日岡堀中黒小日早小吉林黒川安中岩原金龜東事名鈴  
 (九七) 岸太日新東上岸二諸平サ小大化日岡堀中黒小日早小吉林黒川安中岩原金龜東事名鈴  
 (九八) 岸太日新東上岸二諸平サ小大化日岡堀中黒小日早小吉林黒川安中岩原金龜東事名鈴  
 (九九) 岸太日新東上岸二諸平サ小大化日岡堀中黒小日早小吉林黒川安中岩原金龜東事名鈴  
 (一〇〇) 岸太日新東上岸二諸平サ小大化日岡堀中黒小日早小吉林黒川安中岩原金龜東事名鈴  
 (一〇一) 岸太日新東上岸二諸平サ小大化日岡堀中黒小日早小吉林黒川安中岩原金龜東事名鈴  
 (一〇二) 岸太日新東上岸二諸平サ小大化日岡堀中黒小日早小吉林黒川安中岩原金龜東事名鈴  
 (一〇三) 岸太日新東上岸二諸平サ小大化日岡堀中黒小日早小吉林黒川安中岩原金龜東事名鈴  
 (一〇四) 岸太日新東上岸二諸平サ小大化日岡堀中黒小日早小吉林黒川安中岩原金龜東事名鈴  
 (一〇五) 岸太日新東上岸二諸平サ小大化日岡堀中黒小日早小吉林黒川安中岩原金龜東事名鈴  
 (一〇六) 岸太日新東上岸二諸平サ小大化日岡堀中黒小日早小吉林黒川安中岩原金龜東事名鈴  
 (一〇七) 岸太日新東上岸二諸平サ小大化日岡堀中黒小日早小吉林黒川安中岩原金龜東事名鈴  
 (一〇八) 岸太日新東上岸二諸平サ小大化日岡堀中黒小日早小吉林黒川安中岩原金龜東事名鈴  
 (一〇九) 岸太日新東上岸二諸平サ小大化日岡堀中黒小日早小吉林黒川安中岩原金龜東事名鈴  
 (一一〇) 岸太日新東上岸二諸平サ小大化日岡堀中黒小日早小吉林黒川安中岩原金龜東事名鈴  
 (一一一) 岸太日新東上岸二諸平サ小大化日岡堀中黒小日早小吉林黒川安中岩原金龜東事名鈴  
 (一一二) 岸太日新東上岸二諸平サ小大化日岡堀中黒小日早小吉林黒川安中岩原金龜東事名鈴  
 (一一三) 岸太日新東上岸二諸平サ小大化日岡堀中黒小日早小吉林黒川安中岩原金龜東事名鈴  
 (一一四) 岸太日新東上岸二諸平サ小大化日岡堀中黒小日早小吉林黒川安中岩原金龜東事名鈴

油衛ト脂沼繪藏坪會星野油原學油水田  
 谷田油粉瀬田學郎越藤藤ノ谷學原料料郎斯衛



(三九)	大日小日大總小鈴中山阿伊少九中小朝大神日外西太山大菱紙高東大日東増日紙小安大
(四〇)	
(四一)	
(四二)	
(四三)	
(四五)	
(四六)	
(四七)	
(四八)	
(四九)	
(五〇)	
(五一)	
(五二)	
(五三)	
(五四)	
(五五)	
(五六)	
(五七)	
(五八)	
(五九)	
(六〇)	
(六一)	
(六二)	
(六三)	
(六四)	
(六五)	
(六六)	
(六七)	
(六八)	
(六九)	
(七〇)	
(七一)	
(七二)	
(七三)	
(七四)	
(七五)	
(七六)	

(一)	酒店銅管合社耶工合織
(二)	業助合學尾
(三)	業香會學藤酸學軌達織化料井學業田醇城刈藥
(四)	參分組會
(五)	商氣鉛イ染三
(六)	染組紡
(七)	工之化
(八)	製商品
(九)	硫眞電曹化電塗
(一〇)	化化工
(一一)	醴
(一二)	製
(一三)	本
(一四)	日根電海ル捺長
(一五)	同化
(一六)	榮津
(一七)	西
(一八)	石
(一九)	本
(二〇)	京川州海販國本
(二一)	藤國洋
(二二)	洋
(二三)	洋
(二四)	洋
(二五)	洋
(二六)	洋
(二七)	洋
(二八)	洋
(二九)	洋
(三〇)	洋
(三一)	洋
(三二)	洋
(三三)	洋
(三四)	洋
(三五)	洋
(三六)	洋
(三七)	洋
(三八)	洋

## 第三三館

より (美術館)

### こんどの化學工業博て

◆最も苦心と努力の消されたるものは、云ふまでもなく各館にまたがり設備されたる参考出品でありまして、深遠なる學理を應用して、よく通俗に平易に説明陳列されてあるのは既に一般の稱賛されつゝあるところ、今順を追ふて本館の説明案内の手引をいたします。

### 参考室より

◆正面大玄関—の大アーチを御通りになつて直ちに階段をお昇りになりますと、第一に先づ衆人の注目を惹いて、こゝらあたりは大群集、本館中に一大異彩を放つてゐるのは陸軍技術審査部の出品にかゝる歐洲戦

### 亂で大問題の例の

### 毒瓦斯の發射機

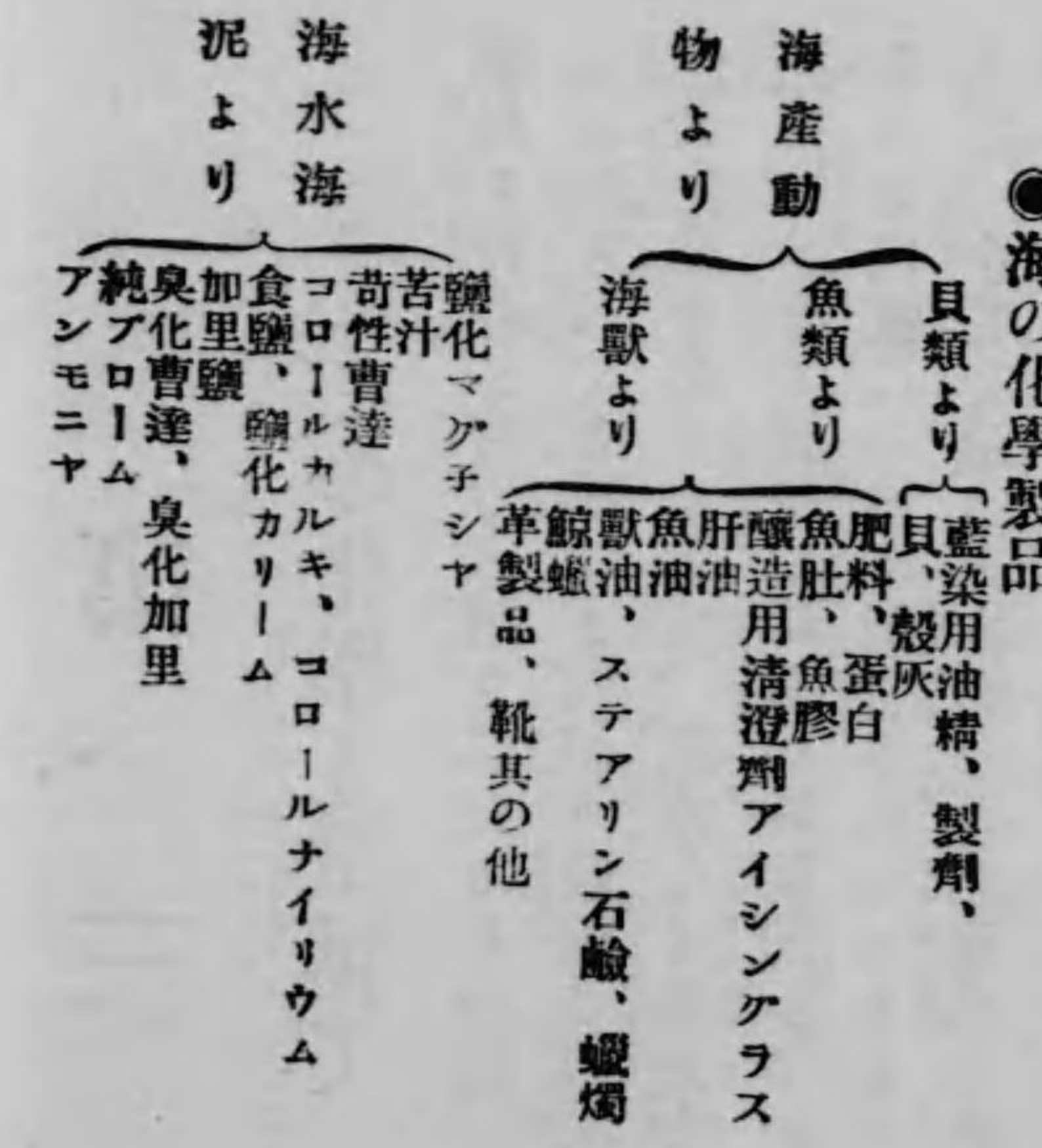
◆及びこれに關する各種有毒瓦斯諸元素一覽と毒瓦斯防具の實物、發射光景の寫眞等は著しく戰時氣分を横溢せしめ同じく火焰發射器の實物と實況寫眞と相俟つて見るからに身の毛も戰慄するばかり尙ほ之れに配するに四本の大毒瓦斯玻璃管を以てしたる確に時節柄見免すべからざるものとして特に御注意を申し上げます。さて此の毒瓦斯出品に相對して

### 海の化學は

◆一望洋々たる海上の大パノラマがありま



す下半全部は之を海中海底に見立て其の中に棲息せるあらゆる海中生物は生々として見るからに涼しく、大小の魚族いろくの海草さては海中礦物に至るまで京都島津製作所の出品模型を配し、前面には左の如き海より得らるる化学製品を一見何人にも知得せらるる様、陳列されてあります。



戰場にて使用せる主なる毒瓦斯

種類	氣體ノ色	臭氣及毒性	對スル比重	沸點	常溫ニテ水一容ニ溶ケル容積
鹽素	淡黄綠色	刺戟臭、呼吸器ヲ甚シク害ス	二、五	零下三三、六	二、六
臭素	濃赤褐色	刺戟臭、極メテ腐蝕性	五、五	六三、〇	甚ダ可溶
過酸化窒素	赤褐色	窒息性臭、非常ニ有毒吸入後時ヲ經テ毒性表ハル	三、〇	二六、〇	三五、〇
亞硫酸瓦斯	無色	刺戟臭、呼吸器ニ有害	二、三	零下八、〇	四七、〇
硫化水素	無色	腐卵ノ如キ惡臭微量ニテモ有毒	一、二	零下六二、〇	二、五
ホスゲン瓦斯	無色	刺戟臭、催淚性	三五	八、〇	水ニテ分解ス
ホルムアルデヒド	無色	刺戟性、窒息性	一、〇四	零下二一、〇	甚ダ可溶
青化水素	無色	一種ノ臭、極メテ毒性	〇、五	二五、〇	甚ダ可溶
一酸化炭素	無色	無臭、極メテ有毒	〇、三	零下二六、〇	〇、二
炭酸瓦斯	無色	無臭、無毒ナルモ窒息性	〇、五	零下七八、〇	一、〇

製 品 主 目

ミロリブルー

特製ベレンス

黄色血鹵鹽

大阪市南區敷津町電車通

日本顔料株式會社

電話 長南一三九二番  
發信番號二(又は)ニチカン



海藻より  
沃素天  
布海布  
石花菜  
海苔、昆布等

◆さて同じ階上を南へお進みになると、こゝらあたりに

### 各官衙公署室より

(階上南館東部)

◆申上げると参考品の中に就ても平素はごても窺ひ知ることを得ざる、爾かも一般國民が常に了解し置かねばならぬものは

### 東京、大阪両砲兵工廠

◆の出品でありまして、此の南館中央の東部一室を占領して頗る丁寧詳細に陳列してあります、此室に入つて先づ第一に目につくのは、見るも恐ろしい種々の爆薬で、即ち黄色薬、茶褐色薬、雷汞、爆粉、ダイナ

マイト、雷管など現在陸軍で使用して居るものは勿論、民間獵銃用、鑛山用の火薬までも悉く洩らすところなく出品され、そしてそれ等の爆発の製造順序や副製品等が各種原料薬品の實物を添へて示してありますから能く素人にも火薬なるもの、智識が得られます。

◆特に又た珍らしい物では現在歐洲戦争で盛んに使用されてゐる「夜間照明トリウム」でせう、日本では未だ全く實戦に之れを使つた事がないさうで、夜間敵陣地の偵察用として頗る効力あり、且つこれには其使用法、發光體發生に至る順序の委しき説明が附してあります、尙ほ歐洲戦場で現に使用して居る物凄しい寫真が掲げられてゐるのは一層戦時気分をみなぎらしてをます。  
◆其他高空に向つて發射する火箭の實物、

機關銃藥莢實包、藥莢製作分業順序、火藥發達の歴史圖解、小口径榴霰彈圖解等素人眼にも面白く珍らしく感ぜられるものばかりです。

### 海軍工廠

◆又た専門家が見て好参考資料となるものは各種合金に關するものにして各種合金の現品に化學成分顯微鏡寫眞及び其の用途までが委しく説明されてあります、尙ほ工廠製品外の参考品として英、佛、獨製の軍用皮革が何人にも手を觸しめて其柔軟比較が出来るやうになつてゐるのも結構です、其

の他護謨抵抗力試験機、熱量試験機、電氣爐付炭素定量装置、圖面複寫機等が其説明並に構造圖と共に出陳されてあります  
◆砲兵工廠出品物と共に見逃すべからざるものはやはり同じ階上南館の西側、海軍工廠、被服廠、糧秣廠の出品で先づ

◆からは最近に進水された巡洋戰艦、日向に初めて積載された巨砲十六吋砲の實彈と其爆發藥とが室の入口に先づ巨然として其の雄偉の姿を現はしてをります、そして尙ほそれに彈丸の貫刃二百六十七貫着彈距離八里十八町等詳細な説明を加へ従來海軍で用ゐられた十四吋十二吋等の砲との比較を圖表に依つて示してあるのが眼をひきます  
◆次いでテトリール、四硝基アニリン、ピクリン酸三硝基クレゾール、全トリオール等七種の高爆薬及びそれ等各藥の顯微鏡寫眞、並に各爆薬を砲彈に裝填して炸裂せしめた實物等は素人眼にも各爆薬の如何に恐るべき威力を持つて居るかが容易に首肯されるのであります、同じ室に



### 大阪陸軍被服支廠

◆の出品は現在日本陸軍に於て使用されてゐる被服類一式、即ち上は將校用の軍帽軍服より下は兵卒用の靴手袋に至るまで細大洩さず出陳されてゐるは勿論、海獣皮で試作された長靴、木底で試みた編上靴、防水布に用ふる藥品までも一々詳細なる説明の下に出品されて居ります

◆そして此處で特に眼を惹くのは皇族附武官飛行將校及び防寒具を着けた兵卒の三箇の人形で宛ら生けるもの、如く帝國干城の雄姿を窺ひ知ることが出来ます。さて同じ室で

### 大阪陸軍糧秣支廠

◆此處の出品は戦時兵卒の携帶糧となるべ

◆全島の主要物産特に砂糖、樟腦の原料より製品に至る順序並びに其の利用法を系統的に實物に依つて指示陳列し何人にも甘諸より精製糖其他の製品、樟木より樟腦其他の副製品が如何なる順序に依つて製出されるかが容易に理解されるやうになつて居ります、其他カーバイト、加里糖類、染料等も外國品に劣らぬ優良な品物が出品されて居ります、最後に

### 千住製絨所の出品

◆軍絨見本、フェルト、梳毛、セル、羊毛脂全複生オレイン油等が出品されてありますが、特に注目すべきはカーキ色軍絨が最初よりカーキ色として染られたものでなく、青と茶との二つの色系を各別に染付け其の糸の配合によつて初めてカーキ色と

き麵包、罐詰等でありまして、それ等の製造順序が圖解によつて詳細に説明されてあります、其他此一室には關東都督府、臺灣總督府、讓造試験所、千住製絨所等よりの出品が相並んでをります

### 關東都督府の出品は

◆全都督府管内より製産さる、化學工業品一切、公私を問はず細大どなく出品された事とて各種各様一々之を數へあぐる事は出来ませんが、滿州大豆より製したソーライト並に石鹼、王蜀黍製の澱粉、滿州バテ、落花生油、石綿、滿鐵出品タンクステン等は殖民地的色彩の多いのと又其工業の發達の有様が窺知さるゝ點に於て見逃すべからざるものであります。次に

### 臺灣總督府の出品

なる順序を實物に依つて示してあります  
◆尙從來我國に於てこれら絨の製造は種々研究されて居りましたが獨りフェルトの製造に至つては今日まであまり注目されて居なかつたものを特に此處で其の製造順序を實物によつて詳細に説明し世人の注目を惹くやうにしたのは價值ある出品の一であります。同じ室に於て

### 釀造試験所の出品

◆全所の製品、清酒、醬油、沸騰酒、濃醬油、リキエール、葡萄酒等の實物出品以外最近十ヶ年の清酒一人當り消費高を杯を以て又同じく醬油を醬油注ぎを以て通俗に示した統計額及び清酒、醬油、各一升の成分値を入にして示したのは上戸黨の見逃すべからざるものであります



Yakushiji y. Takahashi  
部一室の

### 化学製品荷造室より

御覽を願ひます、近來一般商工業者が荷造の研究と云ふ事に就て追々注目するやうになりましてが特に化学製品の販賣業者に於ては一層其緊要なる事が認められるのであります、最近に起つた夫の安治川倉庫の大爆發の如き著しい事實に徴しても其の原因が獨り製品の粗製とか取扱の不注意とかにのみ歸する譯に行かない其の荷造の不完全なることが亦其の重要な一原因をなしてゐるに相違ないのです、依つて各府縣とも之れが取締法規を制定した程でありませんが、此室には我大阪府の制定にかゝる荷造取締法規に従つた化学製品の荷造が

### 大阪府警察部

の手に依つて全部網羅陳列されて居ります。其の他海外への輸出品には特に其の荷造を完全にせねばならぬ事は勿論であります。殊に化学工業製品に對しては他製品に比して氣候風土の變化及び取扱等に於て品質に及ぼす影響が甚大でありますから其點に對する參考として

### 大阪税關からは

輸入品の填充物數十種及び輸入品の荷造材料數十種が出品されて居りますのは當業者として忽諸に附することの出来ないもので、そして尙ほ同税關からは複雑にして頗る煩鎖なる税關手續きを何人にも解し易いやうに繪圖にして示されたのは親切なや

### 研究試験所より

(階上北館中央の西室)

荷造研究室に向ひたる一室、こゝには衛生試験所、市立大阪工業研究所、市立大阪工業學校、今宮職工學校等から出品されてゐます先づ

### 大阪衛生試験所

からは本邦に湧出する鑛泉のラジウム含量の比較一覽圖と本邦阿片産額一覽表が圖表として掲げられ而して此の阿片表の下には罌粟を植む罌粟より採取する各種藥品や阿片のモルヒネ含量比較等を示して一層興味を喚起せしむるやうになつてあります、これに對して

### 市立大阪工業研究所

り方でありませう  
又た同じ室なる京都島津製作所から先年荷造共進會に於て特に注目を惹いた善良なる荷造模型數十種が出品され、富島組からは荷物取扱業者の立場として荷造改善を鼓吹する意味から運送の有様を圖に依つて示し尙ほ荷造破壊の實例及び其の防禦の實例並に戦前戦後の荷造變遷の有様を實物に依つて出品説明されて居ります  
其他最近有識者間に問題となつて居る手鍵の各種を富島組主人が先年歐洲漫遊の際各國から蒐集して來たものを參考として出してあります尙ほ此の外工業學校からは專賣特許又は實用新案特許にかゝる荷造全部の圖表及び同校の考案にかゝる振動防禦安全装置の實物模型が出品されて居ります。



◆からは全所に於て開所以來研究の結果、最近實際に製出さるゝやうになつた製品、過滿俺酸加里、植物染料「ヘマトール」珈琲製品、葡萄糖、人造結晶香料クマリン、人工甘味料サツカリン瓶口用シールカップ等の製造順序若くはこれが副製品等を叮嚀に解説を加へて陳列されてあります

◆尙ほ全所が當業者の依頼を受けて研究製出したる番茶よりカフェインを採取する法、鉞力罐代容器、紙製バナマ、粉末鶏卵、コルク柔軟法、火の素、果實被覆用防虫防水紙等を研究順に依つて出品陳列されてあります、又た

### 米糠の利用法として

◆同所から詳しい實物説明が出てをりますが其用途と採取法とは左の如くであります

米糠は、中に含まれて居る油の爲めに肥料としては價値少く、飼料としても下痢を起させる性質があつて好ましくないそこで米糠から油を除き去るさいふ事が肥料や飼料に供する上についても必要である、加之其油は學問的にも實際的にも可なり廣い用途を有つて居るから、糠油の採收さいふことは有利でもあり、興味もある國家的の一化學工業であるのです

□米糠から油を採る方法は至極簡單で是を軽く炒り、水蒸氣で蒸して麻布の袋に入れ、適當の壓搾機にかけて搾るか、又は浸出罐さいふ鑄鐵製の容器の中へ、石油エーテル、四鹽化炭素等の如き溶劑を、米糠と混じて仕込み、三時間ばかり熱して居ると、油だけは溶劑の中に溶けて仕舞ふから、之を別器に移し、更に水蒸氣を吹き込んで油と溶劑とを分つ方法に依つてもよい米糠の含油量は平均八%乃至十五%内外で、餘り多い方ではないから、工業用としては後者の方法が適當である

□斯くして採收せられた油は暗褐色で、一種獨特の雜臭を帯びて居るのみならず、微量の蛋白質其他の不純物を含んで居るから、商品としては比較的濃厚な硫酸で精製し、後、蒲原粘土で脱色する必要があるが、之も極めて容易な仕事で何等面倒はない

□米糠の油は長く放置すると、白色の固體脂と、褐色の液體油とに分離するから、前者を棒狀石鹼、後者を軟石鹼の製造原料に供し優良の製品を得ると出来る又本油は稍多量の遊離脂肪酸を含有してゐるが、之は米糠の中に存在してゐるリパーゼさいふ酵素の作用であつて、此物が中性の糠油を分解するのであるから、遊離脂肪酸の少い上等の油を得る爲めには、豫め米糠を百度位に熱して酸素を殺して置かねばならない

□併し何れにしても、遊離酸の量が他の植物油に比較して多いから、食用や減磨用には不向であるが、水素を添加して硬化油を造るか、又は濃硫酸で分解して更に蒸餾脂肪酸とせば、雪白の無臭物と變じ、化粧石鹼及び蠟燭の原料として立派なものである

### 今宮職工學校

◆からは亞鉛平版、網目版、三色版等の製版印刷の順序を追ふて陳列し之に懇切丁寧なる解説を施し何人にも一見首肯し得るやうになつて居ります、此他全校生徒の製作にかゝる諸版印刷が出て居りますが何れも

舶來品に劣らぬ出來榮であることに御注意を請ひます

### 化學工業の諸統計

◆大阪商業會議所に於て本會開設に對し特に最近調査にかゝる各統計を提示されてあります

一、正面階段兩側の壁面に始まりて南北兩方の廊下一帯に亘り一目して化學工業發達の狀況を知悉するを得べく確に當業者の參考資料と云はれます、今統計の重要な項目を擧ぐれば

- 一、大正二年より六年に至る二年毎の化學工業品輸出統計(階段中央對照)
- 一、化學工業品製産高圖表、食料、紙及製品、硝子、窯業、藥品、フランシ、整毛、油脂蠟、精煉地金、染顏塗料、マツチ、礦物、雜品、大正三四年比較(以上南階上廊下)
- 一、最近四年大阪に於ける新設化學工業會社一覽
- 一、大阪港最近四年間化學工業品輸出入統計



一、同神戸港統計(以上北館階上廊下)  
一、大阪に於ける化学工業品の製産高、三年より五年までの比較(北館階殿中途)

◆大阪市商工課の調査出品にかゝる統計は北館階上の南側面一帯に數間にわたる大圖にして

一、大阪市工業の消長(二年と五年との比較)  
◆は工場、馬力、製産額に分ち最も解し易きものとし尙ほ其の他

- 一、大阪市の工業發達状態圖(1)製産額(2)工場、職工、動力
- 一、本邦對大阪市製産額比較圖
- 一、接續郡部の工業比較圖
- 一、大阪市と郡部の製産比較圖(以上大阪市政府)

### 化学實驗室より

(階上北館の一部)

◆階上北端の一室は化学實驗室でありまして室に入つて左側より順次見てまいります

と先づ第一に

### 東北大學の

◆出品に係るKS磁石鋼の實物及び其學術的説明が一つの陳列棚に納められてありますのが眼に入ります、元來諸種の電気工業に使用せらるゝ永久磁石の價値は其殘留磁石の多少と磁氣保存力の強弱によるものでありまして從來獨逸製品は他國製品に比して是等の諸點が遙かに優れてをたのですが我が東北帝國大學で多年苦心研究の結果夫の獨逸品を凌駕する本KS磁石鋼を發明し最近特許を得たものが即ち此の出品であります

◆其の永久力の如き亞米利加製品五千六百に對し本品が八千九百と云ふ數字を示して居ると云ふ事實に徴して如何に本品の卓絶

したものが容易に了解さるゝでありませう磁石網の隣には

### 舞鶴海軍造兵廠

◆よりの出品に係る百十種金屬反射鏡が異彩を放て行人の眼を眩惑せんばかり實に神々しいと云ふか物凄いと云ふか明鏡燦然として輝いてをります

◆これは探照燈に用ふるものでありまして大正五年三月の製造に係り反射面は黄金に依つて造られ曲面は拋物線回轉面になつて居り、直徑一米百〇四耗、深サ百五十耗、焦點距離四百七十耗、鏡体重量五十三斤二百瓦あります、反射鏡に隣つて西南の一隅には各種化学實驗器の裝置が相並んでをりまして權威ある大化学者の實驗室を想起せしむるのであります、此の中にて特に珍ら

しく且つ貴重なるものは

### 空氣液化裝置

◆であります委員が日々此機を一般に實驗説明して居りますがこれは鋼製の筒の中に百八十氣壓位に壓縮した空氣を入れ之を細い孔から急に膨脹させると其爲めに温度が下り其冷へた空氣で壓縮した空氣はいやが上に冷やされ遂に空氣は液體となつて了つて下の銀鑛にした容器に溜つて来るやうになつて居るので、此の空氣液化裝置の背後には又京都陶磁器試験所よりの出品に係

### 陶磁器膨脹係數測定器

◆があります、これは磁製の筒の上に非常に薄い白金の箔を捲き之に強い電流を通じ



て磁製の筒を熱し其中に試験すべき陶磁器を入れ望遠鏡で其膨脹した長さを測るものでありまして日本では本器が唯だこれ一つあるばかりでありませす、其他此處には電氣分解装置、元素分析装置、瓦斯分析装置、水素電極、オゾン發生機、ソックレット脂肪抽出装置、八千ボルト變壓機、最新の水銀燈等の實驗用機が整然として相並んでをります

### 評判の化學魔術

此の室の西方中央、午後の太陽を背にして東に向ひ、化學魔術を行ふ一種のステージが設へてありまして、毎日午後數回、化學應用の魔術を實演してをります、魔術といつても實は化學的の不可思議な實驗を通じて俗に又た頗る興味的に演じて娛樂の裡に御

見物の智識を開發しやうとの試みで、演者は悉く學理を説明して所謂種明しをするのであります、演題は百數十の多きに達しますが一週間毎に代つてをります今重なるものを示せば

- 一、水中の噴火  
水中より目醒しき噴火の光景を示します、後には焔々天を焦す状況になります
- 一、水上の彗星  
水上に投じたる一片の塊は忽ち運動を起して、あどは眞赤になり宛るで彗星の飛びまわる様です
- 一、非常な爆聲  
皆さまの御目に見へぬ程の極めて少量の藥品がありましてこれを一撃すると驚くばかり一大爆聲が發します
- 一、燭火の点滅  
ここに蠟燭の火が點つてをります、これを口で吹かすに消し、又たマッチを用ひすして点ります、目に見へない氣體の面白い實驗です
- 一、砂糖に火をつけずに燃す  
極上等の三盆白、これは火をつけても一寸燃へませ

ん、然るに薬一滴を落しますと實に綺麗に燃へ上ります

- 一、變色噴水  
硝子器具の中に盛んなる噴水を起しその色が變る不思議の珍現象です
- 一、茶變り色變り
- 一、即席銅メッキ
- 一、卵の運動
- 一、玉子の土左衛門
- 一、人造雪ふり
- 一、變色バラ

以上の種類あかしは一寸ここに書くことだけ止めます、ごうか御らんにおこし下さい、その時に申上げます

### 一般化學工業製造順序

同じ室の北側一帯の壁にそうて設けられた階段には大阪高工應用化學科學生より獸骨、獸皮、牛脂、魚油、大豆、澱粉、製糖纖維工業、木材乾留、石油工業、石炭乾留製肥、酸、アルカリ工業等の原料より各

種製品に至る順序が各實物に色リボンをして一目の下に如何にして製出されるかを瞭然たらしむるやうに陳列され其の上部の壁間には同科卒業生の全國分布圖が一面に張られて居ります

これに對して室の中央には全校醸造科よりの

### 食品分析陳列

で牛酪、卵、酢、甘酒、赤味噌、水飴、白味噌、醬油、煙草、大麥、清酒、米、葡萄酒、澱粉、酒粕、砂糖、麥酒、牛乳、豆腐等を分析し其の成分を悉く試験管に入れて記憶に困難な數字を面白く知らすくに記憶し得るやう各表の下に配列されてあります、これに隣つた陳列棚には高工應用化學卒業生の製品の種々が陳列されて居ります



(19) 石炭酸安母尼亞

(2) 輕油

(1) コールター瓦斯液  
(3) 中油及ナフリン

(4) 重油及アンストラセン

(5) ビツ  
(6) 精々コールタール

油

(7) 純ベンゾール (11) 合成石炭酸

(8) 純トルユール

(9) キシロール

(10) ナフサ

(12) 抽出石炭酸

(13) クレゾール

(14) 昇華ナフタリン

(15) 蒸餾ナフタリン

(16) 粗製アンストラセン

(17) 結晶アンストラセン

(18) 昇華アンストラ

(20) ビツチカーボン

### 石炭から花が咲く

(階上北館中央見付け)

石炭といふものを一の大きな樹の根に見立てまして、これからベンゾール、トルオール、ナフタリン等の幹が伸び、それから又た枝が生じ、其の枝から又た小枝が生まれて、香料にも薬料にも染料にも塗料にも種々雑多の葉が現はれ花が咲くといふ實に化學的變化の妙、不可思議の現象を意匠的に陳列配置したもの、これは和歌山の朝日化學工業會社の参考出品で、美術館中央階段東の正面に掲げられたる

### 石炭タール

の用途を圖解したる大額と相俟つて好個の研究資料であります、さて又た同じ室の

### 京都陶磁器試験場は

貴重なる種々の試験機具を各部参考室に提供される他、別に又た一區劃の陳列箱に青磁、黄磁、朱泥、蕎麥釉、辰砂釉、古萩伊良保釉、天目釉、染付錦蘭手等一見古製品と異なることなき同所製品、及び象牙磁マジョリカ、ラストー釉、艶消釉、鍍金、結晶釉、半磁器硬質陶磁器等の試作品が、一々其釉及び土石の厚質を記して委しく説明せられた以外に清水焼の原石は天草石、蛙目石、長石、磁石の四種であり、粟田焼は木節石、蠟石が主なる原料であるといふ事をその原石の實物を以て陳列説明してある上尚ほ各陶磁器の顔料を日本産のものは勿論支那産のものまで全部蒐集されてありますから此棚一つを御覽になれば忽ち陶磁器



通になれるわけです

### 家庭化学室より

(階上北館東隅)

◆先づ一軒の家が設へてありまして台所と婦人室、飛石づたひに牛の小牧場と小屋があり、遠見に野山の景色、この座敷には令嬢らしいハイカラさんが、化粧品の試験臺所の出口に此の家の主婦が割烹服を着て立つてゐる、下女が折柄洗濯の最中、後の物干竿には家庭絞り染めの切れが干してあります、大きな乳牛の前にも乳牛製品の籠車を押してゐる男が一人、すべて風薫る郊外生活のありさまといったやうなところで

◆さて此の家庭化学と云ふのは一家の主婦が知つて居つてよい化学的事項と云ふ意味

(四)魚の鱗よりセラチンがされる  
入れ蓋をしをくときは夏なれば二週間、冬なれば四五週間に立派な上等の酢となる、これを一度流して火入して殺菌して用ふ

(五)果物の廢物  
其まゝや、まじな處は少量の砂糖と共に煮詰めて、シヤムを製すべく、他の部分は之れを絞つて果汁とし上等の酢と混じて前の如くする(爛さましの項)ときは上等の果物酢を得べし

(六)洋酒類の廢物  
葡萄酒其他洋酒の濁りしもの飲みさし等は残しをきこれの約三分の一量の酢を混ぜ前の如くなしをくときは上等の西洋酢(ピチガー)となる洋食のサラダ

(七)廢油脂  
天プラ、フライ、コロツケ、カツレット等を家庭にて

で其の範が中々廣いのですが、こゝでは其の二三を列陳したので、先づ第一には

### 臺所の廢物利用

◆で台處の廢物が塵埃容器に投げ込まれるもの、中にて用ひ方によりては随分有用なものがある、即ち

(一)パン屑よりパン粉が出来る

食パンノミ、皮、喰ひ残し等は二三日日光に晒すに堅くなる、これを摺鉢にて摺へか或は肉挽(ミートチョツパー)にて挽き砕くときは立派なパン粉となる、フライ、カツレット、コロツケ等をする時に用ふ

(二)みかんの皮より密柑油  
みかんの皮を捨てずに残しおき、蒸留又はらんびきにかけるときは立派なみかん油を得、料理、菓子、類の香料にして又清涼飲料を作る等に用ひらる

(三)爛さまし、腐敗酒より上等の酢  
爛さまし、腐敗酒を集める等量の水及酢を混ぜ瓶に  
せし油ハットバター等はメリケン粉パン粉等の爲に焦げて黒くなり使用出来ぬ様なりしものは一定の量に集めをき、かゝる古油を此中へ沸騰せる湯を入れかきまわし冷後上層の油のみをとり又熱湯を入れてかきまわす、かゝることを數回くり返すときは一回く油は白くなり、パン粉其他の混合は取去られ遂には新じきものと同様となり再び使用に堪ふるに至る

### 家庭絞り染め

◆これは絞りには限りませんが袖裏や、無地のものを絞り又は適當に染めて帯の片側にするとか帯揚げの古いのを襦袢の袖にするとか随分色々の廢物利用が出来ます、染溜汚点抜きと併用すると中々立派なものが出来ます、其染め方を簡単に云ひますと

○木綿、麻類

一般の染色の分量左の如し  
布百匁につきて







- 一 二 三 四
- 一〇
- 二〇
- 三〇
- 四〇

の混合物にて洗ふ。或は又マゲチシアミベンジンを練りたるものを付け乾燥後刷毛にて拂ひ落す(此法は凡ての油類の汚點拔によし)

(4) インキ

赤インキはアンモニア、水、アルコールの混合物にて除去し得、尙新しき汚點なれば石鹼水のみにて、古き汚點なればレモン汁又は鹽をぬり日光にて乾燥(これを二三度繰り返す)し過マンガン酸加里液に浸し後重亜硫酸曹達液につけるとにより除去し得べし

黒インキ、次に記す鐵さびの汚點拔法を行ひ、更に赤インキも同法をくり返す

(5) 鐵錆

新しき汚點なれば酢酸又は酒石酸にて除去すべく古きものは酢酸又は酒石酸にて濕ほし洗ひ後石鹼及リッピン、水の等量に混合せし液をぬり付け數時間の

後水洗す、これを二三回くり返す

(6) 墨

ひめのりをすり付けるか、又は鶯の糞と石鹼とをぬり付け後水洗す

(7) 汗

水洗後アンモニア水の稀釋せらもの、又は酢酸にて洗ふ

(8) 果物の汁、砂糖

濕り氣のある間なれば湯をかける事により、乾きたるも新しきものなれば鹽をぬり湯をかける事により古きものは酢酸にて濕ほし熱湯をかけ、又は礬砂とアンモニアの混液にて二三回洗ふ

(9) 茶、コーヒー  
果物の汁と同じ

(10) 酒

濕へる間なれば灰をかけ乾燥後叩きて灰を去る事により、又は煙草の煙にてくすべる事により除去し得

(11) 血

石鹼の冷液、又は食鹽の冷液にて洗ふ、温液を用ふ

べからず

(12) 泥

泥の種類により一様ならず雖も先づ卵の黄身をぬり付けて洗ふ

(13) 餅のくつついたもの  
大根の汁にて洗ふ

(14) 大小便

アンモニア水又は酢酸にて洗ふ、又は

アルコール	五	匆
酢酸	五	匆
水		

にて洗ふも可なり

◆それからあまたの化粧品の中に端然として座つて頗る取りすまして試験してゐる令嬢がをりますかこれは即ち

化粧品の簡易検査法

◆です先づ(A)白粉は硫化曹達の濃厚なる水溶液とまぜて黒くなるのは有鉛白粉で有

毒であります、それから(B)石鹼はフェノールフターレンと云ふ白い粉をアルコールに溶かした液を石鹼に一二滴落してみて赤い色の現はれるのは悪い石鹼であるとのこと分りますから、皆さんやつて御らんないさいますし

牛の利用と其の製品

◆家庭化学に隣して陳列してあるのは牛の利用法と其の製品で、動物の中でも牛ほど頭の先から蹄尾の終りに至るまで何一つ捨てるどころなく利用されるものは恐くありません。こゝには其の詳しい圖解を以て其の系統分類を分ち其の説明盤から異なる各種のリボンを引き始め網羅されたる製品になつてをります、圖解は余り煩はしいか



ら畧しまして先づ大体の説明を記しますれば

- (一) 角は細工物印材、卸等をこり、その層は皮膚、毛蹄層等と共に焼きて黄血塩製造の原料となるべく、黄血塩より赤血塩、ペレンス等を製す
- (二) 鬃は其まゝにてはアレーンフライ等として食用に供すべく尙ビツチドリ、ケアルチン等の醫藥を製す
- (三) 毛は近來迄は殆ど省みられざりしも歐洲戦争の爲め毛織物の高價となり近頃は之にて毛布等の織物を製す
- (四) 皮は澁木エキス、又はクローム揉皮法により揉皮とし靴、鞆、ベルト其他の皮製品を製すべく又た皮膚は膠製造の第一の原料にして其他黄血塩其他の原料ともなる
- (五) 乳は飲用の外、コンデンスミルク、クリーム、バター、チーズ、粉乳等を作るべく粉乳よりは小兒滋養糖、ミルクフード等を製すべく其蛋白質カゼインよりはペイント類、人造象牙其他の製造をなす、乳糖も之れより作る
- (六) 血は肥料に、製藥に(黄血塩類) 血炭に、薬に(ヘモグロビン) 諸血清、痘苗等を製す

- (七) 肉は食用の他罐詰をビーフェキス、ビーフェリト等の製造に用ひらる、大阪市内の牛肉商間にては二十四の名稱を付し、五等に等級を分ちて販賣せり、用途により則ち料理の如何により自然適不適あり例せばスープにはチマキ、ローストにはイチボ又はロース、コロツケ、キャベンロール、フーカセ、ミンチホルの如きには肉ひら、カツレツにはラム、シチウにはプリスケーの肉尤適するが如し
- (八) 骨は刷毛其他の細工物となす外、焼て骨炭として砂糖精製に欠くべからざる用途あり、尙骨灰、骨粉を作り尙骨脂及膠を製すべく、黄燐を作り更に赤燐としてマツチ製造の材料たり
- (九) 脂肪はヘットとして食用に、織物に、艦船の進水式に用途多く尙ほ石鹼、チック其他の化粧品を製すべくリスリンよりは化粧、爆薬ダイナマイト其他を作る
- (一〇) 内臓は副腎よりはアドリナンを、肋膜よりはカプセルを、膀胱よりはパンクレアチンを、胃よりはペプシンチ更に含糖ペプシンを、骨髄よりはホーンマローを腎帯よりは撃劔の竹刀用の弦を製造す
- (一一) 蹄はホタンを作る、層は黄血塩原料たり
- (一二) 尾は食用とす、其のシチューは尤食通に賞用さる

以上はその普通用ひらるゝ重なるものを挙げたるに過ぎませんが、尙ほ工業用、醫藥用の製品等甚だ多くあります

尙ほ肉の方の名稱品位等は二十四種に分ち詳しい圖と其の料理の實物模型までさもお甘さうに列んでございゐすから就いて御覽研究を願ひます

以上の家庭化學と牛の利用法等は大坂割烹學校の考案になりましたもので尙ほ高岡大阪工業試験所技師の手を煩はしたことが多うございゐます

それから階段際の隅にあります

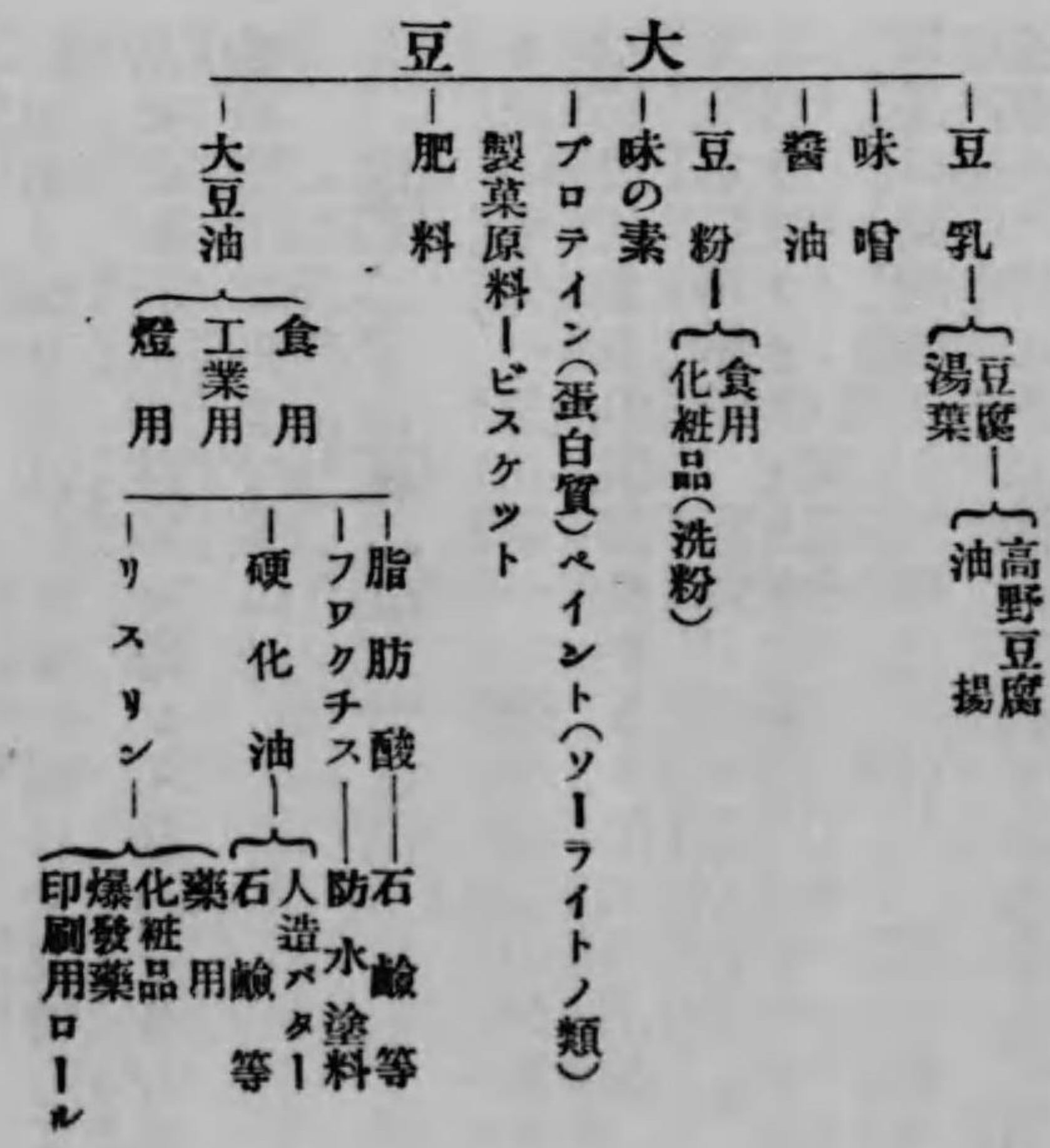
多大なる等に於て第一位に位するものでありまして其の化學的成分は

水分	一三五	蛋白質	三六、七
脂肪	一七、四	無窒素分	二四、九
纖維	二、五	灰分	五、〇

◆であり之れが工業的需要頗る非常に多く其の用途を列挙いたしますと大略左の如くであります

### 大豆から何が出来る

◆といふ陳列があります、そも大豆といふものは植物性の食料品としては其の價格の安きことゝ滋養分の多きことを用途の





第三館即ち美術館は参考部が主なるものでしたから先づ、其の方を御案内しましたが、さて初めて此の館の

### 一般出品物

を極め簡単に道知べをいたしませう、階下玄関の正面突當りは大日本麥酒會社の出品でありまして三間の大陳列棚に同社の製品全部を巧なる意匠を凝らして陳列されてあります。其前方左側には阪根商店の造船建築、工具用等の銅、真鍮、亜鉛線及び管塊等が外國輸出を表徴した人形の下に陳列されて居ります。之と相對して玄関の右側には

社製品で製せられた風車が絶えず運轉して居るのが行人の注意を惹いて居ります左に曲りまして即ち玄関より

### 階下北館一帯

此の中先づ最初第一に眼を惹くのが東海鉛管會社よりの出品にかゝる包装用茶鉛、瓦斯水道用鉛管、霰彈、鉛線等で其左隣はセルロイド同業組合の出品でセルロイド製品は素地板より裝飾用品玩具に至るまで全部一つ棚の内に陳列されてありまして實に見事ですそれに隣つて紅紫白黄どりくに絢爛の色彩を以て觀覽者の注意を惹いてゐますのは捺染組合友禪組合の出品で御婦人方が多く立留つておいでになります。さて此處の右側には

金屬出品同盟會の出品で美術的鑄銅品よ

珐瑯製品及物、錫器、工業用具、合金類等分類的に陳列されて居ります、此處を一通り御覽になつて次の北端の室に入り、まづ左側より順次見に行きますと此處は

### 階下南館一帯

此處には總べて織緯工業品として防水紙で出來た紙の池や紙の食器、紙の壁と今までのにあまり例の少ない珍しい出品物や、包装紙、文房具品、紙製帽子其他鳥の子、雁皮紙より新聞用紙、半紙に至るまで、紙製品といふ紙製品は何から何まで全部網羅されて居りますが此室で特に注目すべきは室の入口左方にある富士製紙會社代理店、當市北區南森町山田洋紙店よりの出品で原料より製品に至る順序を製紙機械の模型と共に何人にも容易に如何なる原料を以て如何にして紙が出来るかを知る事が出来るやうに説明されて居ります、紙製品の室より更に進んで



◆南端の室に入れば此室は主として油脂工業に關する出品で、ペイント、ワニス活版用インク、靴墨、印肉、機械用油、木材防腐劑、化粧油、食料油、石鹼金屬磨等これまた油脂工業に關するものは何から何まで全部陳列されてあります

◆お次ぎに階上へお上り下さいまして南館各官衙公署の参考室に鄰りたる

### 階上南端の室一帯

◆此處には攝津硝子、島田硝子、岡本、渡邊其他十數軒の硝子製造業者より出品された、縞ガラス、曇、食器、置物、美術的花瓶、ホヤ、デツキガラス、リコユ等の製品が整然として衆人の眼を惹いて居ります、硝子業者出品に向つた中央の陳列棚は織緯工業品でありまして人造絹子ラミー、

綿製品、麻、漂白豚毛、カタン糸等が同じく十數の製造業者より麻品されて居ります此内日本ラミー會社より和名カラムシなる草皮より麻代用のラミーを製出するに至る順序が實物によつて示されてあるのは一般の好参考資料でしょう

◆此室の最南側一帯は寫真材料商組合の出品でありまして寫真機乾板藥品台紙等寫真用のもの一切種々なる意匠を凝らして陳列されて居ります

◆同じ室中央陳列棚の東部は皮革業者の出品であります日本皮革、新田製皮、本多染革工場等より各種各様の革製品が出てをりますすが中にも本多染革工場のトカケ、鱈、小牛等の染皮は素人眼に珍らしく映ります

◆最東端一帯は漆器商組合の出品でありまして美術的製品が多く出て居りますが中に

### 陳列裝飾意匠

◆は従來のものよりも余程進歩した跡を認められます、即ち

- 一、ケース式が少なくなつて、總体の陳列が大規模になつたこと
- 一、お祭り式が減少して製品本位になつて來たこと
- 一、一体に勸工場式でないこと
- 一、製品の分類、系統等や、學術的になつて來たこと

◆これ等は好い方面ですが、然し欠点を挙げればまだ、澤山あります

- (一) 周囲のものに慮顧せず、未だ群雄割據で、われ獨り見せんとするものがあること
- (二) 出品物と裝飾とが調和してゐないものがあること

も山中本店より漆器仕上げの順序第一木地より第廿五磨上げまでを實物を以て示してあるのと、印度支那日本の漆器の沿革並に漆の成分を表に依つて示してあるのは注目しに値するものでせう

◆以上の一般の普通出品に對しては余り悉しい説明は申上げませぬ、これはいづれ審査の結果が發表されませうから態々には差控へた次第です、會社商店の名稱を取り立て、書きましたところも大した別に意味のあるものといふわけではございませぬ

◆それで今一般出品の内容にまでは立ち入らずして、既に出來上つた陳列の意匠裝飾等に就て記者の觀察を述べて本稿を終りたいと思ひます

◆意匠裝飾といつてもこれが審査はまだ發表になりませぬから商店一々の具體的の批



(三) 裝飾屋が商品を理解せず商店は裝飾を理解しないものがあること

(四) 光線や色彩の注意に欠けてゐるものがあること

(五) 引付け文句が上品なものが少く稍や下品なものがまゝあること

(六) 説明文が専門的に流れ通俗でないものがあること  
◆先づこんなことでせうが、第一館では出品物が概して各個々には立派ですが、やゝ自家廣告本位に流れて同種製品が集合しない爲め觀覽者が比較研究するに不便なることもあり、又大規模の出品場が余りに一ヶ所に偏しすぎた嫌ひはなきか、これは各四隅にでも配せば、全体がそろつてよく見られると思はれます

◆一寸見たところで、第三項の理由で職業的裝飾屋の頭になつたものより却つて出品者自個の考案になつたものに却つてよいものがあるのは、やはり無理解の爲ではあり

ますまいか、即ち異つた商品なるに拘らず裝飾の方は殆んど同じ材料意匠のものが往々發見されるといふのはよく此の事實を證明してゐるのです  
◆要するに出品者も裝飾屋も今後尙は一層陳列法に就ては研究せねばならず、博覽會當事者も又た此點に就て大に考くねばなりません

## 本冊子の編纂發行に就て

大阪化學工業博覽會の開設は化學工業勃興の氣運に促され寔に時機に適した好計畫でありまして、苟くも化學工業に關する出品はこれを網羅されざるなく、著しく進歩したる其の内容充實と、これを案配せる陳列法の巧緻と相俟つて確に浪華工業界の偉觀を極めたものであります。

就中各館參考部の出品に關しては多數の専門技術家相寄り、各其の擔任部署を定め深遠なる學理を應用してよく通俗に平易に説明陳列されたるは又た時代の一進歩かと存じます、而してなほ一層本會開設の趣旨を徹底せしめ觀覽者をして科學的陳列品に對して化學的智識の了得に資せしむる爲には多數の寫真と圖解とを以てしたる本冊子の如きもの、編纂發行を必要とするのであります。

浪華化學工業會は本會に關する一般的設備は元より特に參考部出品に關しては嶄新なる考案を運らし其の材料の蒐集と陳列配置等に於て少からざる努力をなしたのであります、本冊子發行に就ても又た其の任に當り一日も早く觀覽者の便を圖らんと漸く第一版を發行することになりました、尙ほ引つゞき直ちに第二版三版を發行すべく計畫を着々進めつつあります、就ては出品者諸君に於ても前述の趣旨を貫徹せしむる爲め相當の御援助にあづからんことを敢て希望いたします。

△出品寫真を當方にて撮影し冊子に寫真版として記事を添ふ——寫真廣告



△出品寫真を用ひざる——普通廣告

△百部以上の冊子の豫約——實費配布

○以上の御注文に應ず

○左の處へ電話御利用を願ひ尙ほ御通知次第事務員を差出します

大阪市北區玉江町

大阪高等工業學校應用化學科内

電話土佐堀七六

浪華化學工業會事務所

大阪化學工業博覽會第三館(美術館)内

參考部事務所

電話南七〇三三

○左の會則御覽の上賛助會員に御入會を希望いたします!

### 浪華化學工業會規則

◎名稱

第一條 本會は浪華化學工業會と稱し之を大阪高等工業學校應用化學科内に設置す

◎目的

第二條 本會の目的は會員の親睦を計り化學工業の發達を期す

◎會員

第三條 本會員を別ちて五種とす

一、名譽會員 會長の推薦に係るもの

一、特別會員 會長の推戴に係るもの

一、賛助會員 本會の趣旨に賛同するもの

一、正會員 大阪高等工業學校應用化學科、舊染色科、舊窯業科職員及出身者にして化學工業に關係あるもの

一、通常會員 大阪高等工業學校應用化學科在校生

◎役員

第四條 本會に左の役員を置く

一、會長 一名 會長は本會を總理す

會長は總會にて選舉す

一、評議員若干名 評議員は會務を評議す

評議員は正會員中より選舉す

一、委員長 一名 委員長は會長を補佐し會務を處理す

委員長は委員中より會長之を囑託す

一、委員 若干名 委員は庶務、會計、集會、編輯等一切の會務を處理す

委員は正會員及通常會員より選舉す會長、評議員委員長、委員の任期は滿一ヶ年とし毎年總會の際改選す(但重任する事を得)

◎會合及事業

第五條 本會の目的を達する爲左の方法を講ず

一、毎年一回以上會誌を發刊し會員の動靜會計報告其他の事項を記載し之を會員に頒つ

一、毎年一回大阪に總會を開く

一、必要に應じ委員會、評議員會、臨時總會を開く

一、各種の事業

◎支部

第六條 一定の地域を限り會長の許可を得て支部を設くる事を得

◎會費

第七條 正會員及通常會員は左に定むる會費を正會員は

一回(四月)又は二回(四月及十月)通常會員は三回に本會に納むべきものとす

正會員 年額 金貳圓

通常會員 年額 金壹圓

但四月(三拾錢)九月(四拾錢)一月(三拾錢)分納

一、正會員にして一時に十ヶ年分の會費を納むる時は終身會員として爾後第一項の會費を要せず

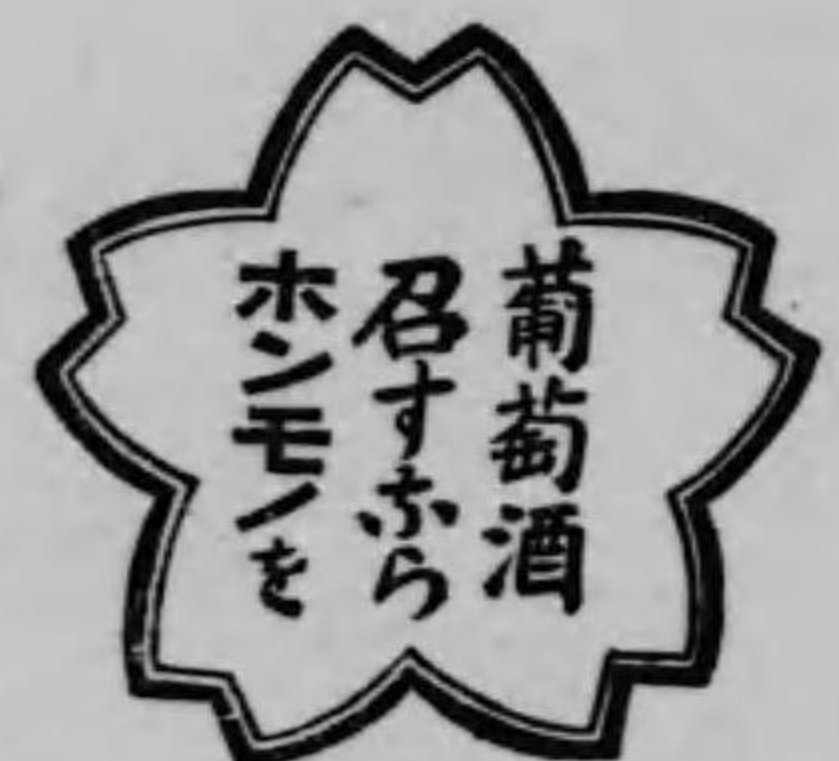
一、會員は必要に應じ評議員會の決議により臨時會費を徴せらるべし

第八條 本則は總會の決議を経ざれば變更する事を得ず



373  
231

釀造元帝國シヤンパン株式會社  
資本金二百萬圓(拂込濟)  
直營農園百五十餘町步  
社長男爵武井守正氏  
技師長クレマンフック氏



テーシ印



純國產  
花屋のポットワイン  
赤白生葡萄酒  
シヤンパンの一種  
スパークリン

總代理店 花屋商店

大阪市東區備後町四丁目  
電話 本局八六貳番

大正七年五月二十日印刷  
大正七年五月廿五日發行

【定價金貳拾錢】

發行所 浪華化學工業會  
大阪府東成郡安立町一九地  
編輯人 多喜健  
印刷人 渡部醇  
印刷所 大阪活版所  
大阪市東區内淡路町一丁目卅一番地  
大阪市北區玉江町  
大阪高等工業學校應用化學科内



工場  
所在

▲尼崎第一工場……………尼崎市築地町  
▲尼崎第二工場……………同 大洲 村  
▲濱 寺 工場……………泉州鳳村大鳥



# 朝日窯業株式会社

電話 本局二九六六番

本社  
大阪

一 亞鉛精煉用レトルト	一 硅 石 煉 瓦	一 瓦斯發生用レトルト
一 クローム煉瓦	一 黒 鉛 坩 埚	一 マグネシヤ煉瓦
一 硝子用坩埚	一 炭 素 煉 瓦	一 アンチモニー用坩埚
一 其他耐火酸煉瓦一切	一 普通耐火煉瓦	一 普 通 煉 瓦
一 異形耐火煉瓦	一 窯爐築造設計請負	一 其他窯業製作品一切



373  
231

9.9.4



終